

御殿場市 高齢者実態調査  
調査結果報告書

令和 8 年 3 月

御殿場市



# 目 次

I	調査の概要.....	3
1	調査の目的.....	3
2	調査対象.....	3
3	実施方法.....	3
4	回収状況.....	3
5	調査結果の表示方法.....	4
II	調査結果 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査.....	7
問1	あなたのご家族や生活状況について.....	8
問2	からだを動かすことについて.....	12
問3	食べることについて.....	15
問4	毎日の生活について.....	18
問5	地域での活動について.....	22
問6	たすけあいについて.....	24
問7	健康について.....	26
問8	認知症への対応について.....	29
問9	高齢者福祉サービスについて.....	34
問10	今後の暮らしについて.....	38
問11	成年後見制度について.....	40
問12	その他について.....	46
III	項目別リスク分析.....	55
1	運動器の機能低下.....	55
2	転倒リスク.....	589
3	閉じこもり傾向.....	623
4	咀嚼機能の低下.....	667
5	認知機能の低下.....	701
6	IADLの低下.....	745
7	うつ傾向.....	789

IV 調査結果 在宅要支援・要介護認定者調査.....	85
A票 調査対象者様ご本人について.....	85
B票 主な介護者の方について.....	103

## I 調査の概要



# I 調査の概要

## 1 調査の目的

高齢者の暮らしや介護の状況、意見・要望等を把握し、「御殿場市第1次高齢者福祉計画及び第10期介護保険事業計画・成年後見制度利用促進計画・認知症施策推進基画」策定のための基礎資料とすることを目的として実施しました。

## 2 調査対象

調査区分	調査対象者	調査対象者数
介護予防・日常生活圏域二ーズ調査	市内在住の65歳以上で要介護認定を受けていない方	1,677人
	市内在住の総合事業対象者	133人
在宅要支援・要介護認定者調査	市内在住の要介護認定者	1,201人

## 3 実施方法

- 調査方法：郵送配布・郵送回収
- 調査期間：令和7年11月28日（金）から12月19日（金）まで

## 4 回収状況

調査区分	発送数	有効回収数	有効回収率
介護予防・日常生活圏域二ーズ調査	1,810件	1,181件	65.2%
市内在住の65歳以上で要介護認定を受けていない方	1,677件	1,096件	65.4%
市内在住の総合事業対象者	133件	85件	63.9%
在宅要支援・要介護認定者調査	1,201件	704件	58.6%

## 5 調査結果の表示方法

---

- 回答は、各質問の回答該当者数を基数とした百分率（％）で示している。小数点第2位を四捨五入しているため、比率の合計が100.0%にならない場合がある。
- 複数回答を許している回答項目については、その項目に対して有効な回答をした者の数を基数として比率算出を行っているため、回答比率の合計は100.0%を超える場合がある。
- 図表中の「n」とは、その設問の回答者数を表している。
- 説明文及びグラフで、選択肢の語句を一部簡略化して表している。
- クロス集計については、集計の都合上、無回答者を除いた集計となっている部分があり、単純集計の結果と合致するとは限らない。

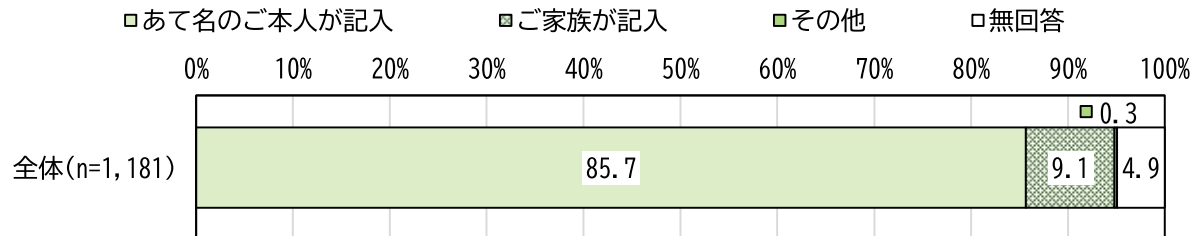
## Ⅱ 調査結果 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査



## Ⅱ 調査結果 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

調査票を記入されたのはどなたですか。(☑は1つ)

調査票の記入者は、「あて名のご本人が記入」が85.7%、「ご家族が記入」が9.1%となっている。



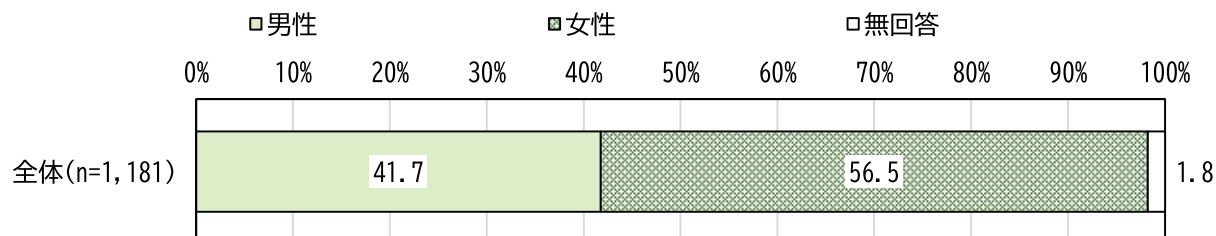
## 問1 あなたのご家族や生活状況について

### (1) 基本属性

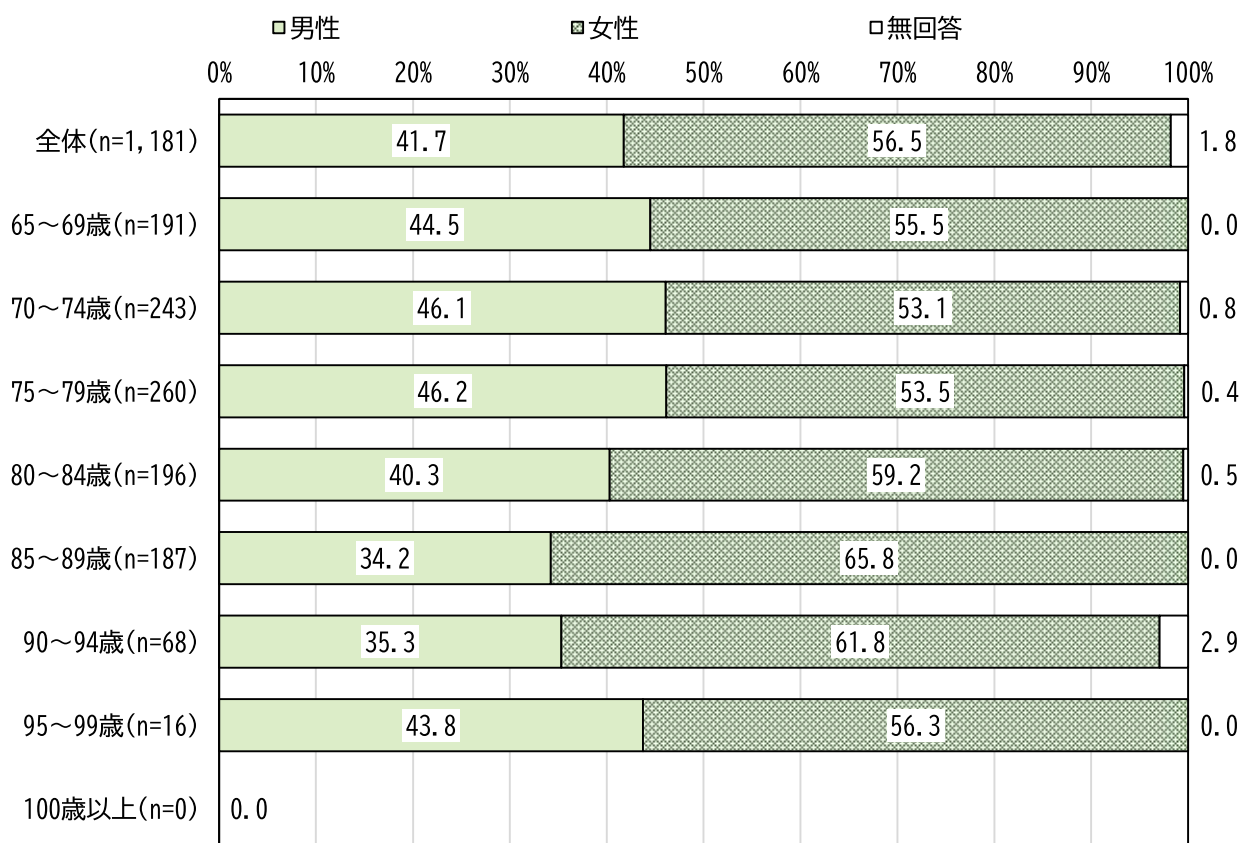
問1 (1) あなたの性別・年齢・お住まいの地区について教えてください。(それぞれ☑は1つ)

#### ①性別

性別は、「男性」が41.7%、「女性」が56.5%となっている。



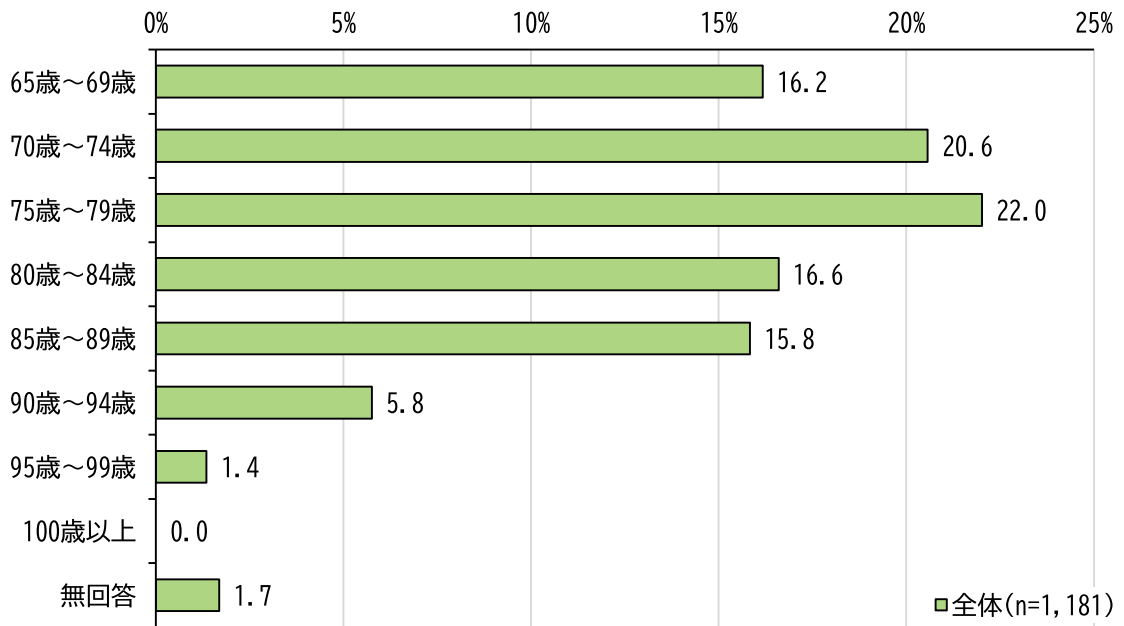
#### 【年齢別男女比】



※「全体」には年齢無回答者（20人）を含む。

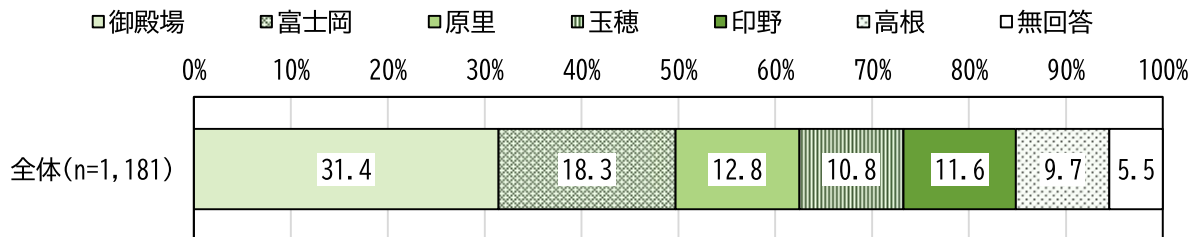
②年齢

年齢は、「75歳～79歳」が22.0%と最も多く、次いで、「70歳～74歳」(20.6%)、「80歳～84歳」(16.6%)、「65歳～69歳」(16.2%)、「85歳～89歳」(15.8%)、「90歳～94歳」(5.8%)、「95歳～99歳」(1.4%)、「100歳以上」(0.0%)となっている。



③地区

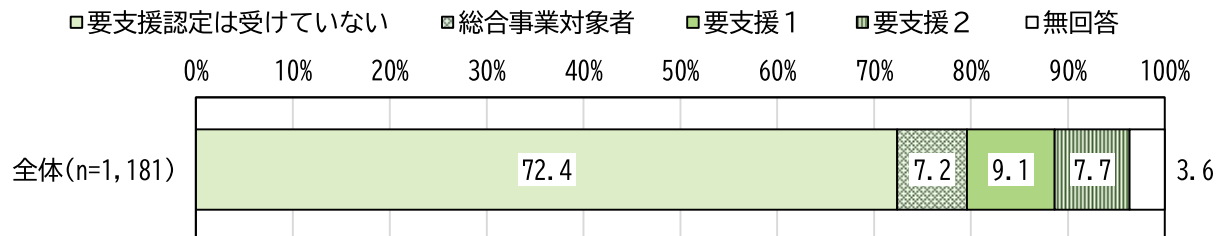
住んでいる地区は、「御殿場」が31.4%と最も多く、次いで、「富士岡」(18.3%)、「原里」(12.8%)、「印野」(11.6%)、「玉穂」(10.8%)、「高根」(9.7%)となっている。



## (2) 現在の要支援認定の状況（要支援度）について

### 問1 (2) 現在の要支援認定の状況（要支援度）について教えてください。（☑は1つ）

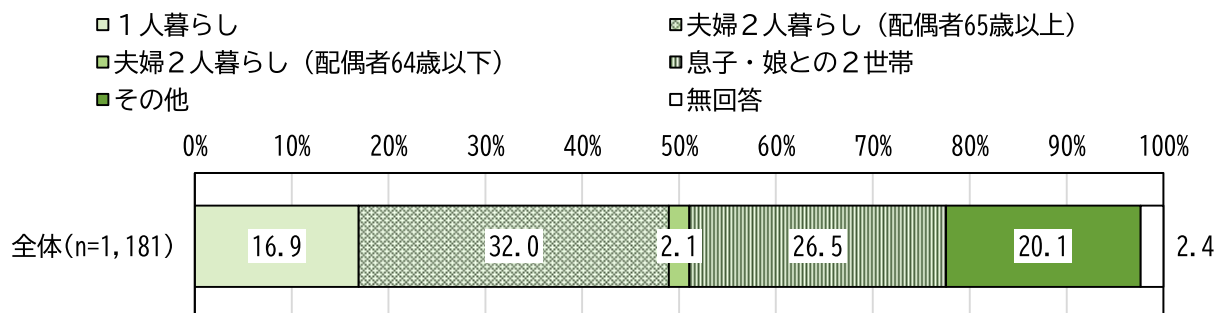
要支援認定の状況は、72.4%が「要支援認定は受けていない」と回答している。その他、「総合事業対象者」（7.2%）、「要支援1」（9.1%）、「要支援2」（7.7%）となっている。



## (3) 家族構成

### 問1 (3) 家族構成をお教えてください。（☑は1つ）

家族構成は、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が32.0%と最も多く、次いで、「息子・娘との2世帯」（26.5%）、「1人暮らし」（16.9%）、「夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）」（2.1%）となっている。

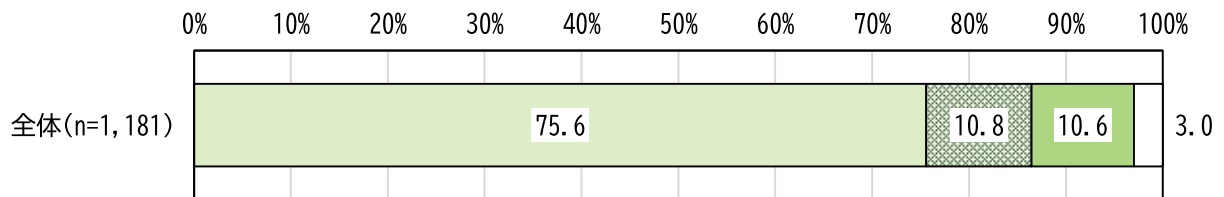


### (4) 介護・介助の要否

#### 問1 (4) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(☑は1つ)

普段の生活で介護・介助の必要性は、75.6%が「介護・介助は必要ない」と回答している。その他、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」(10.8%)、「現在、何らかの介護を受けている(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)」(10.6%)となっている。

- 介護・介助は必要ない
- 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
- 現在、何らかの介護を受けている(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)
- 無回答



### (5) 現在の暮らしの状況

#### 問1 (5) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(☑は1つ)

現在の暮らしの状況は、「ふつう」という回答が61.3%と最も多くなっている。また、「大変苦しい」(6.4%)、「やや苦しい」(22.2%)を合わせると、28.6%が苦しいと回答している。

- 大変苦しい
- やや苦しい
- ふつう
- ややゆとりがある
- 大変ゆとりがある
- 無回答

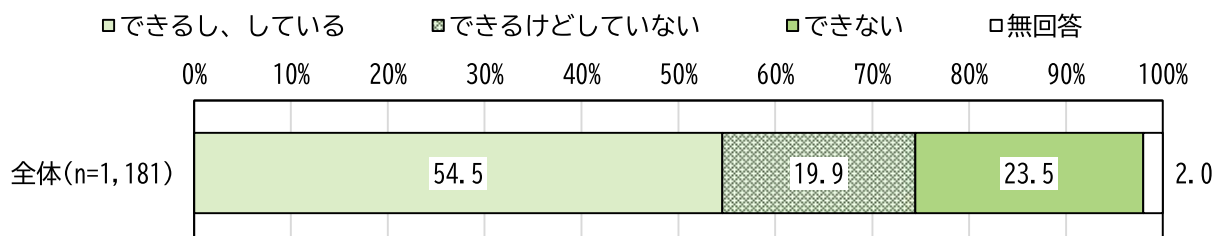


## 問2 からだを動かすことについて

### (1) 日常の生活動作

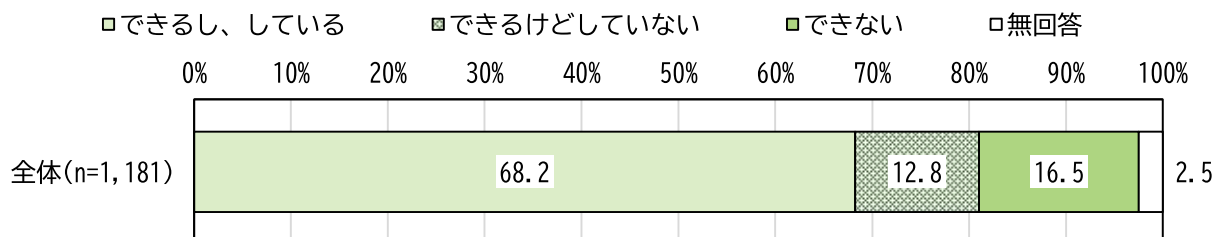
#### 問2 (1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(☑は1つ)

階段を手すりや壁をつたわずに昇っているかは、「できるし、している」が54.5%と最も多く、次いで、「できない」(23.5%)、「できるけどしていない」(19.9%)となっている。



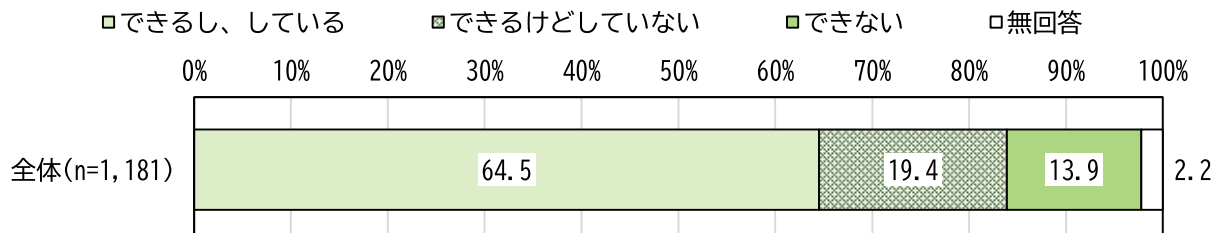
#### 問2 (2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(☑は1つ)

椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているは、「できるし、している」が68.2%と最も多く、次いで、「できない」(16.5%)、「できるけどしていない」(12.8%)となっている。



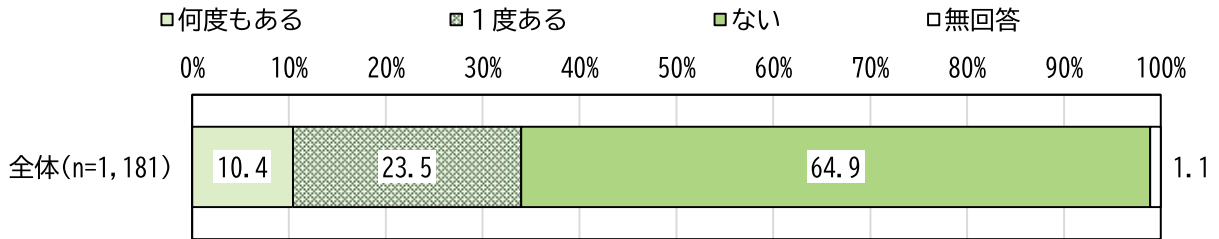
#### 問2 (3) 15分位続けて歩いていますか。(☑は1つ)

15分位続けて歩いているかは、「できるし、している」が64.5%と最も多く、次いで、「できるけどしていない」(19.4%)、「できない」(13.9%)となっている。



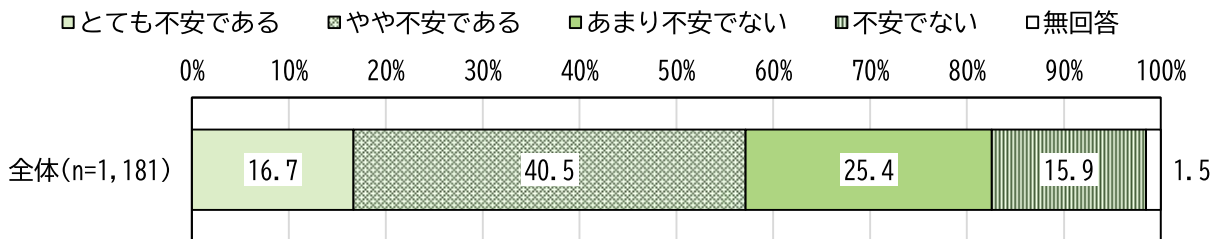
**問2（4）過去1年間に転んだ経験がありますか。（☑は1つ）**

過去1年間の転んだ経験の有無は、「ない」が64.9%と最も多く、次いで、「1度ある」（23.5%）、「何度もある」（10.4%）となっている。



**問2（5）転倒に対する不安は大きいですか。（☑は1つ）**

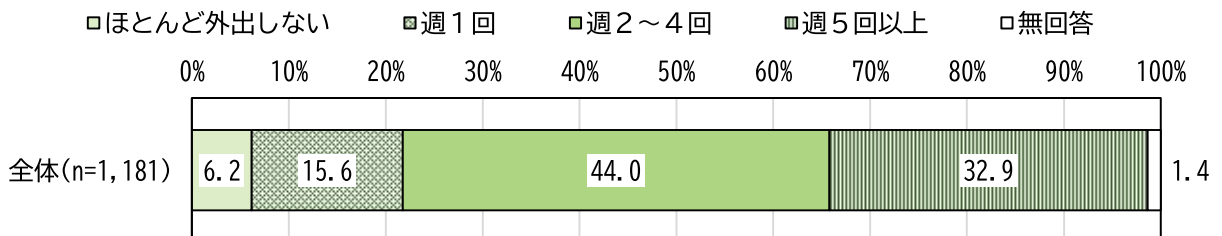
転倒に対する不安の大きさは、「やや不安である」が40.5%と最も多く、次いで、「あまり不安でない」（25.4%）、「とても不安である」（16.7%）、「不安でない」（15.9%）となっている。



**（2）外出状況**

**問2（6）週に1回以上は外出していますか。（☑は1つ）**

1週間における外出頻度は、「週2～4回」が44.0%と最も多く、次いで、「週5回以上」（32.9%）、「週1回」（15.6%）、「ほとんど外出しない」（6.2%）となっている。

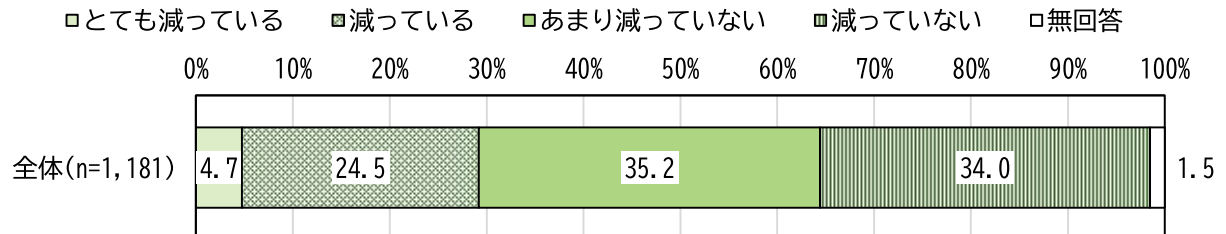


### (3) 外出回数

#### 問2 (7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(☑は1つ)

昨年と比べて外出の回数が減っているかは、「とても減っている」(4.7%)、「減っている」(24.5%)を合わせると、29.2%が減っていると回答している。

また、「減っていない」(34.0%)、「あまり減っていない」(35.2%)を合わせると、69.2%が減っていないと回答している。



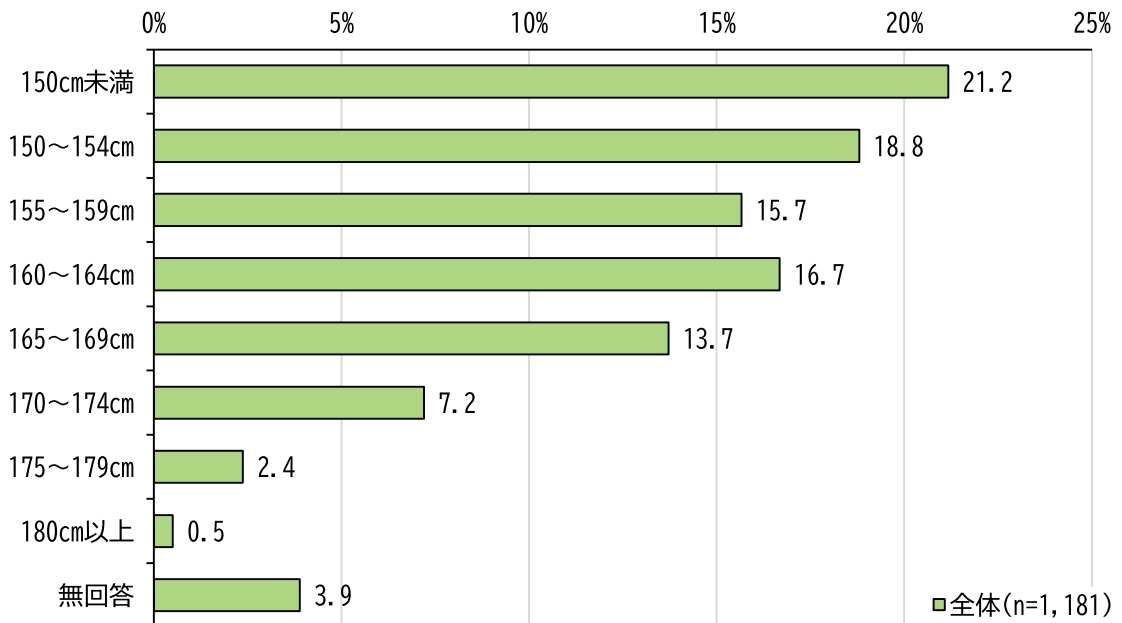
## 問3 食べることについて

### (1) 身長・体重・BMI

#### 問3 (1) 身長・体重。(数値を記入)

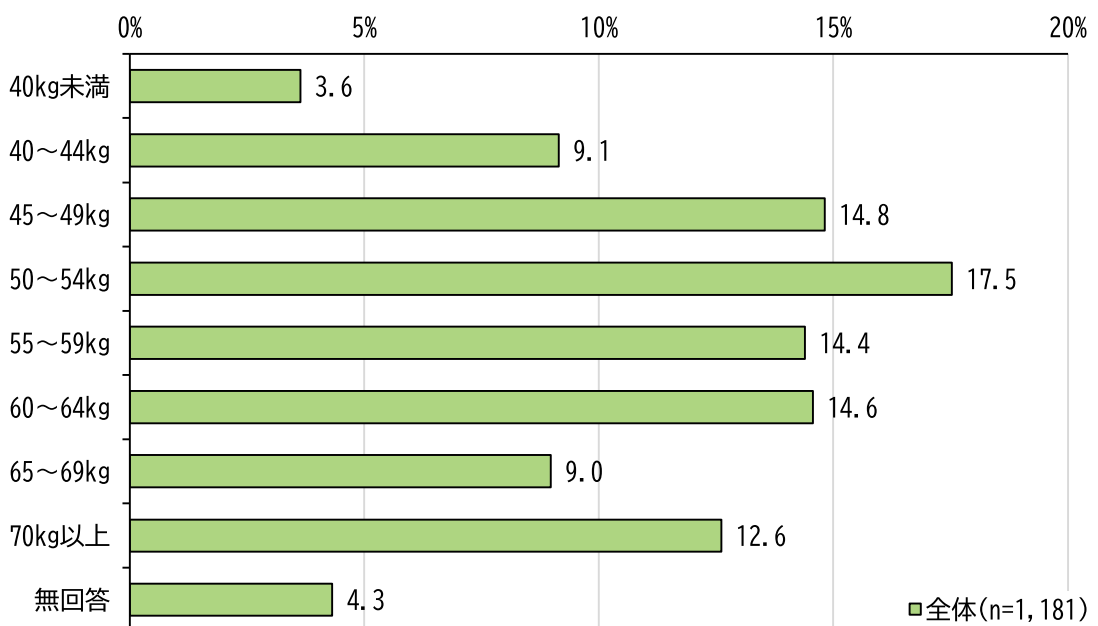
##### ①身長

身長は、「150cm未満」が21.2%と最も多く、次いで、「150～154cm」(18.8%)、「160～164cm」(16.7%)と続いている。



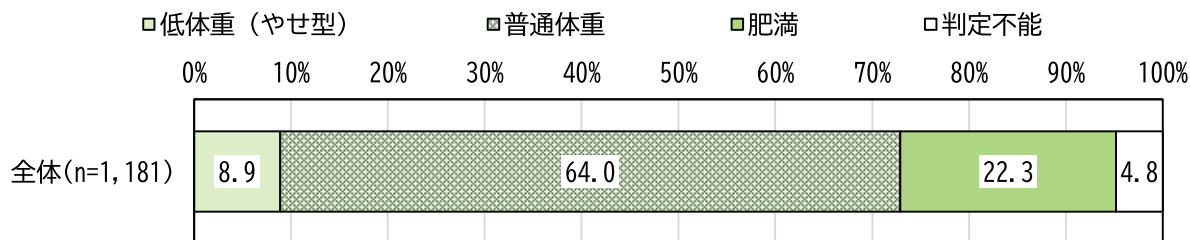
##### ②体重

体重は、「50～54kg」が17.5%と最も多く、次いで、「45～49kg」(14.8%)、「60～64kg」(14.6%)と続いている。



### ③BMI

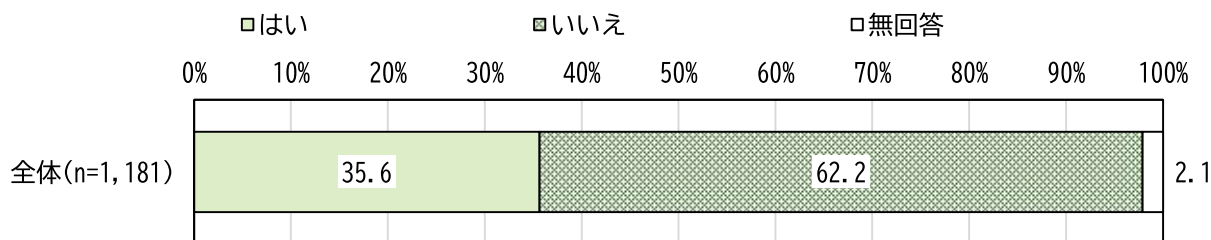
BMIは、「普通体重」が64.0%と最も多く、次いで、「肥満」(22.3%)、「低体重(やせ型)」(8.9%)となっている。



### (2) 食べにくさ

問3 (2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(☑は1つ)

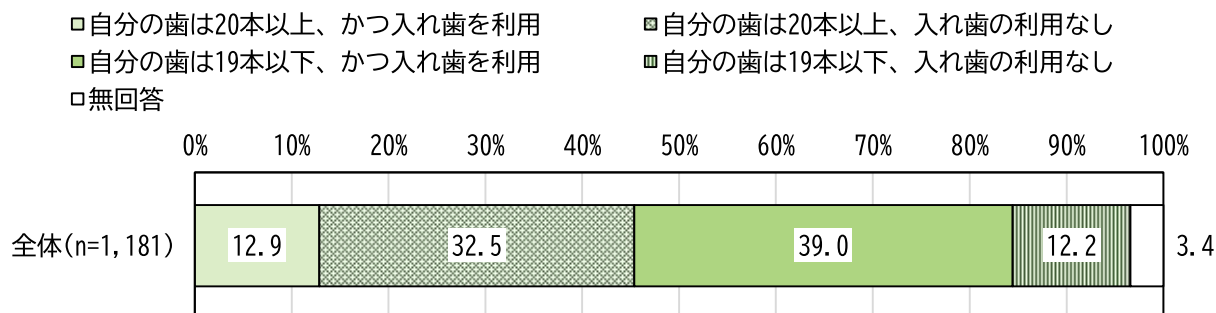
半年前に比べて固いものが食べにくくなったかは、「はい」(35.6%)、「いいえ」(62.2%)となっている。



### (3) 入れ歯の利用状況

問3 (3) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。  
(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)(☑は1つ)

歯の数と入れ歯の利用状況は、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が39.0%と最も多く、次いで、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」(32.5%)、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」(12.9%)、「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」(12.2%)となっている。

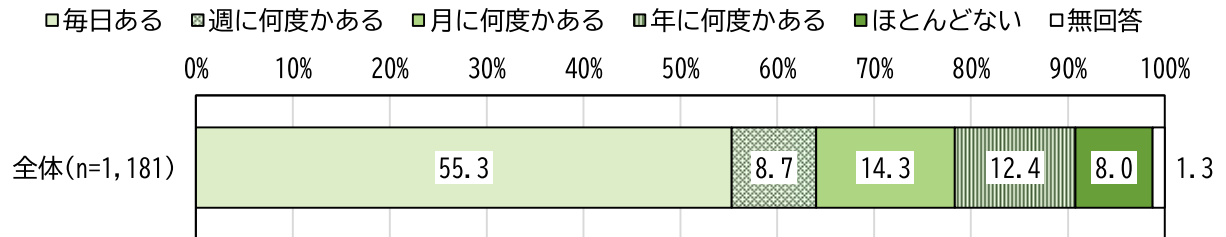


## (4) 共食機会の有無

### 問3 (4) どなたかと食事をとる機会がありますか。(☑は1つ)

どなたかと食事をとる機会があるかは、「毎日ある」が55.3%と最も多く、次いで、「月に何度かある」(14.3%)、「年に何度かある」(12.4%)、「週に何度かある」(8.7%)、となっている。

また、「ほとんどない」という回答も8.0%あった。

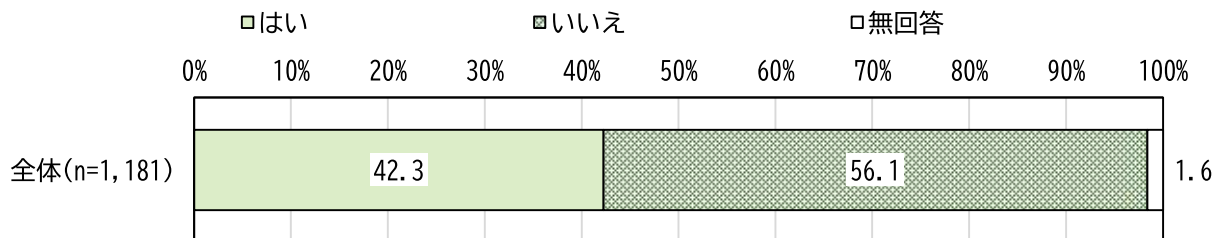


## 問4 毎日の生活について

### (1) 物忘れ

#### 問4 (1) 物忘れが多いと感じますか。(☑は1つ)

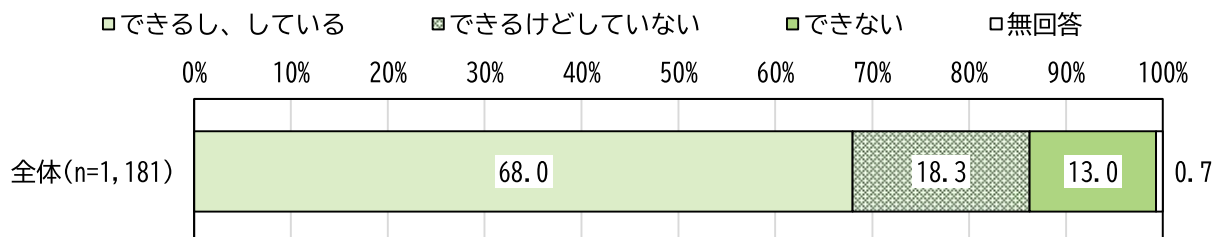
物忘れが多いと感じるかは、「はい」(42.3%)、「いいえ」(56.1%)となっている。



### (2) 日常生活の状況

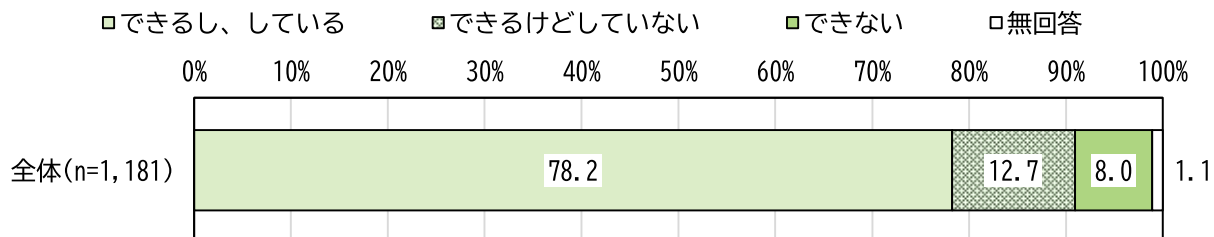
#### 問4 (2) バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)。(☑は1つ)

バスや電車を使って1人で外出しているかは、「できるし、している」が68.0%と最も多く、次いで、「できるけどしていない」(18.3%)、「できない」(13.0%)となっている。



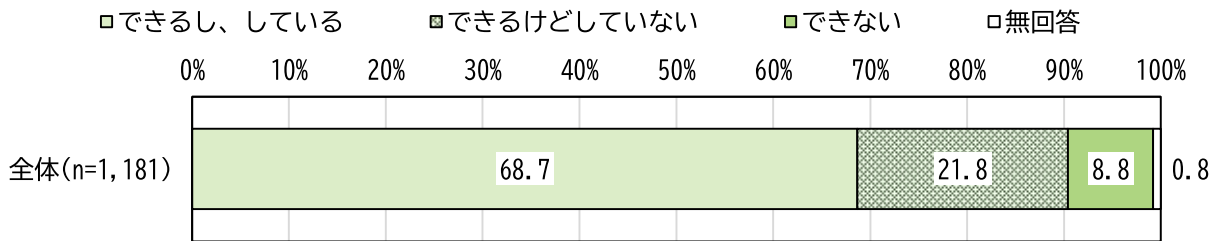
#### 問4 (3) 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(☑は1つ)

自分で食品・日用品の買物をしているかは、「できるし、している」が78.2%と最も多く、次いで、「できるけどしていない」(12.7%)、「できない」(8.0%)となっている。



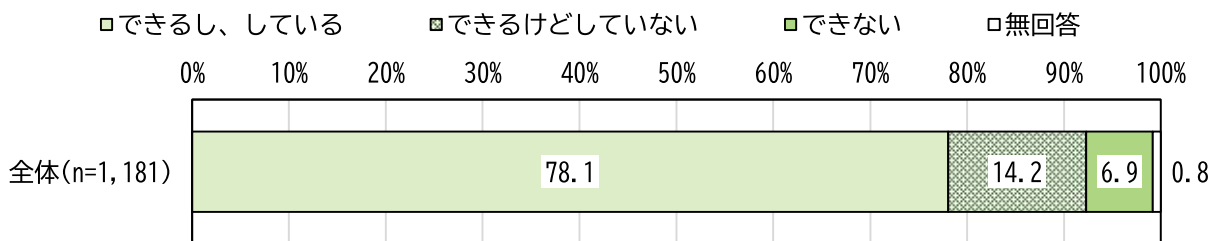
**問4（4）自分で食事の用意をしていますか。（☑は1つ）**

自分で食事の用意をしているかは、「できるし、している」が68.7%と最も多く、次いで、「できるけどしていない」（21.8%）、「できない」（8.8%）となっている。



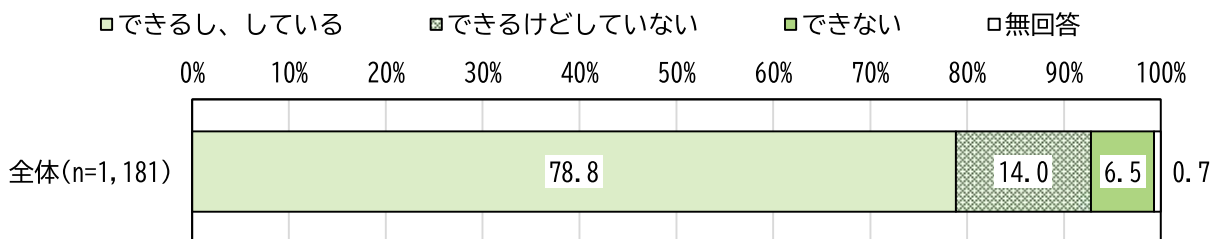
**問4（5）自分で請求書の支払いをしていますか。（☑は1つ）**

自分で請求書の支払いをしているかは、「できるし、している」が78.1%と最も多く、次いで、「できるけどしていない」（14.2%）、「できない」（6.9%）となっている。



**問4（6）自分で預貯金の出し入れをしていますか。（☑は1つ）**

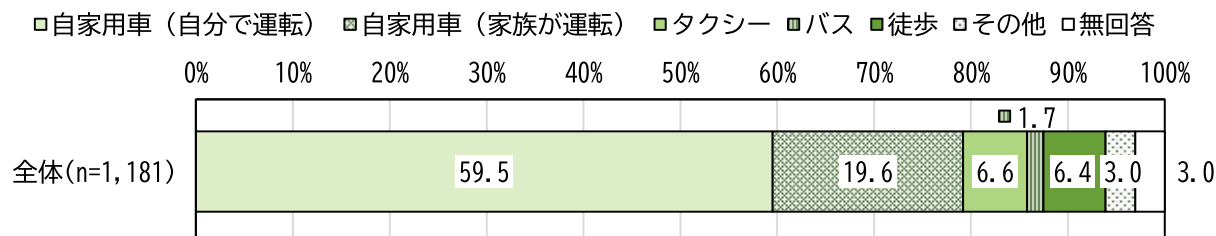
自分で預貯金の出し入れをしているかは、「できるし、している」が78.8%と最も多く、次いで、「できるけどしていない」（14.0%）、「できない」（6.5%）となっている。



### (3) 移動手段

#### 問4 (7) 日常的な移動手段は何ですか。(☑は1つ)

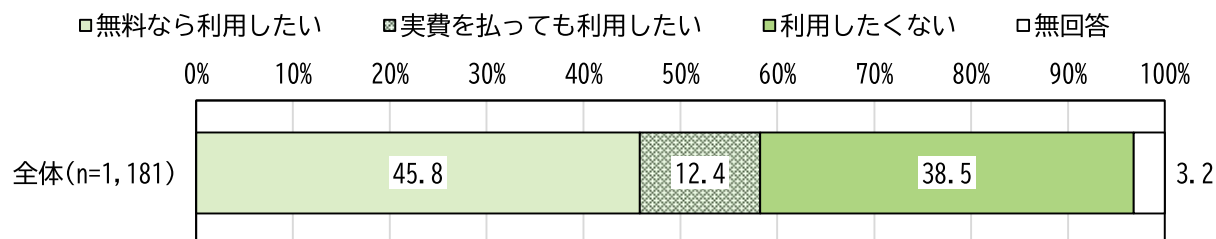
日常的な移動手段は、「自家用車（自分で運転）」が 59.5%と最も多く、次いで、「自家用車（家族が運転）」（19.6%）、「タクシー」（6.6%）、「徒歩」（6.4%）となっている。



### (4) 送迎サービスの利用意向

#### 問4 (8) 送迎サービスがあったら利用したいですか。(☑は1つ)

送迎サービスがあったら利用したいかは、「無料なら利用したい」が 45.8%と最も多く、次いで、「利用したくない」（38.5%）、「実費を払っても利用したい」（12.4%）となっている。

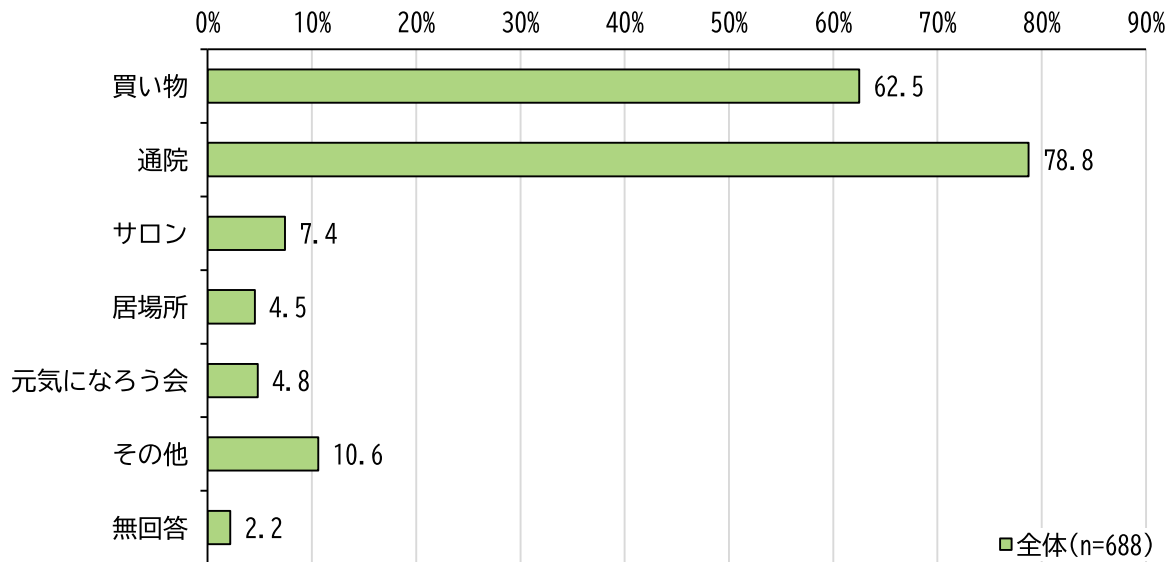


## (5) 送迎サービスの利用機会

【問4(8)で「無料なら利用したい」「実費を払っても利用したい」と回答した方におうかがいします】

問4(9) どんな時に利用したい(している)ですか。(あてはまるものすべてに☑)

どんな時に送迎サービスを利用したいかは、「通院」が78.8%と最も多く、次いで、「買い物」(62.5%)、「サロン」(7.4%)となっている。



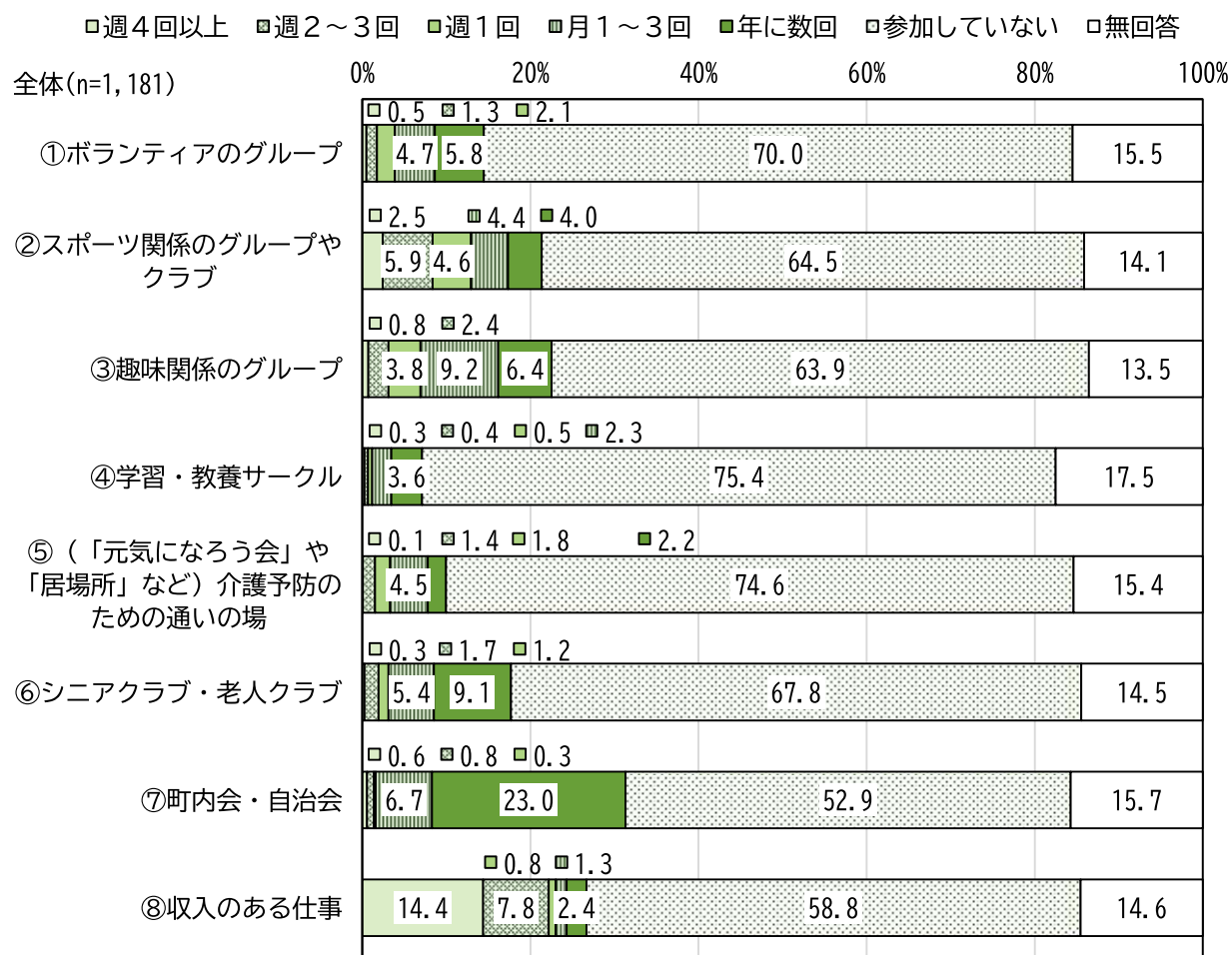
## 問5 地域での活動について

### (1) グループ活動等の参加頻度

問5 (1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか  
 ※① - ⑧それぞれに回答してください。(それぞれ☑は1つ)

グループ活動等にどのくらいの頻度で参加しているかは、「⑦町内会・自治会」の参加状況が比較的高く、「参加していない」を除いて、3割以上が参加している。

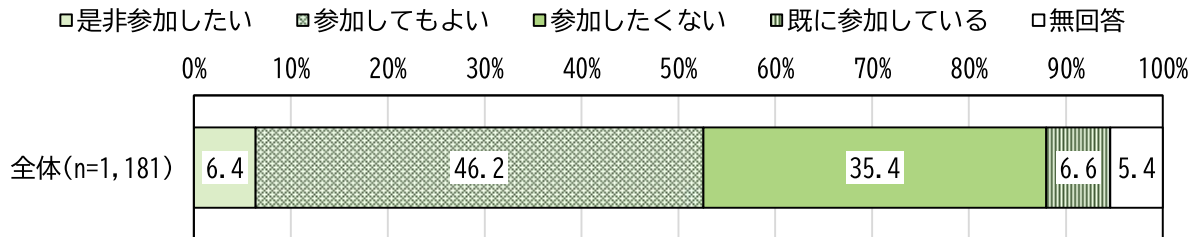
また、「参加していない」という回答が最も多かったのは、「④学習・教養サークル」(75.4%)となっている。



## (2) 社会参加

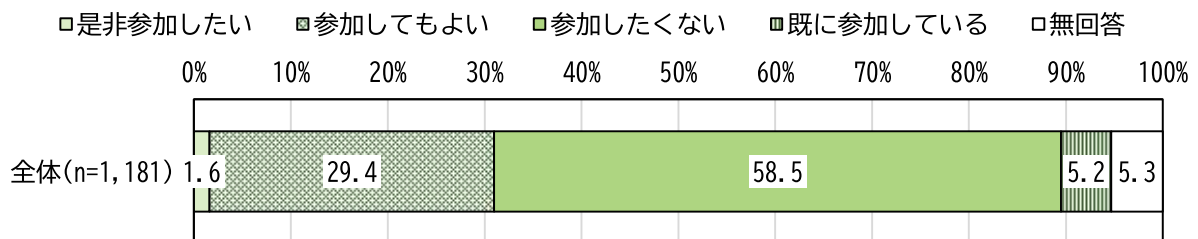
問5 (2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(☑は1つ)

地域住民の有志による健康づくり活動や趣味等のグループ活動への参加意向（参加者として）は、「是非参加したい」（6.4%）、「参加してもよい」（46.2%）を合わせると、52.6%に参加意向がある。



問5 (3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。(☑は1つ)

地域住民の有志による健康づくり活動や趣味等のグループ活動への参加意向（企画・運営として）は、「是非参加したい」（1.6%）、「参加してもよい」（29.4%）を合わせると、31.0%に参加意向がある。

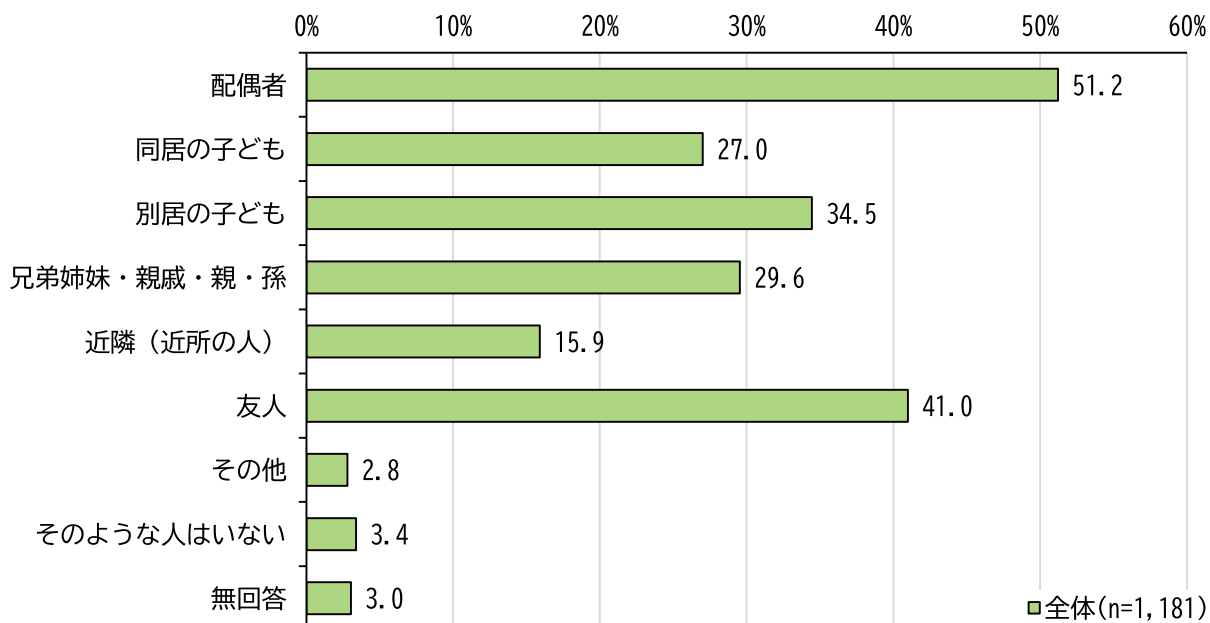


## 問6 たすけあいについて

### (1) 「たすけあい」

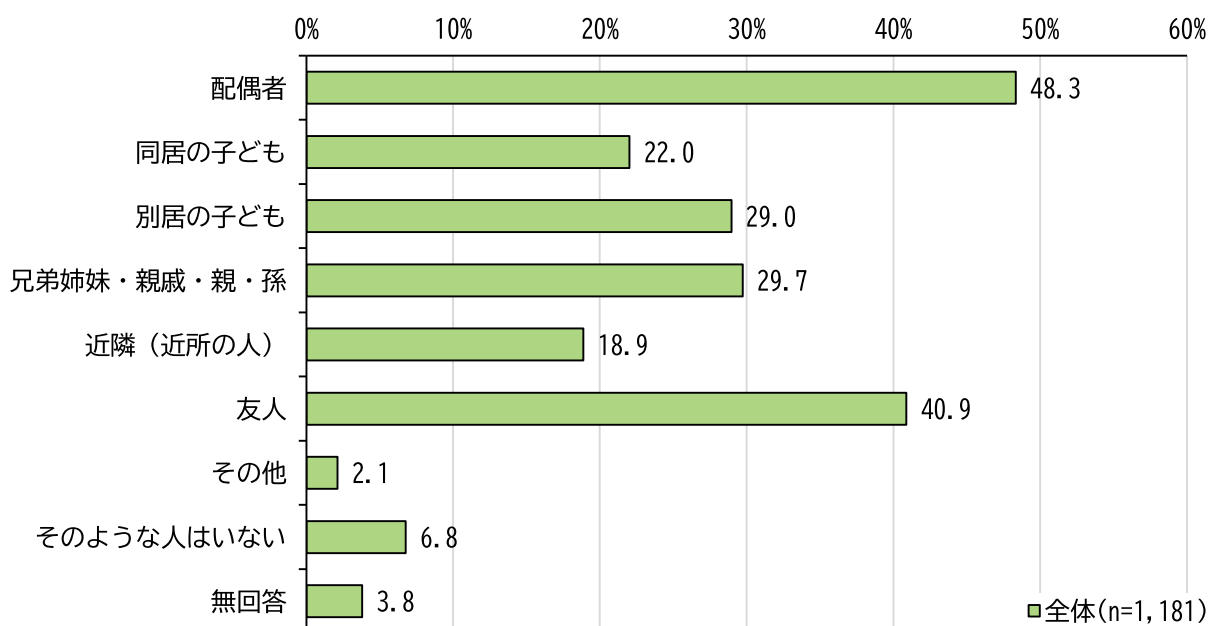
#### 問6 (1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人。(あてはまるものすべてに☑)

心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人は、「配偶者」が51.2%と最も多く、次いで、「友人」(41.0%)、「別居の子ども」(34.5%)と続いている。



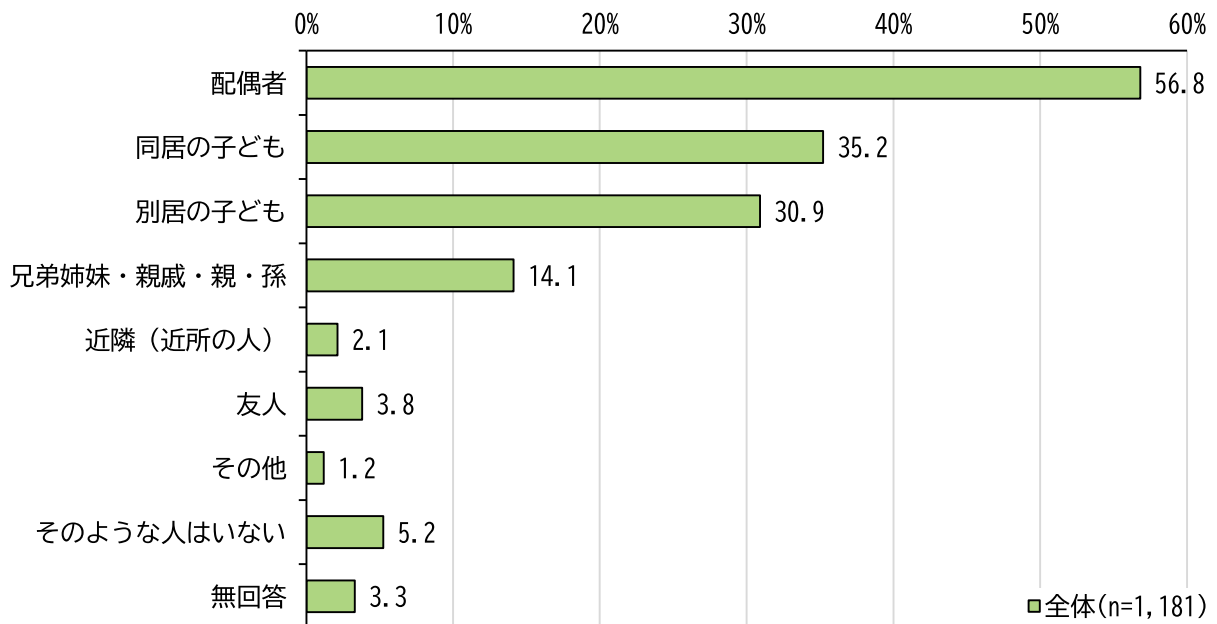
#### 問6 (2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人。(あてはまるものすべてに☑)

心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人は、「配偶者」が48.3%と最も多く、次いで、「友人」(40.9%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(29.7%)と続いている。



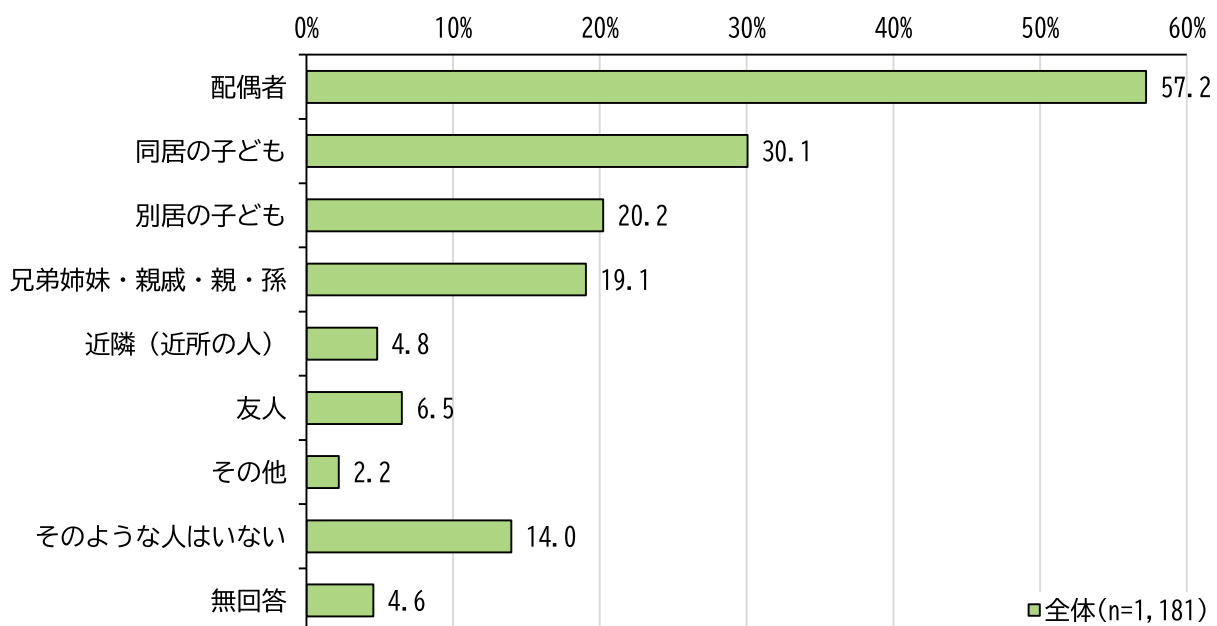
**問6 (3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人。  
(あてはまるものすべてに☑)**

病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人は、「配偶者」が56.8%と最も多く、次いで、「同居の子ども」(35.2%)、「別居の子ども」(30.9%)と続いている。



**問6 (4) 反対に、看病や世話をしてあげる人。(あてはまるものすべてに☑)**

看病や世話をしてあげる人は、「配偶者」が57.2%と最も多く、次いで、「同居の子ども」(30.1%)、「別居の子ども」(20.2%)と続いている。

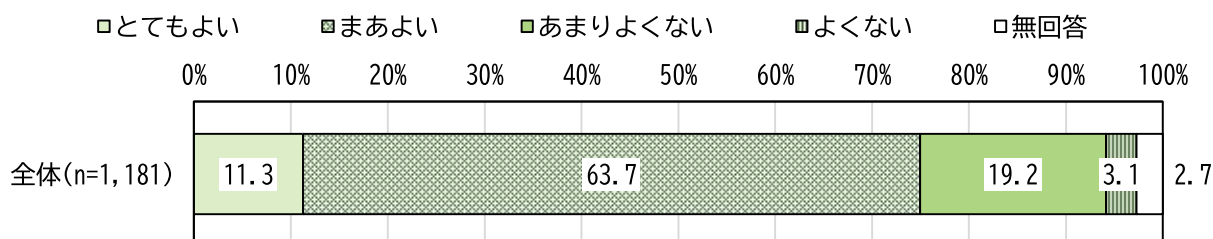


## 問7 健康について

### (1) 健康状態

#### 問7(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(☑は1つ)

現在の健康状態は、「とてもよい」(11.3%)、「まあよい」(63.7%)を合わせると、75.0%が健康状態はよいと回答している。また、「よくない」(3.1%)、「あまりよくない」(19.2%)を合わせると、22.3%が健康状態はよくないと回答している。

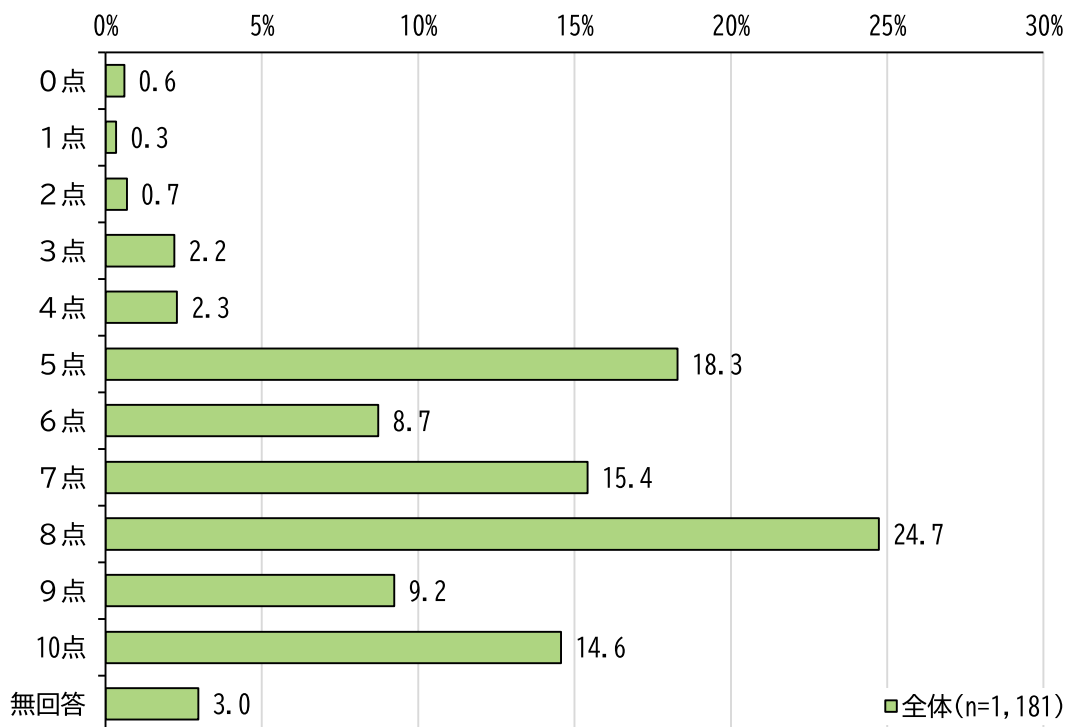


### (2) 現在の幸福度

#### 問7(2) あなたは、現在どの程度幸せですか。(☑は1つ)

(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)

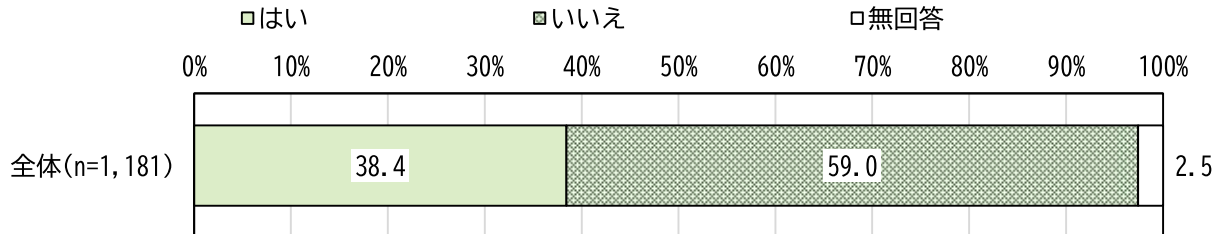
現在どの程度幸せかは、「8点」が24.7%と最も多く、次いで、「5点」(18.3%)、「7点」(15.4%)、「10点」(14.6%)と続いており、5点以上の回答が約9割となっている。



### (3) こころの健康

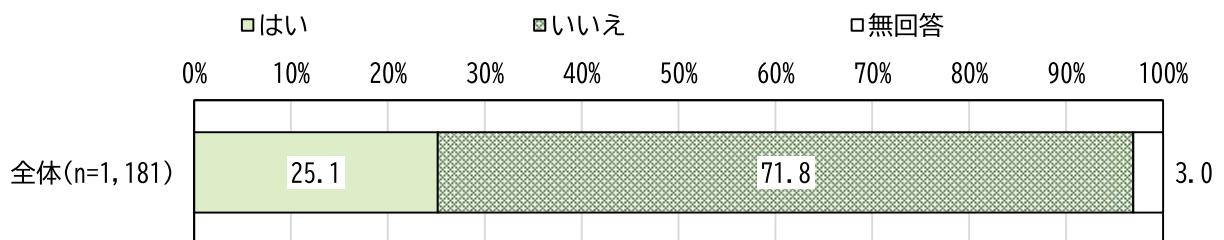
問7 (3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(☑は1つ)

この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったかは、「はい」(38.4%)、「いいえ」(59.0%)となっている。



問7 (4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(☑は1つ)

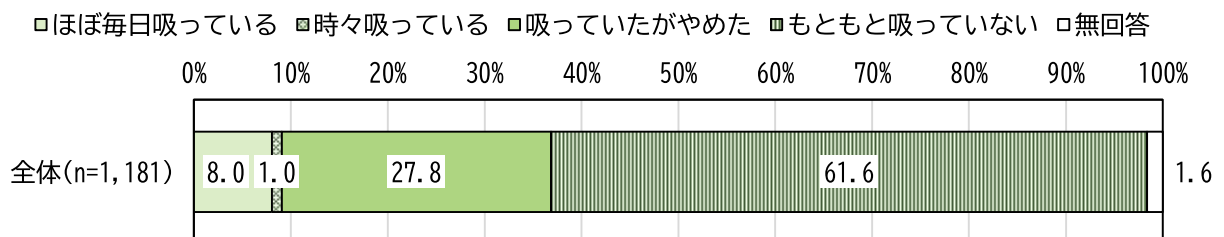
この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくあったかは、「はい」(25.1%)、「いいえ」(71.8%)となっている。



### (4) 喫煙状況

問7 (5) タバコは吸っていますか。(☑は1つ)

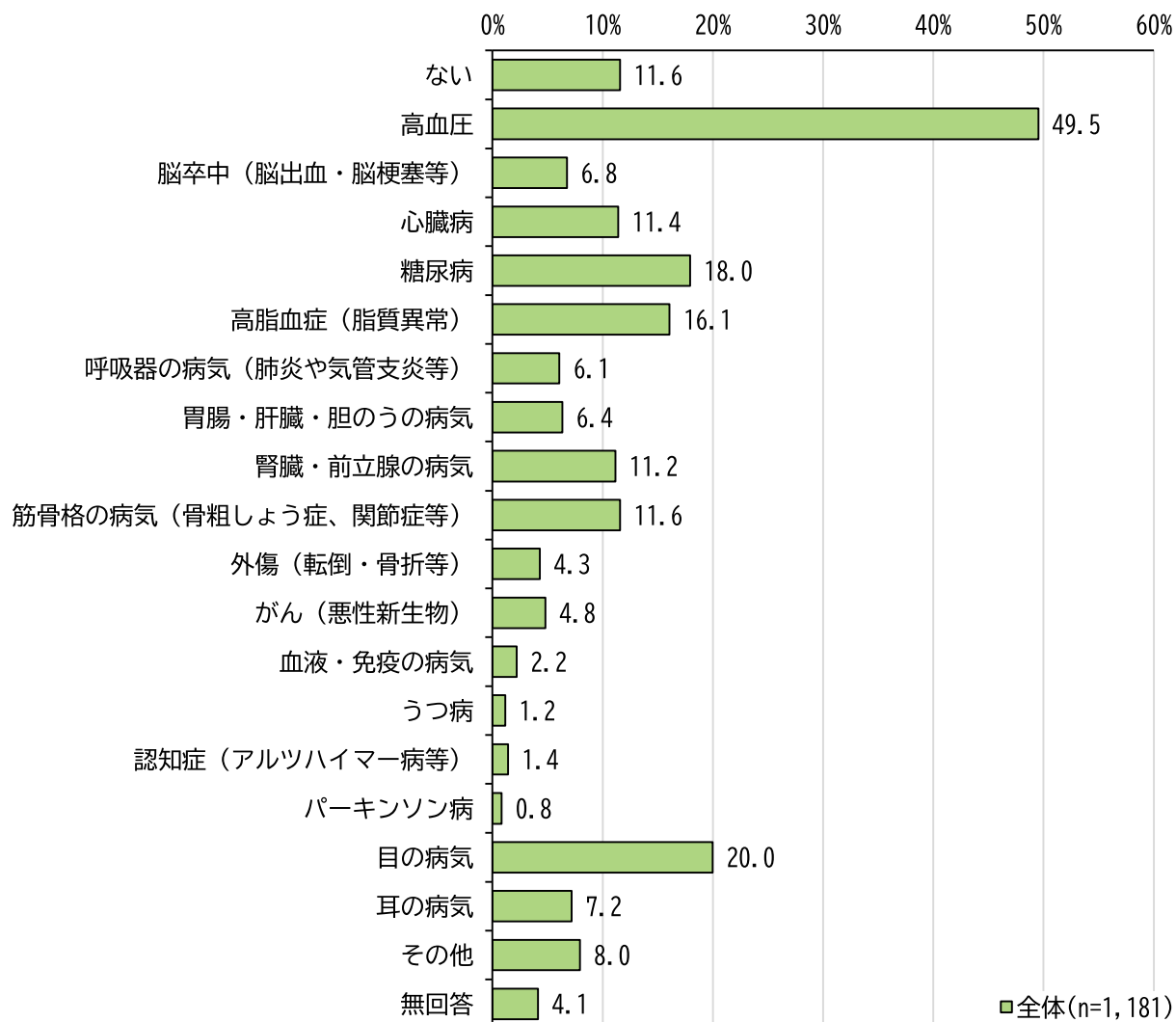
喫煙については、「もともと吸っていない」が61.6%と最も多く、次いで、「吸っていたがやめた」(27.8%)、「ほぼ毎日吸っている」(8.0%)、「時々吸っている」(1.0%)となっている。



### (5) 病気（治療中又は後遺症）

問7(6) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(あてはまるものすべてに☑)

現在治療中もしくは後遺症のある病気は、「高血圧」が49.5%と最も多く、次いで、「目の病気」(20.0%)、「糖尿病」(18.0%)、「高脂血症(脂質異常)」(16.1%)と続いている。  
また、11.6%が「ない」と回答している。

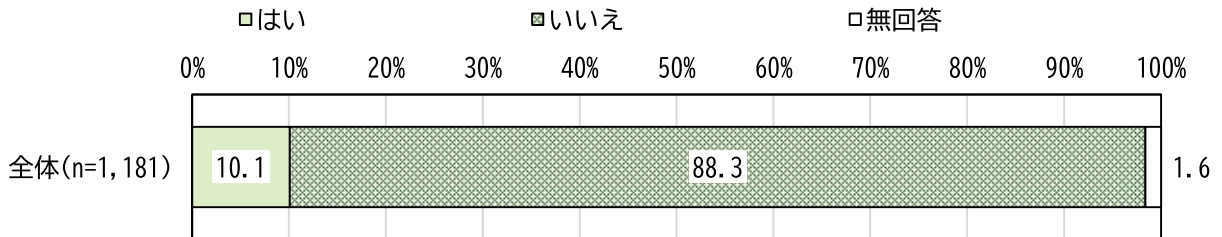


## 問8 認知症への対応について

### (1) 認知症状の有無

問8 (1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(☑は1つ)

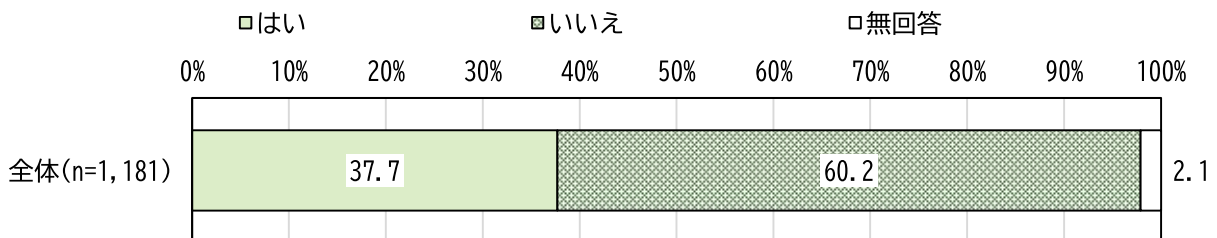
認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるかは、「はい」(10.1%)、「いいえ」(88.3%)となっている。



### (2) 認知症の相談窓口

問8 (2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(☑は1つ)

認知症に関する相談窓口を知っているかは、「はい」(37.7%)、「いいえ」(60.2%)となっている。

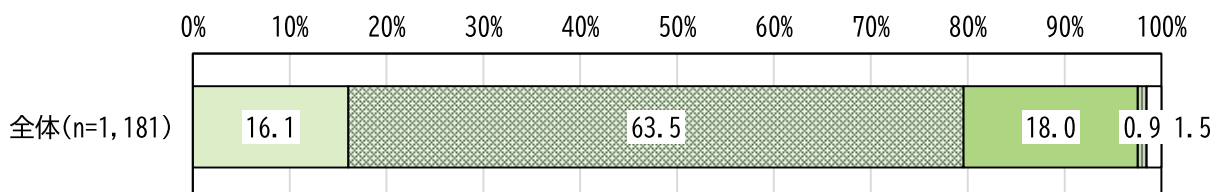


### (3) 認知症に関する認知状況

問8 (3) 認知症という病気について、どの程度知っていますか。(☑は1つ)

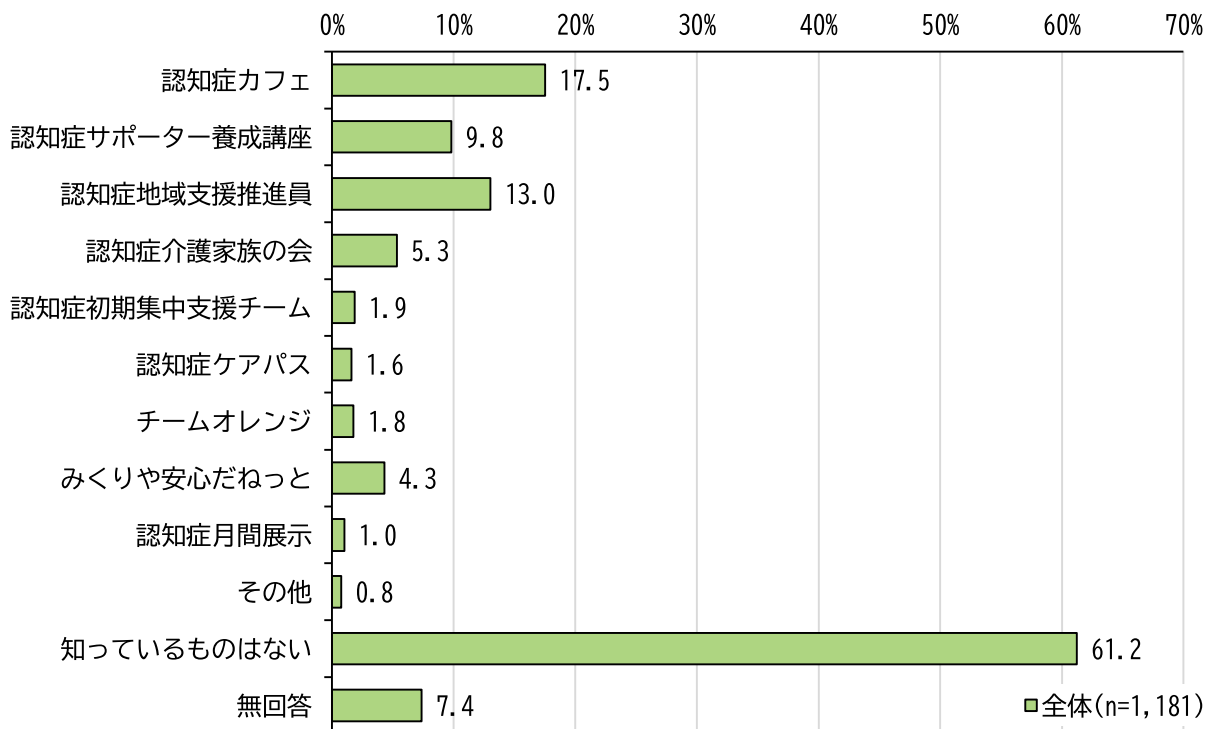
認知症について、どの程度知っているかは、「どのような症状の病気かある程度知っている」が63.5%と最も多く、次いで、「認知症という言葉ぐらひは知っている」(18.0%)、「どのような症状の病気かよく知っている」(16.1%)、「まったく知らない」(0.9%)となっている。

- どのような症状の病気かよく知っている
- 認知症という言葉ぐらひは知っている
- 無回答
- どのような症状の病気かある程度知っている
- まったく知らない



**問8 (4) 市で実施している認知症支援で知っているものはどれですか。  
(あてはまるものすべてに☑)**

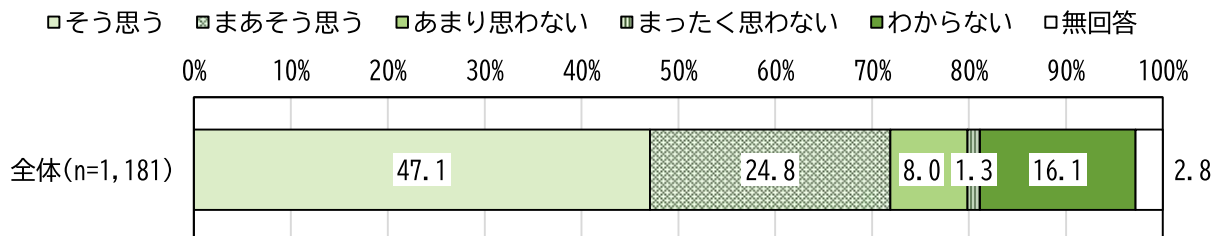
市で実施している認知症支援で知っているものは、「知っているものはない」が61.2%と最も多く、次いで、「認知症カフェ」(17.5%)、「認知症地域支援推進員」(13.0%)と続いている。



**(4) 認知症を患った際の地域生活**

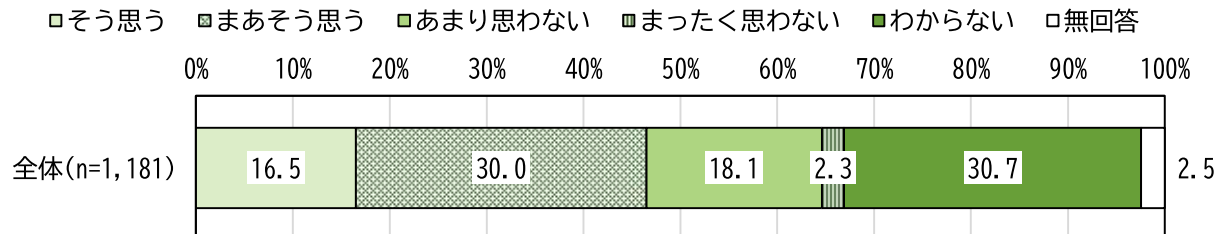
**問8 (5) 自分が認知症になっても住み慣れた地域で暮らし続けたいですか。(☑は1つ)**

自分が認知症になっても住み慣れた地域で暮らし続けたいかは、「そう思う」(47.1%)、「まあそう思う」(24.8%)を合わせると、71.9%が暮らし続けたいと思うと回答している。また、「まったく思わない」(1.3%)、「あまり思わない」(8.0%)を合わせると、9.3%が暮らし続けたいと思わないと回答している。



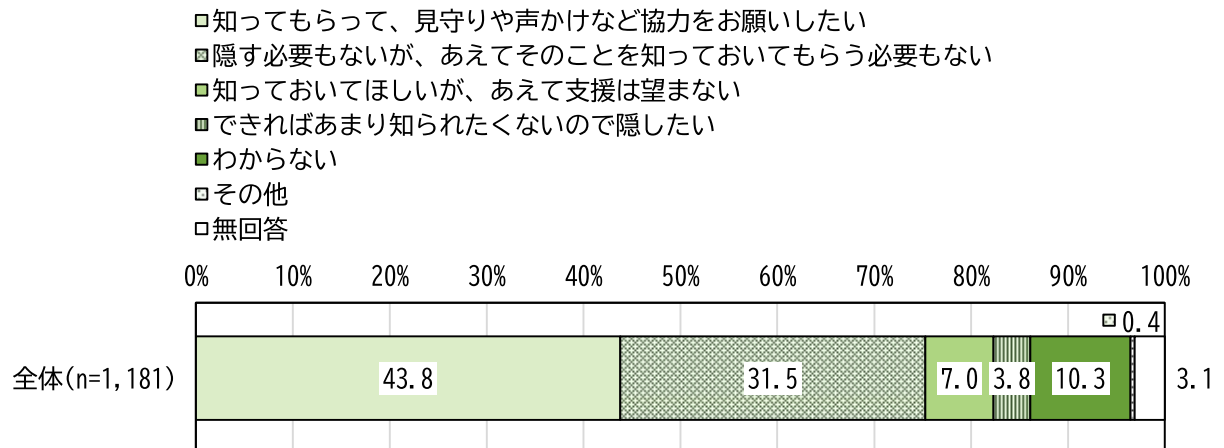
**問8 (6) 自分が認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らしていけると思えますか。  
(☑は1つ)**

自分が認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らしていけると思うかは、「そう思う」(16.5%)、「まあそう思う」(30.0%)を合わせると、46.5%が暮らしていけると思うと回答している。また、「まったく思わない」(2.3%)、「あまり思わない」(18.1%)を合わせると、20.4%が暮らしていけると思わないと回答している。



**問8 (7) もし、あなたやあなたの家族が認知症になったら、そのことを近所の人に知ってもらおうと思えますか。(☑は1つ)**

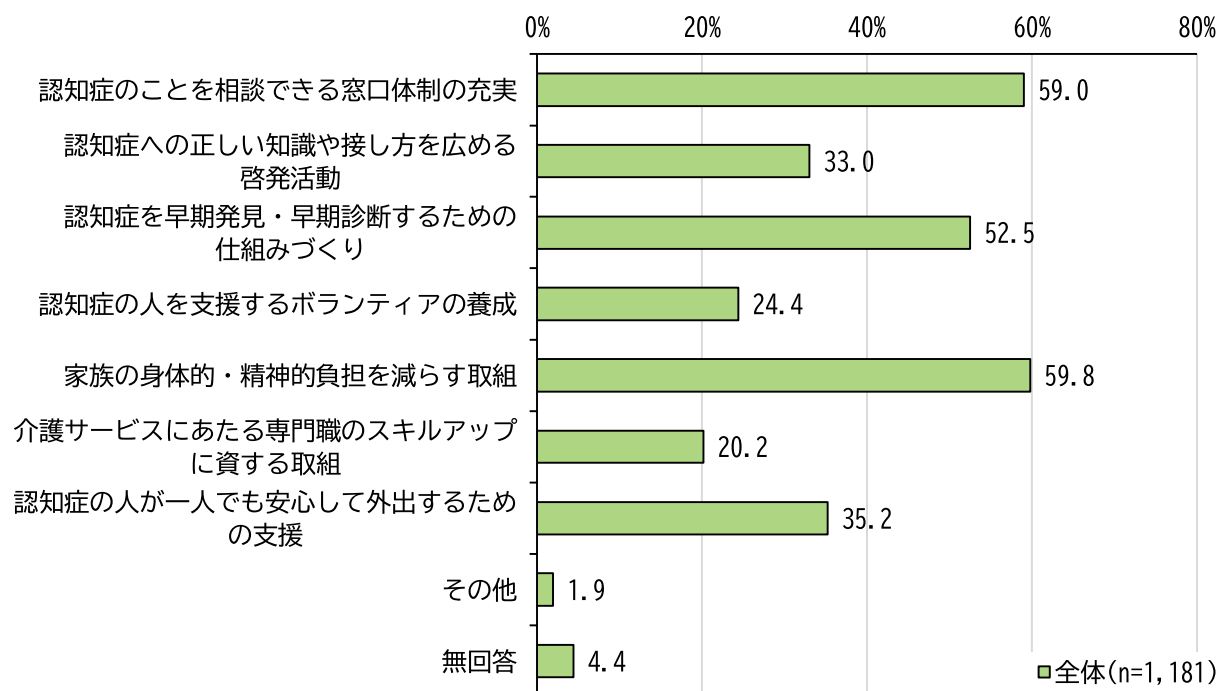
あなたやあなたの家族が認知症になったら、そのことを近所の人に知ってもらおうと思うかは、「知ってもらって、見守りや声かけなど協力をお願いしたい」が43.8%と最も多く、次いで、「隠す必要もないが、あえてそのことを知っておいてもらう必要もない」(31.5%)、「わからない」(10.3%)と続いている。



### (5) 認知症になったときに地域で安心して暮らすための施策

問8 (8) 認知症になったときに地域で安心して暮らすために、どのような施策があれば安心ですか。(あてはまるものすべてに☑)

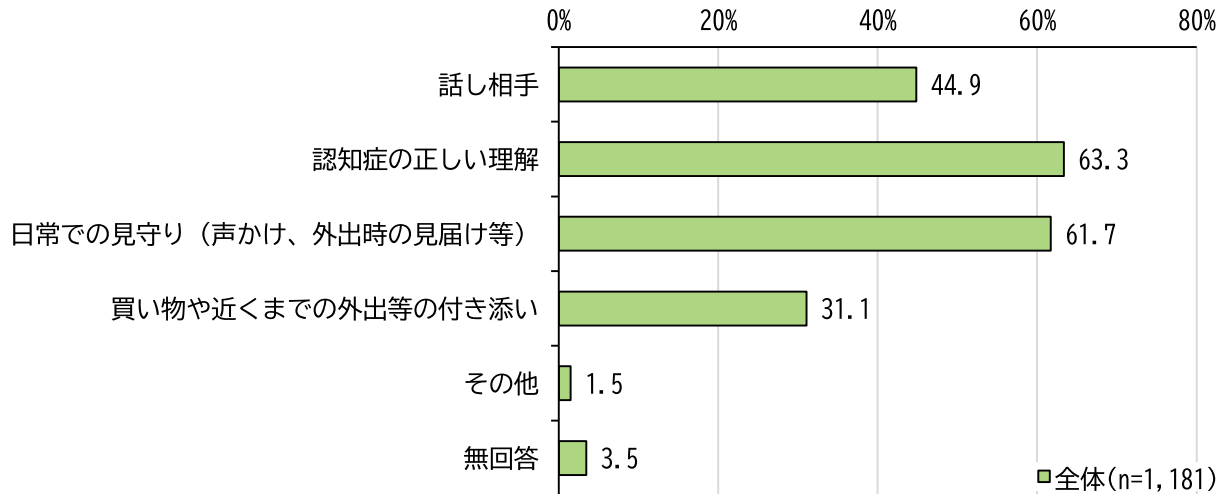
認知症になったときに地域で安心して暮らすために希望する施策は、「家族の身体的・精神的負担を減らす取組」が59.8%と最も多く、次いで、「認知症のことを相談できる窓口体制の充実」(59.0%)、「認知症を早期発見・早期診断するための仕組みづくり」(52.5%)と続いている。



## (6) 認知症になったときに地域で安心して暮らすための協力

問8(9) 認知症になったときに地域で安心して暮らすためには、地域住民のどのような協力があると助かると思いますか。(あてはまるものすべてに☑)

認知症になったときに地域で安心して暮らすためにあると助かると思う協力は、「認知症の正しい理解」が63.3%と最も多く、次いで、「日常での見守り（声かけ、外出時の見届け等）」（61.7%）、「話し相手」（44.9%）と続いている。



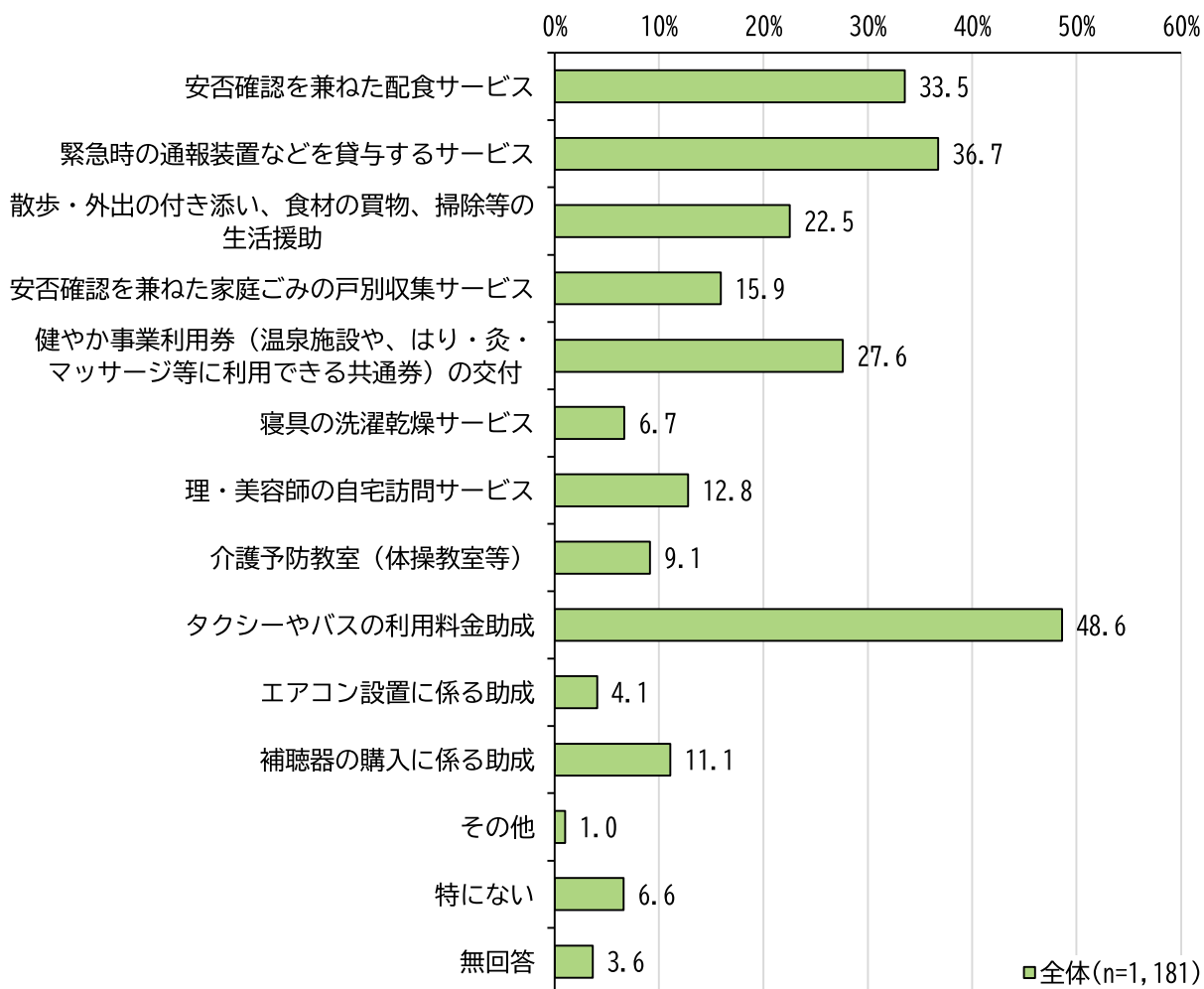
## 問9 高齢者福祉サービスについて

### (1) 利用したい支援サービス

問9 (1) 自立した生活を支援するサービスで、今後利用したいと思うものを教えてください。(利用しているものも含む) (☑は3つまで)

自立した生活を支援するサービスで、今後利用したいと思うものは、「タクシーやバスの利用料金助成」が48.6%と最も多く、次いで、「緊急時の通報装置などを貸与するサービス」(36.7%)、「安否確認を兼ねた配食サービス」(33.5%)と続いている。

また、6.6%が「特にない」と回答している。

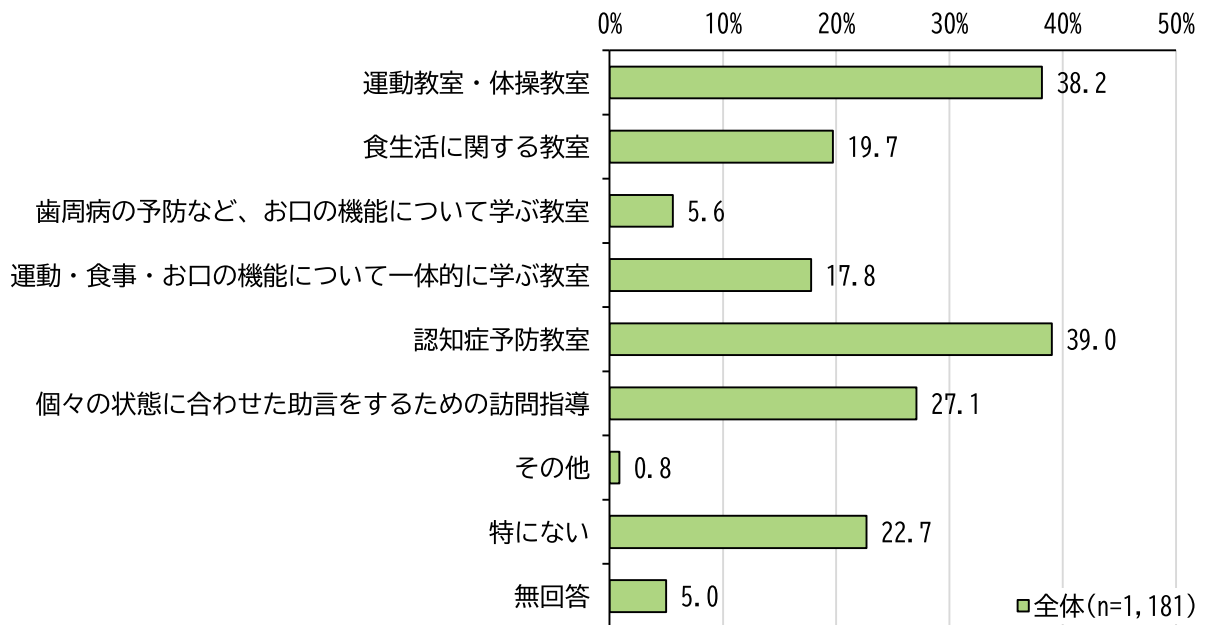


## (2) 利用したい介護予防教室

問9 (2) 介護予防のための各種教室で今後利用したいものと思うものを教えてください。(利用しているものも含む) (☑は3つまで)

介護予防のための各種教室で今後利用したいものと思うものは、「認知症予防教室」が39.0%と最も多く、次いで、「運動教室・体操教室」(38.2%)、「個々の状態に合わせた助言をするための訪問指導」(27.1%)と続いている。

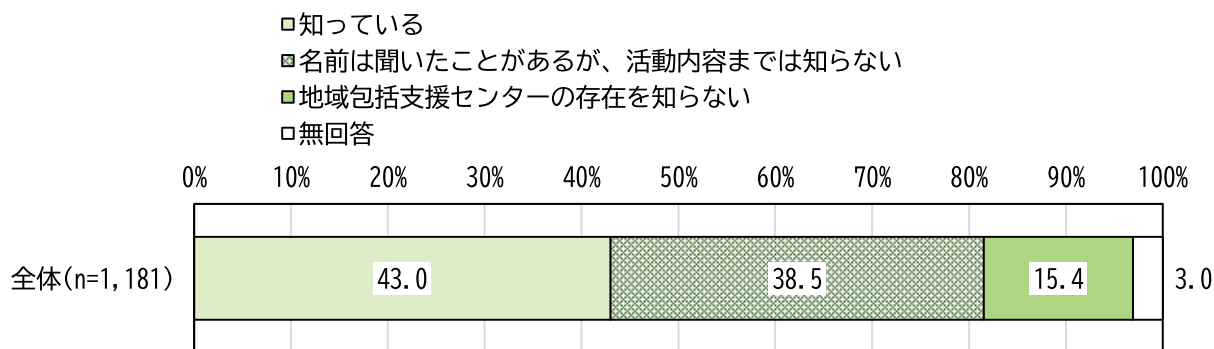
また、22.7%が「特にない」と回答している。



### (3) 地域包括支援センターの認知度

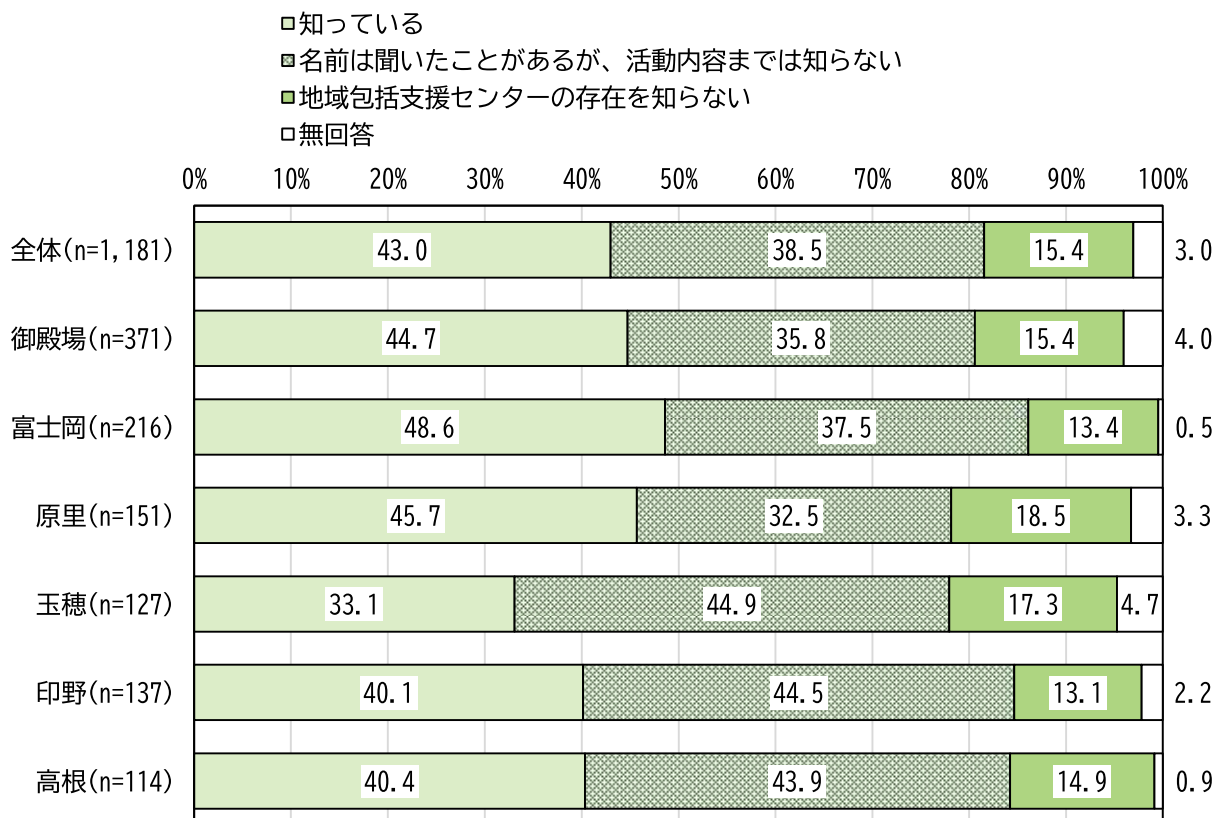
問9 (3) 地域包括支援センターは、高齢者の方々が住みなれた地域で安心して暮らしていけるよう、介護・福祉・健康などさまざまな面から総合的に支援する機関で、御殿場市には5か所あります。地域包括支援センターの活動内容を知っていますか。(☑は1つ)

地域包括支援センターの認知度は、「知っている」(43.0%)、「名前は聞いたことがあるが、活動内容までは知らない」(38.5%)、「地域包括支援センターの存在を知らない」(15.4%)となっている。



#### 【地区別地域包括支援センターの認知度】

地区別地域包括支援センターの認知度は、「知っている」という回答でみると、「富士岡」が48.6%と最も多く、次いで、「原里」(45.7%)、「御殿場」(44.7%)と続いている。また、「地域包括支援センターの存在を知らない」という回答が最も多かったのは、「原里」で18.5%となっている。



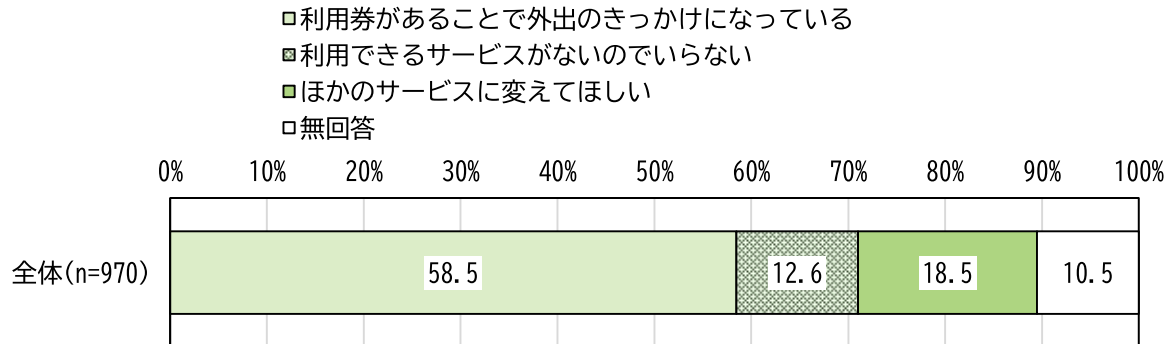
※「全体」には地区無回答者(65人)を含む。

### (4) 「健やか事業利用券」の要否

【70歳以上の方におうかがいします】

問9(4)市から9月に配付されている「健やか事業利用券(温泉施設や、はり・灸・マッサージ等に利用できる共通券)」は、高齢者の社会参加や健康の保持促進、日常生活の便宜を図ることを目的にお配りしています。あてはまるものを教えてください。(☑は1つ)

「健やか事業利用券」は、「利用券があることで外出のきっかけになっている」が58.5%と最も多く、次いで、「ほかのサービスに変えてほしい」(18.5%)、「利用できるサービスがないのでいけない」(12.6%)となっている。



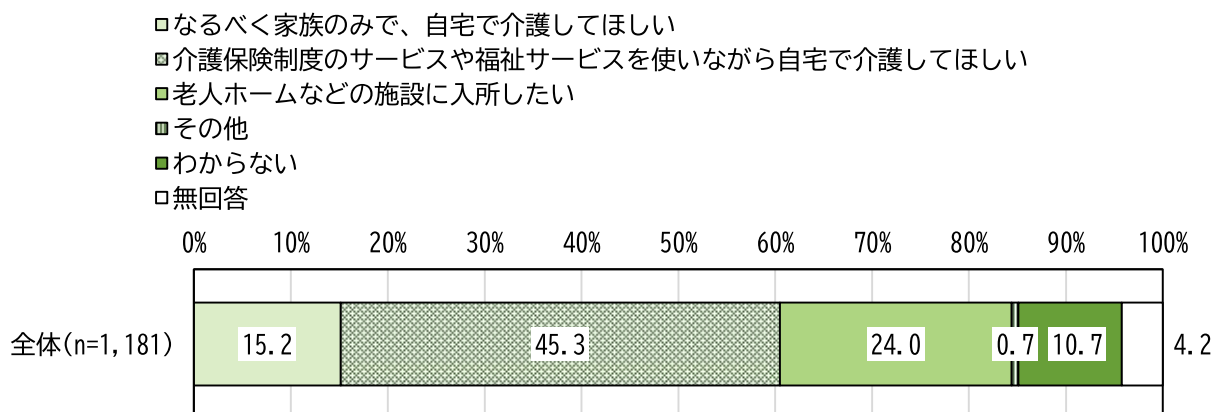
## 問 10 今後の暮らしについて

### (1) 介護を受ける場所 (本人)

問 10 (1) あなたに介護が必要となった場合、どこで介護を受けたいと思いますか。(☑は1つ)

あなたに介護が必要となった場合、どこで介護を受けたいかは、「介護保険制度のサービス(デイサービスや短期の宿泊サービスなど)や福祉サービス(生活支援や緊急通報サービスなど)を使いながら自宅で介護してほしい」が 45.3%と最も多く、次いで、「老人ホームなどの施設に入所したい」(24.0%)、「なるべく家族のみで、自宅で介護してほしい」(15.2%)となっている。

また、10.7%が「わからない」と回答している。

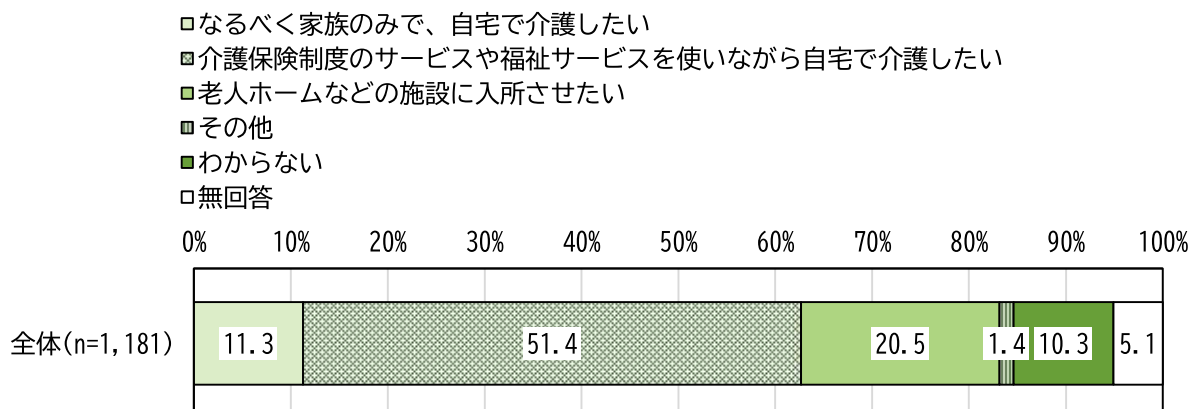


### (2) 介護を受ける場所 (家族)

問 10 (2) あなたの家族に介護が必要となった場合、どのように介護したいと思いますか。(☑は1つ)

あなたの家族に介護が必要となった場合、どのように介護したいかは、「介護保険制度のサービス(デイサービスや短期の宿泊サービスなど)や福祉サービス(生活支援や緊急通報サービスなど)を使いながら自宅で介護したい」が 51.4%と最も多く、次いで、「老人ホームなどの施設に入所させたい」(20.5%)、「なるべく家族のみで、自宅で介護したい」(11.3%)となっている。

また、10.3%が「わからない」と回答している。

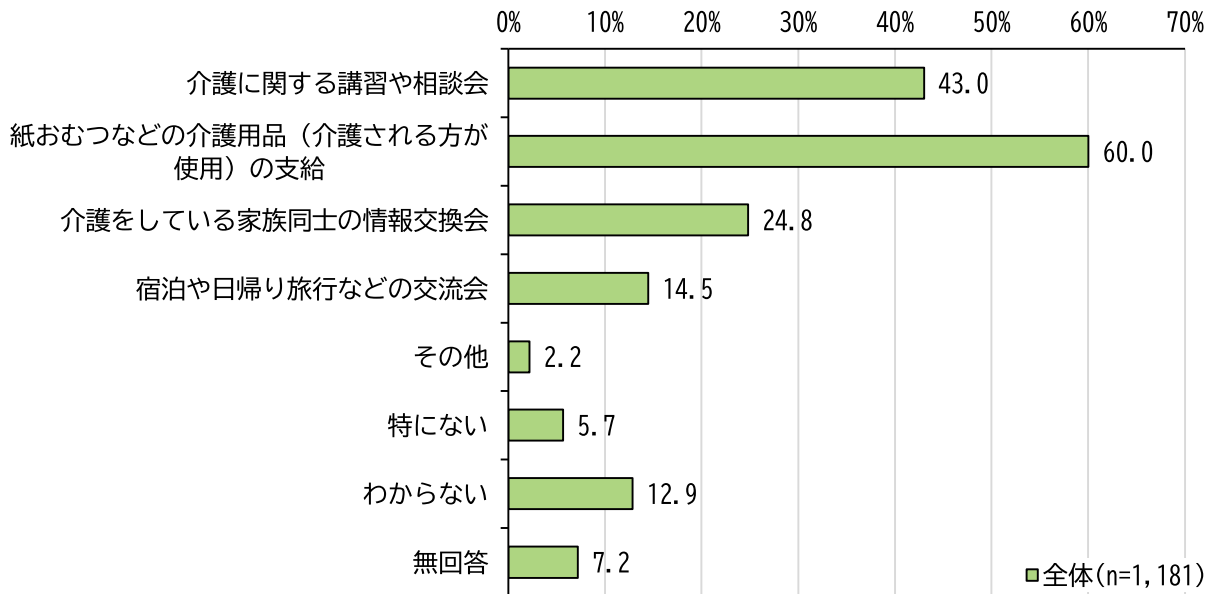


### (3) 利用したい自宅介護のサービス

問 10 (3) あなたが自宅で高齢者を介護する立場になった場合、あなた（介護する方）を対象としたサービスで利用したいと思うものを教えてください。（利用しているものも含む）  
 (☑は3つまで)

あなたが自宅で高齢者を介護する立場になった場合、あなた（介護する方）を対象としたサービスで利用したいと思うものは、「紙おむつなどの介護用品（介護される方が使用）の支給」が60.0%と最も多く、次いで、「介護に関する講習や相談会」（43.0%）、「介護をしている家族同士の情報交換会」（24.8%）、「宿泊や日帰り旅行などの交流会」（14.5%）となっている。

また、5.7%が「特にない」、12.9%が「わからない」と回答している。

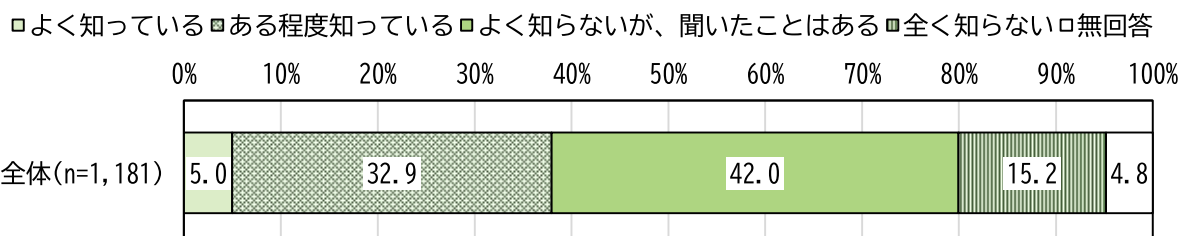


## 問 11 成年後見制度について

### (1) 成年後見制度の認知度

#### 問 11 (1) 成年後見制度を知っていますか。(☑は1つ)

成年後見制度の認知度は、「よく知っている」(5.0%)、「ある程度知っている」(32.9%)、「よく知らないが、聞いたことはある」(42.0%)、「全く知らない」(15.2%)となっている。

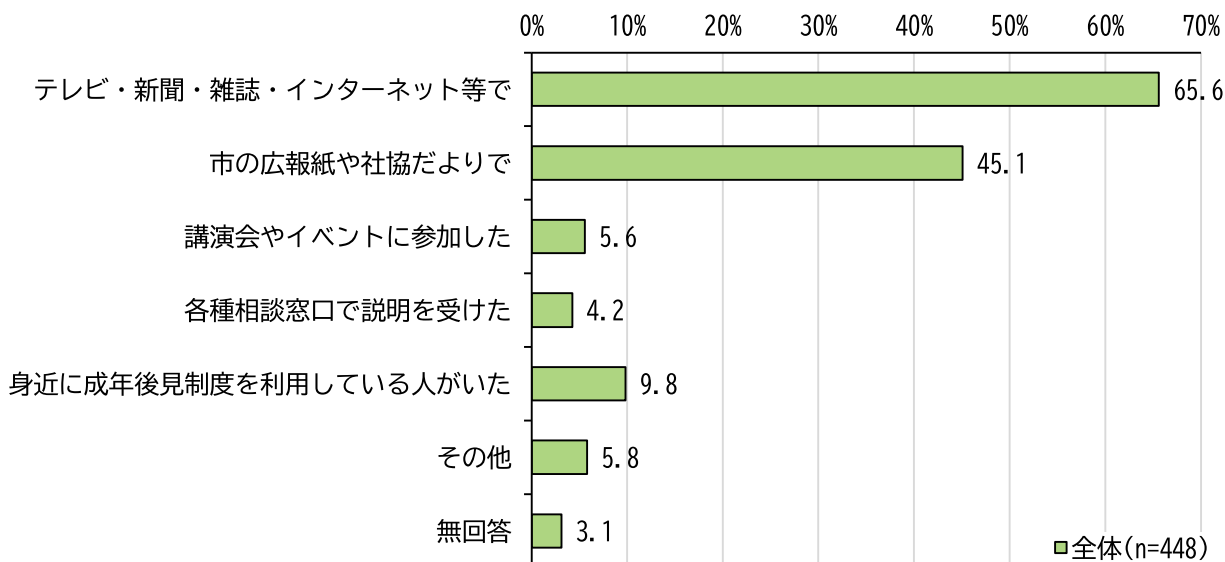


### (2) 成年後見制度を知ったきっかけ

【問 11 (1) で「よく知っている」「ある程度知っている」と回答した方におうかがいします】

#### 問 11 (2) あなたは成年後見制度を何で知りましたか。(あてはまるものすべてに☑)

成年後見制度を知ったきっかけは、65.6%が「テレビ・新聞・雑誌・インターネット等で」と回答している。その他、「市の広報紙や社協だよりで」(45.1%)、「身近に成年後見制度を利用している人がいた」(9.8%)と続いている。

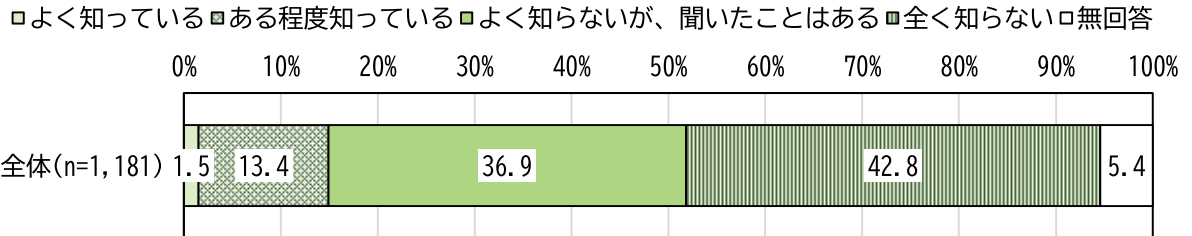


### (3) 市民後見人の認知度

問 11 (3) 市では、成年後見制度の担い手として、市民感覚を生かしたきめ細かな後見活動を行う「市民後見人」の養成に取り組んでいます。市民後見人について知っていますか。(☑は1つ)

市民後見人の認知度は、「よく知っている」(1.5%)、「ある程度知っている」(13.4%)、「よく知らないが、聞いたことはある」(36.9%)となっている。

また、42.8%は「全く知らない」と回答している。

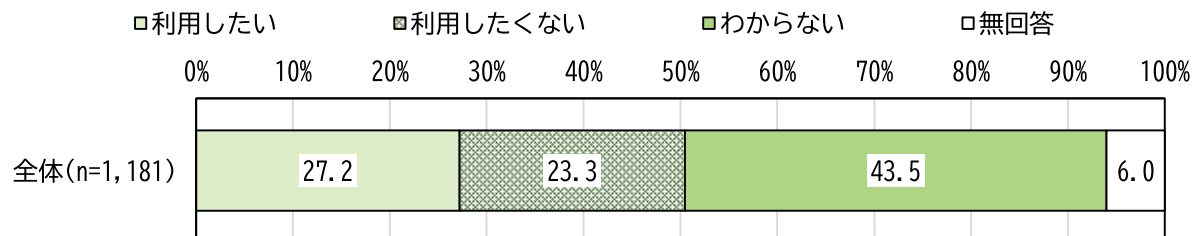


### (4) 成年後見制度の利用意向

問 11 (4) あなたが認知症などで判断が十分にできなくなった時、「成年後見制度」を利用したいと  
 思いますか。(☑は1つ)

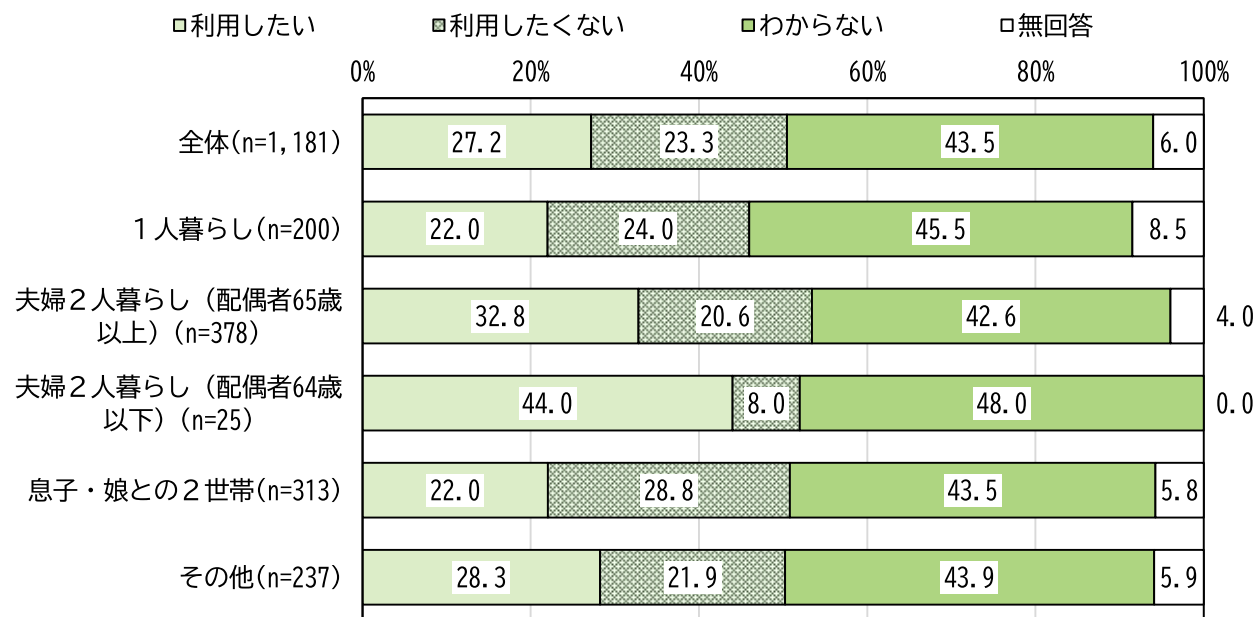
成年後見制度の利用意向は、「利用したい」(27.2%)、「利用したくない」(23.3%)となっている。

また、43.5%は、「わからない」と回答している。



#### 【世帯構成別成年後見制度の利用意向】

世帯構成別では、全体的に「わからない」という回答が多いものの、「利用したい」という回答が多かったのは、「夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)」(44.0%)で、「利用したくない」という回答が多かったのは「息子・娘との2世帯」(28.8%)となっている。



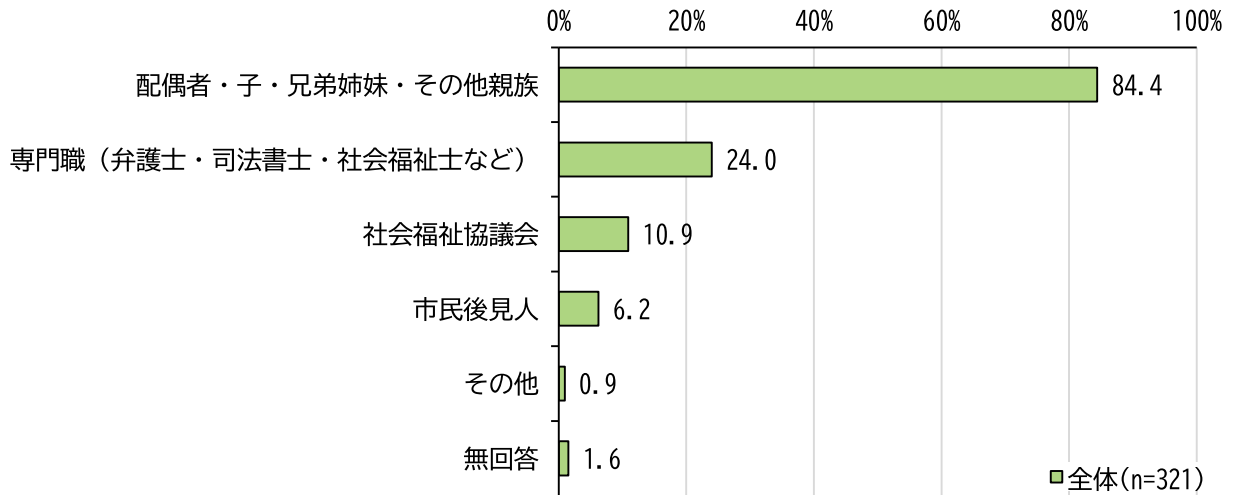
※「全体」には世帯構成無回答者(28人)を含む。

## (5) 成年後見人になってもらいたい方

【問11(4)で「利用したい」と回答した方におうかがいします】

問11(5) 成年後見人は誰になってもらいたいですか。(あてはまるものすべてに☑)

成年後見人は誰になってもらいたいかは、84.4%が「配偶者・子・兄弟姉妹・その他親族」と回答している。その他、「専門職（弁護士・司法書士・社会福祉士など）」（24.0%）、「社会福祉協議会」（10.9%）、「市民後見人」（6.2%）となっている。

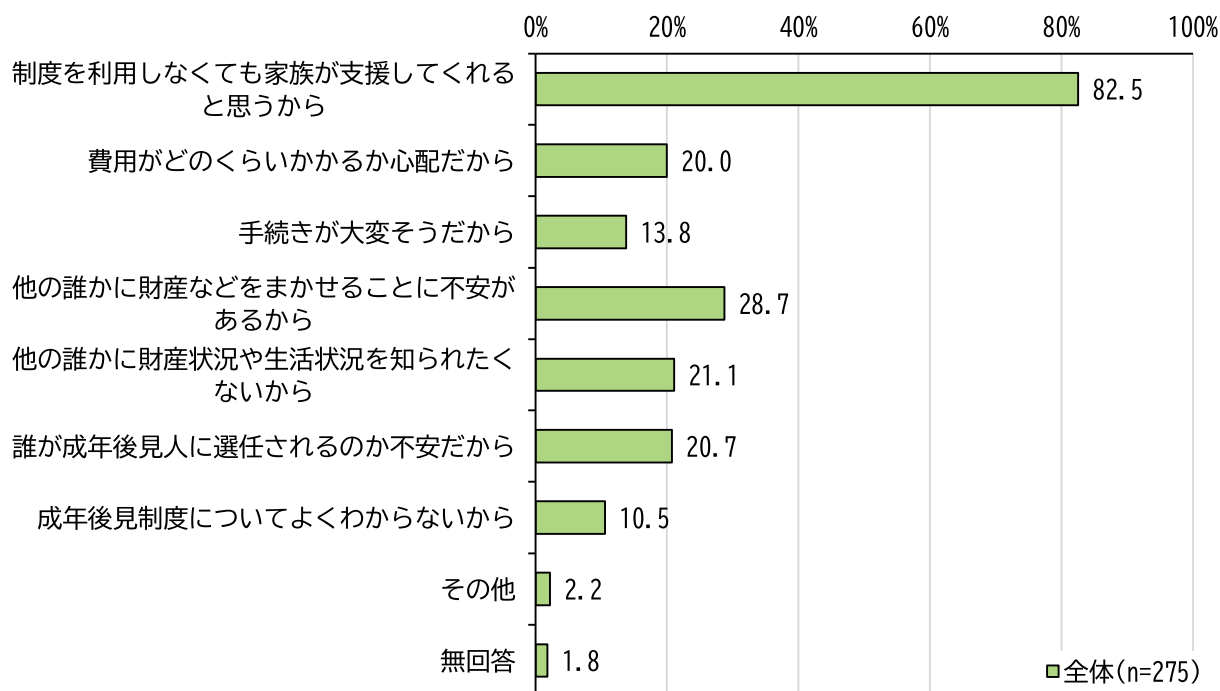


## (6) 成年後見制度を利用したくない理由

【問 11 (4) で「利用したくない」と回答した方におうかがいします】

問 11 (6) 成年後見制度を利用したくない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに☑)

成年後見制度を利用したくない理由は、82.5%が「制度を利用しなくても家族が支援してくれると思うから」と回答している。その他、「他の誰かに財産などをまかせることに不安があるから」(28.7%)、「他の誰かに財産状況や生活状況を知られたくないから」(21.1%)と続いている。



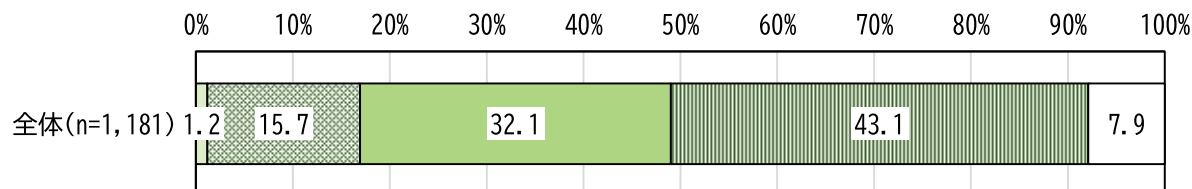
## (7) 任意後見制度の認知度

問 11 (7) 任意後見制度を知っていますか。(☑は1つ)

任意後見制度の認知度は、「よく知っている」(1.2%)、「ある程度知っている」(15.7%)、「よく知らないが、聞いたことはある」(32.1%)となっている。

また、43.1%は「全く知らない」と回答している。

□よく知っている □ある程度知っている □よく知らないが、聞いたことはある □全く知らない □無回答

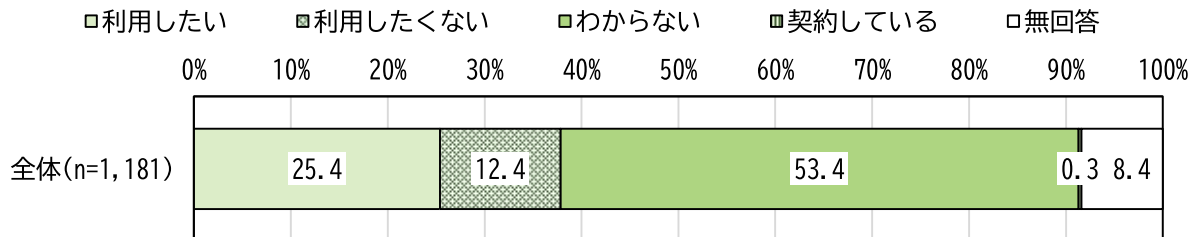


### (8) 任意後見制度の利用意向

問 11 (8) あなたが認知症などで判断が十分にできなくなった時に備えて、「任意後見制度」を利用したいと思いませんか。(☑は1つ)

任意後見制度の利用意向は、「利用したい」(25.4%)、「利用したくない」(12.4%)となっている。

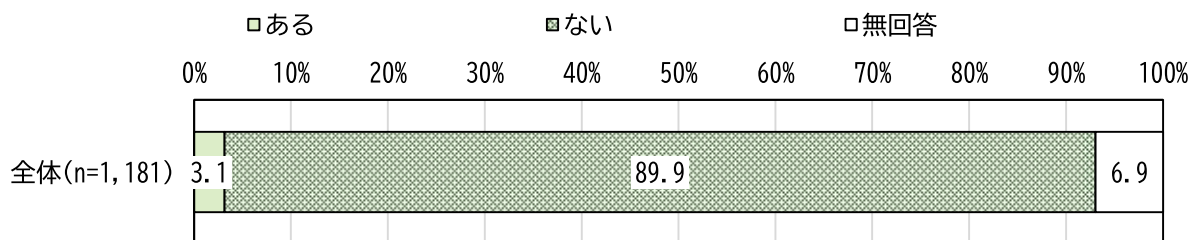
また、53.4%は、「わからない」と回答しており、0.3%は「契約している」と回答している。



### (9) 身元保証で困ったことの有無

問 11 (9) 病院の入院や施設入所などの際に身元保証で困ったことはありますか。(☑は1つ)

病院の入院や施設入所などの際に身元保証で困ったことの有無は、「ある」(3.1%)、「ない」(89.9%)となっている。

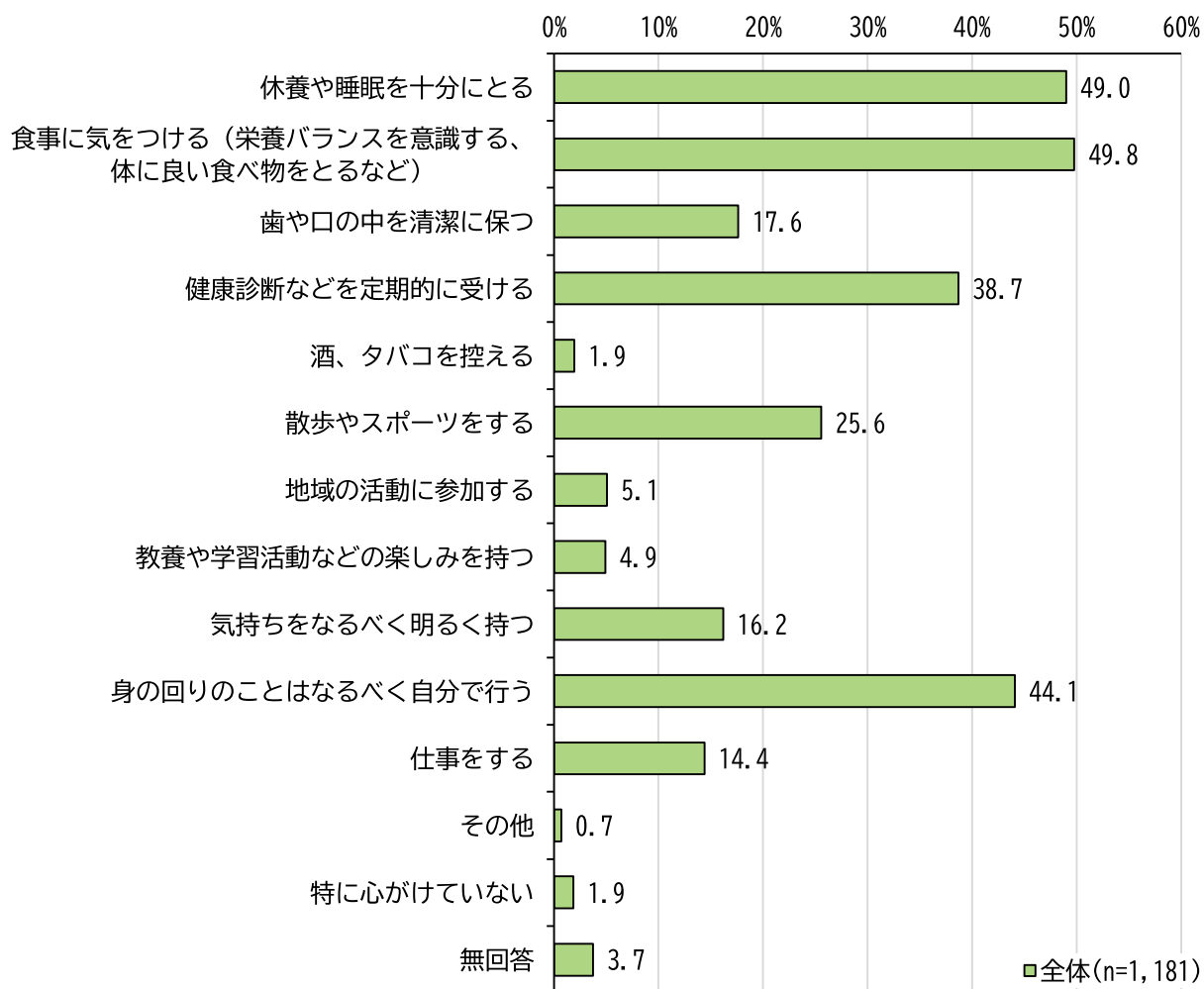


## 問12 その他について

### (1) 健康のための心がけ

問12(1) ご自分の健康のためにどんなことを心がけていますか。(☑は3つまで)

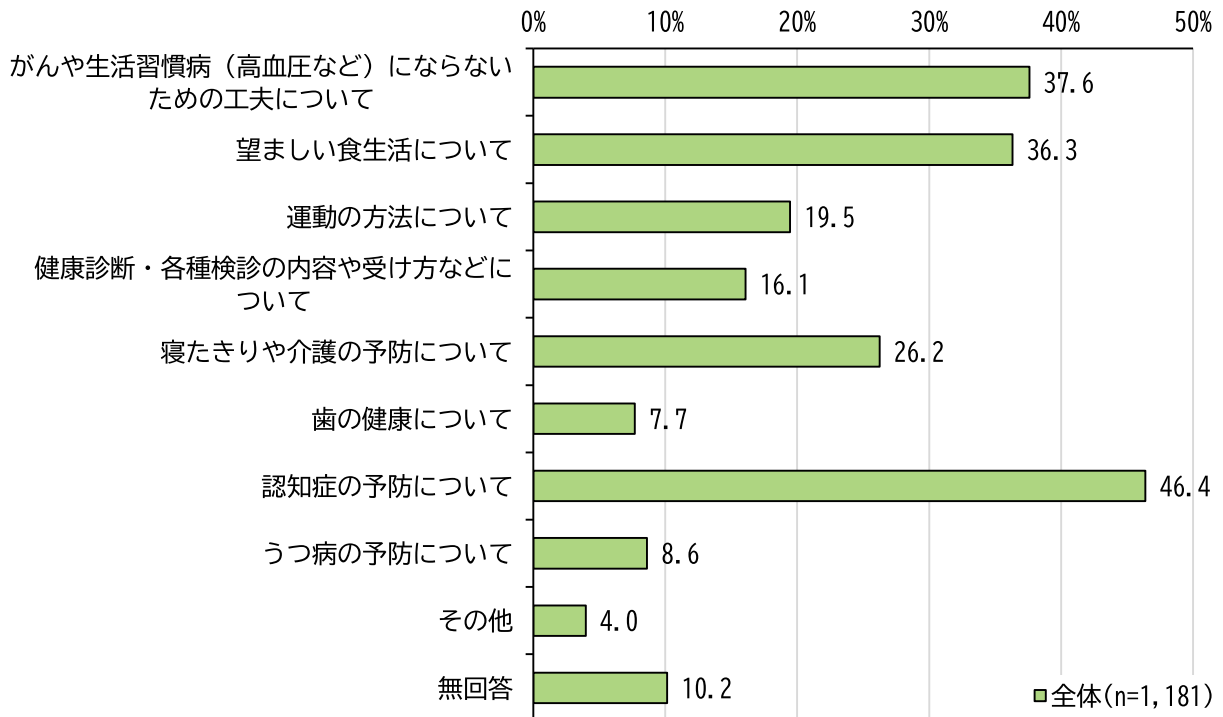
健康のためにどんなことを心がけているかは、「食事に気をつける(栄養バランスを意識する、体に良い食べ物をとるなど)」が49.8%と最も多く、次いで、「休養や睡眠を十分にとる」(49.0%)、「身の回りのことはなるべく自分で行う」(44.1%)、「健康診断などを定期的に受ける」(38.7%)と続いている。



## (2) 健康について知りたいこと

問 12 (2) 健康についてどのようなことが知りたいですか。(☑は3つまで)

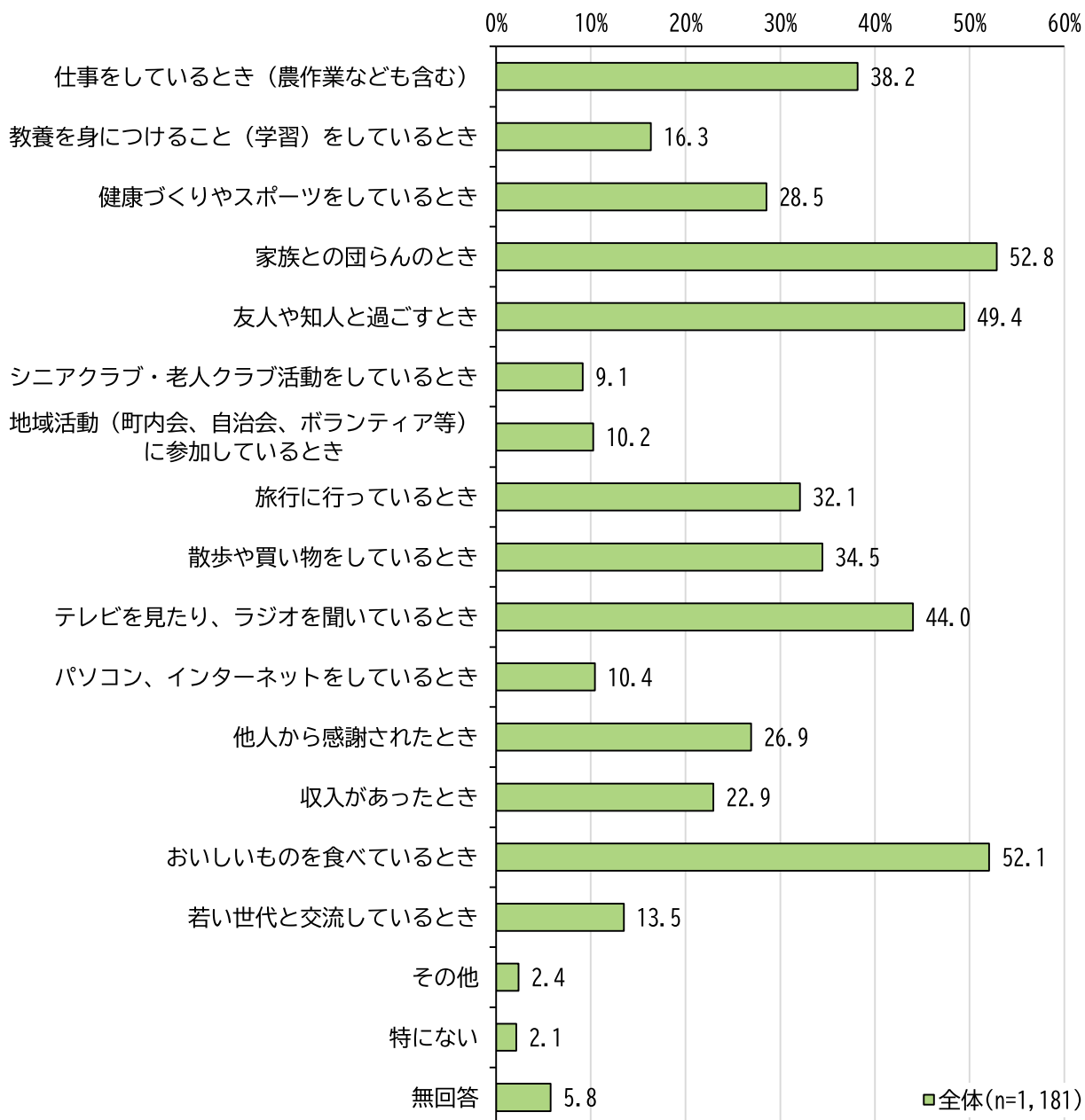
健康について知りたいことは、「認知症の予防について」が46.4%と最も多く、次いで、「がんや生活習慣病（高血圧など）にならないための工夫について」（37.6%）、「望ましい食生活について」（36.3%）と続いている。



### (3) 生きがい

問 12 (3) 生きがい (喜びや楽しみ) を感じるのはどのような時ですか。  
(あてはまるものすべてに☑)

生きがいを感じるのはどのようなときは、「家族との団らんのとき」が 52.8%と最も多く、次いで、「おいしいものを食べているとき」(52.1%)、「友人や知人と過ごすとき」(49.4%)と続いている。

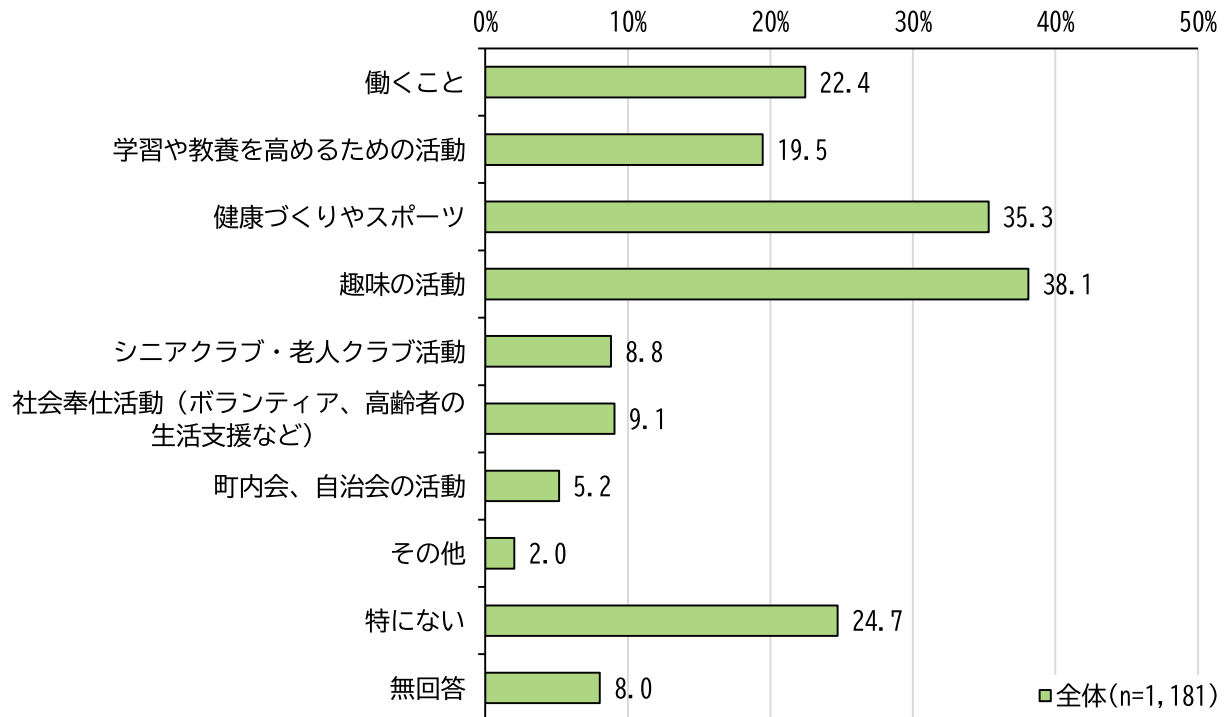


## (4) 今後やってみたいと思うもの

問12(4) 今後やってみたいと思うものは何ですか。(あてはまるものすべてに☑)

今後やってみたいと思うものは、「趣味の活動」が38.1%と最も多く、次いで、「健康づくりやスポーツ」(35.3%)、「働くこと」(22.4%)と続いている。

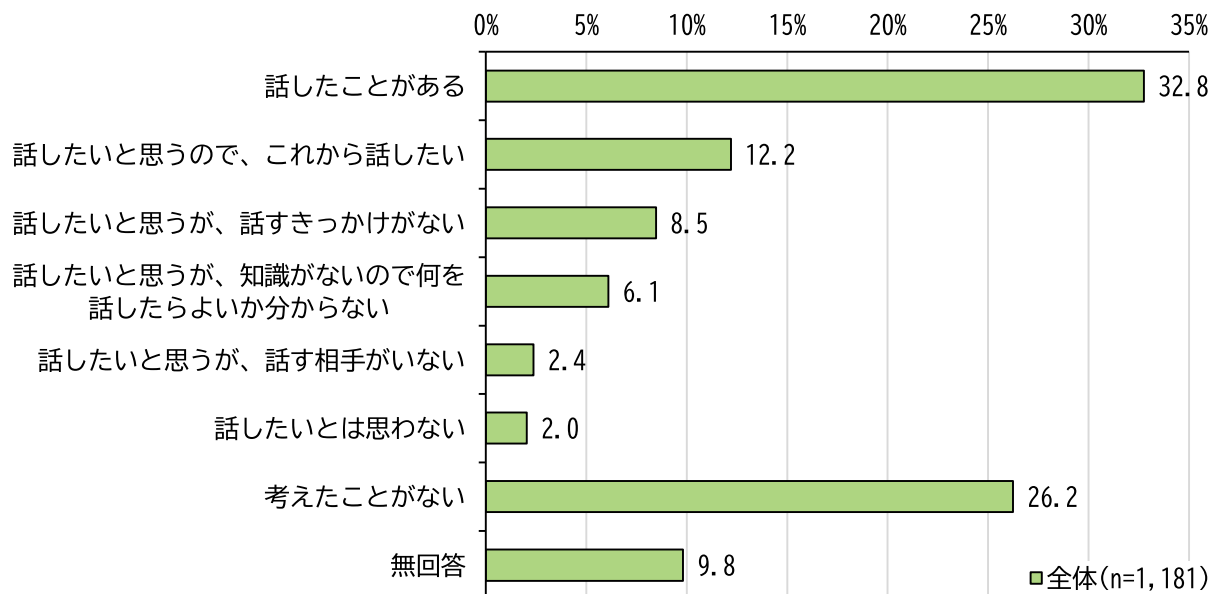
また、24.7%は「特にない」と回答している。



### (5) 病気やけがをしたときの治療や生活について

問 12 (5) 病気やけがをしたときに、どのような治療や生活をしたいか、ご家族や医療・介護従事者（例：医師や看護師、ケアマネージャー等）と話したことはありますか。（☑は1つ）

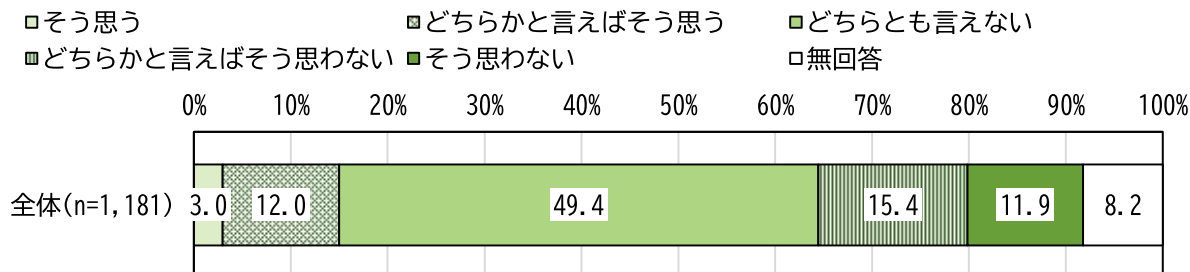
病気やけがをしたときに、どのような治療や生活をしたいか、ご家族や医療・介護従事者と話したことの有無は、「話したことがある」が 32.8%と最も多く、次いで、「考えたことがない」(26.2%)、「話したいと思うので、これから話したい」(12.2%)と続いている。



### (6) 認知症の人の暮らしについて

問 12 (6) あなたは、今の社会で認知症の人が自分らしく暮らしていると思いますか。（☑は1つ）

今の社会で認知症の人が自分らしく暮らしていると思うかは、「そう思う」(3.0%)、「どちらかと言えばそう思う」(12.0%)を合わせると、15.0%が自分らしく暮らしていると思うと回答している。また、「そう思わない」(11.9%)、「どちらかと言えばそう思わない」(15.4%)を合わせると、27.3%が自分らしく暮らせていないと思うと回答している。

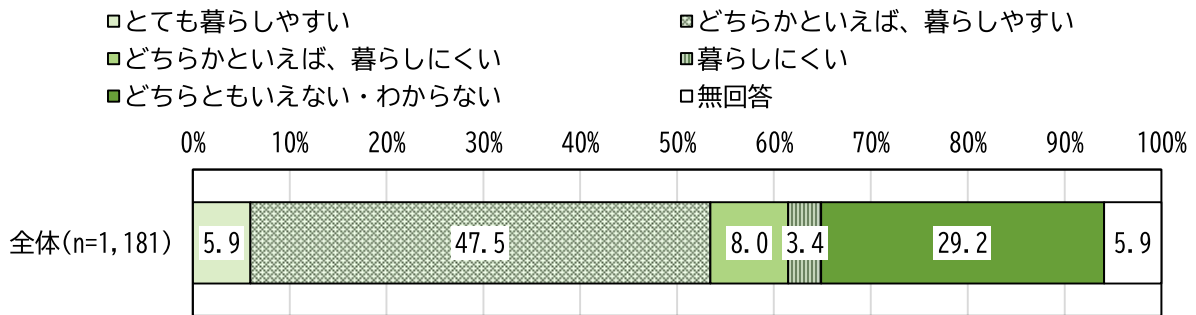


## (7) 暮らしやすさ

### 問 12 (7) 御殿場市は、あなたや同世代にとって暮らしやすいと思いますか。(☑は1つ)

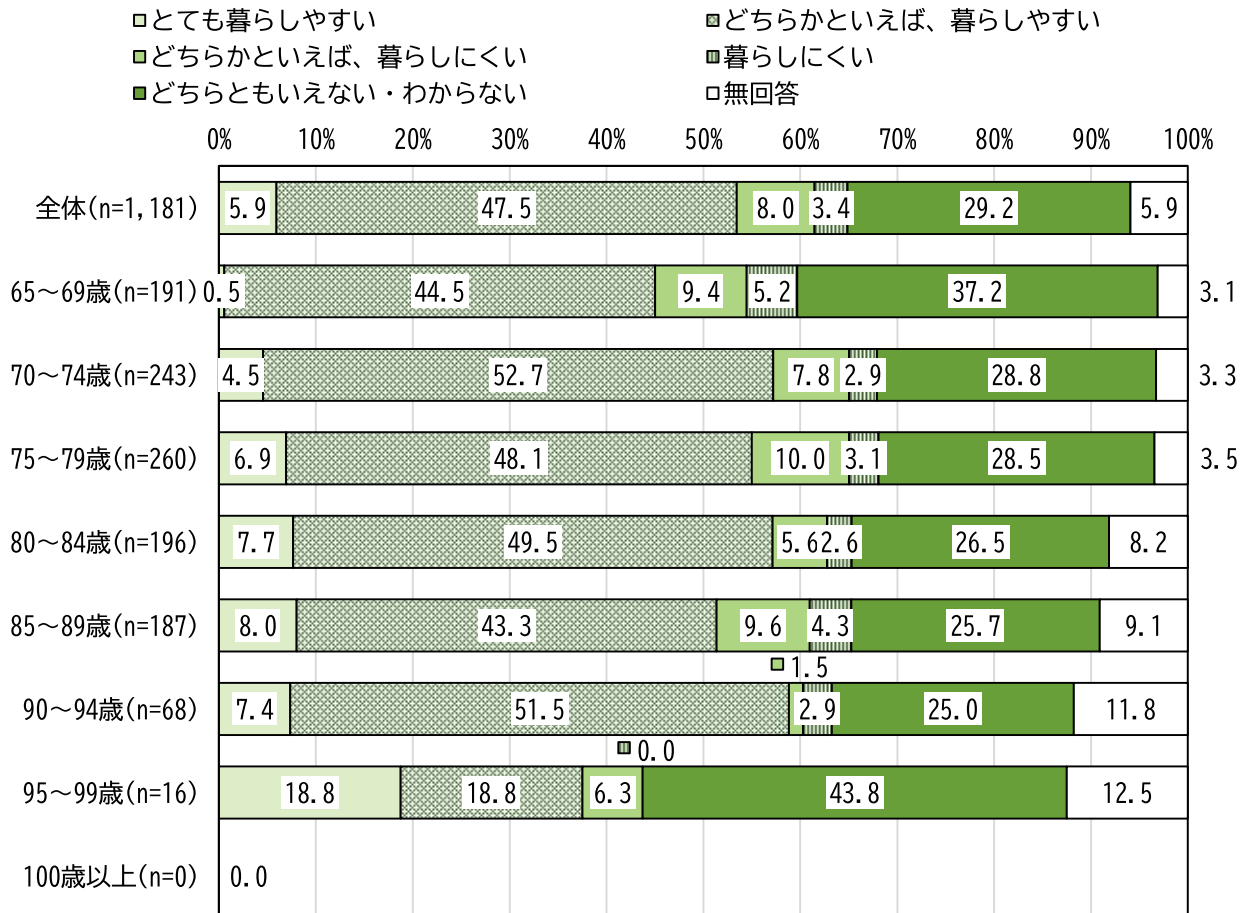
御殿場市は、あなたや同世代にとって暮らしやすいと思うかは、「とても暮らしやすい」(5.9%)、「どちらかといえば、暮らしやすい」(47.5%)で、合わせると53.4%が暮らしやすいと回答している。一方、「暮らしにくい」(3.4%)、「どちらかといえば、暮らしにくい」(8.0%)で、合わせると11.4%が暮らしにくいと回答している。

また、「どちらともいえない・わからない」という回答も29.2%あった。



### 【年齢別暮らしやすさ】

年齢別では、95歳以上で「とても暮らしやすい」という回答が多くなり、1割を超えている。

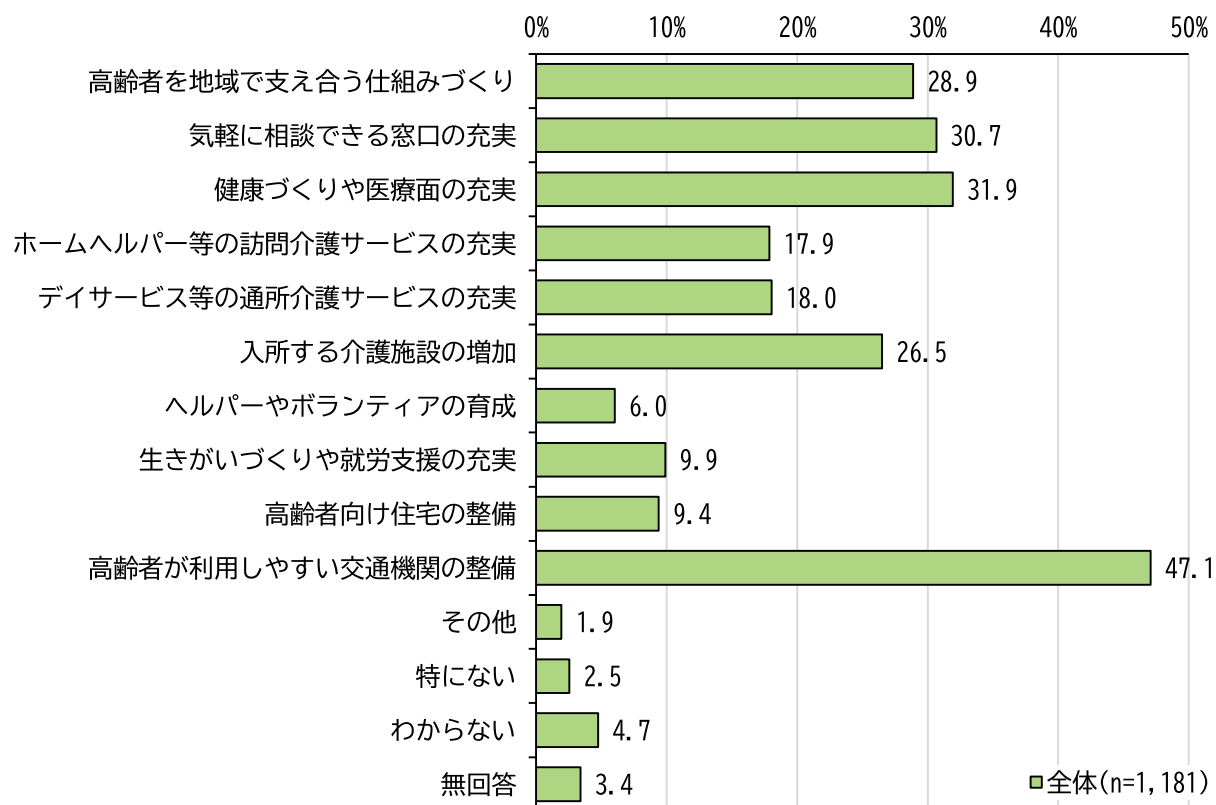


※「全体」には年齢無回答者(20人)を含む。

## (8) 御殿場市が重点的に進めるべきこと

問 12 (8) 高齢者にとって暮らしやすいまちになるように、御殿場市が重点的に進めるべきことは何だと思いますか。(☑は3つまで)

高齢者にとって暮らしやすいまちになるように、御殿場市が重点的に進めるべきことは、47.1%が「高齢者が利用しやすい交通機関の整備」と回答している。その他、「健康づくりや医療面の充実」(31.9%)、「気軽に相談できる窓口の充実」(30.7%)、「高齢者を地域で支え合う仕組みづくり」(28.9%)と続いている。



## Ⅲ 項目別リスク分析



## Ⅲ 項目別リスク分析

今回実施した介護予防・日常生活圏域ニーズ調査では、回答結果をもとに、以下の7項目についてリスク分析を行うことができます。

### 1 運動器の機能低下

「運動器の機能低下」の判定に関しては、5問の設問のうち、3問以上該当する選択肢が回答された場合にリスクありと判定されます。

分析に用いた設問	該当する選択肢
階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	「できない」
椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	「できない」
15分位続けて歩いていますか	「できない」
過去1年間に転んだ経験がありますか	「何度もある」
	「1度ある」
転倒に対する不安は大きいですか	「とても不安である」
	「やや不安である」

#### 「運動器の機能低下」の判定結果

運動器の機能低下は、全体の21.0%が該当者となっている。

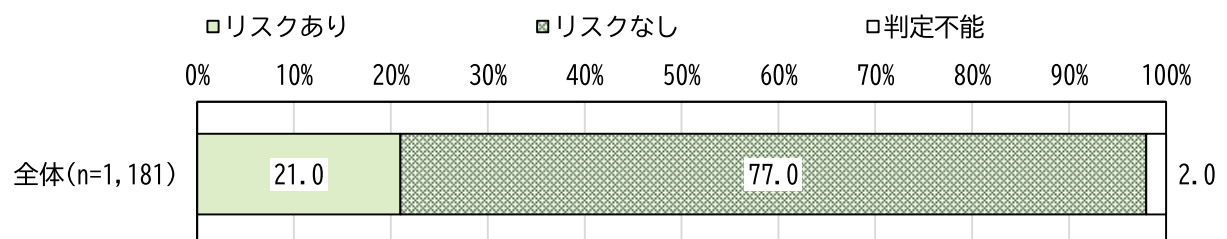
年齢別では、年齢が上がるにつれ該当者が多くなり、90～94歳では約5割が該当者となっている。

男女別では、「男性」の13.8%、「女性」の26.2%が該当者となっており、女性に該当者が多くなっている。

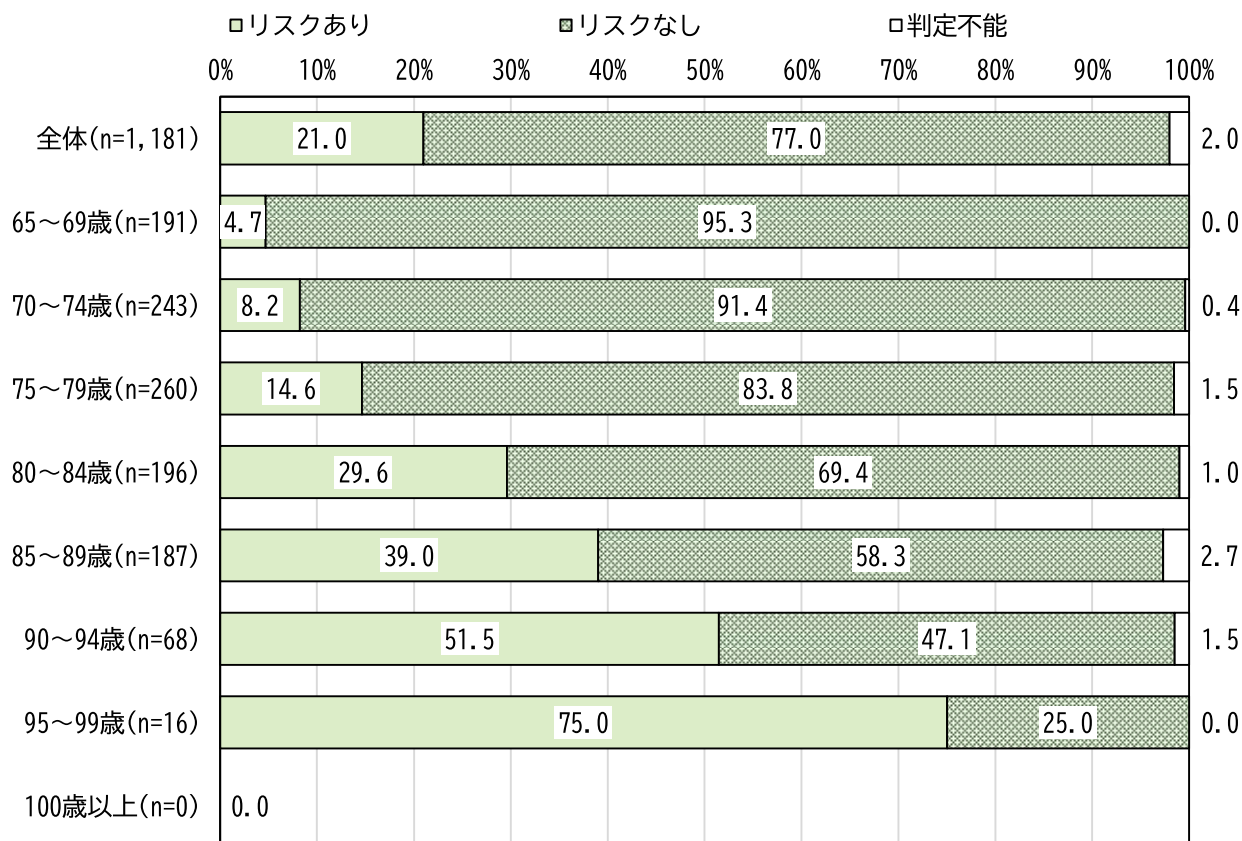
認定状況別では、認定を受けていない方の10.4%が該当者となっている。

地区別では、「御殿場」が27.5%と最も多く、「原里」(23.2%)、「富士岡」(20.8%)と続いている。

世帯構成別では、「1人暮らし」に該当者が多く、32.0%が該当者となっている。

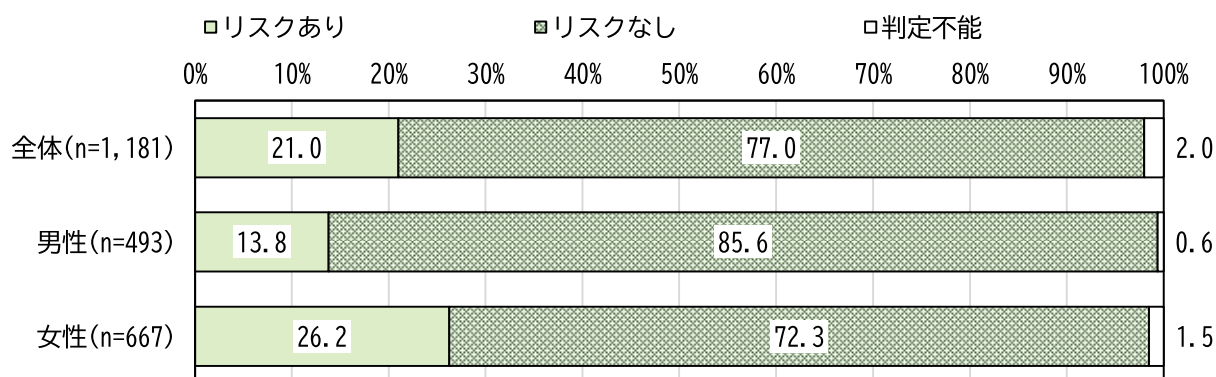


【年齢別運動器の機能低下状況】



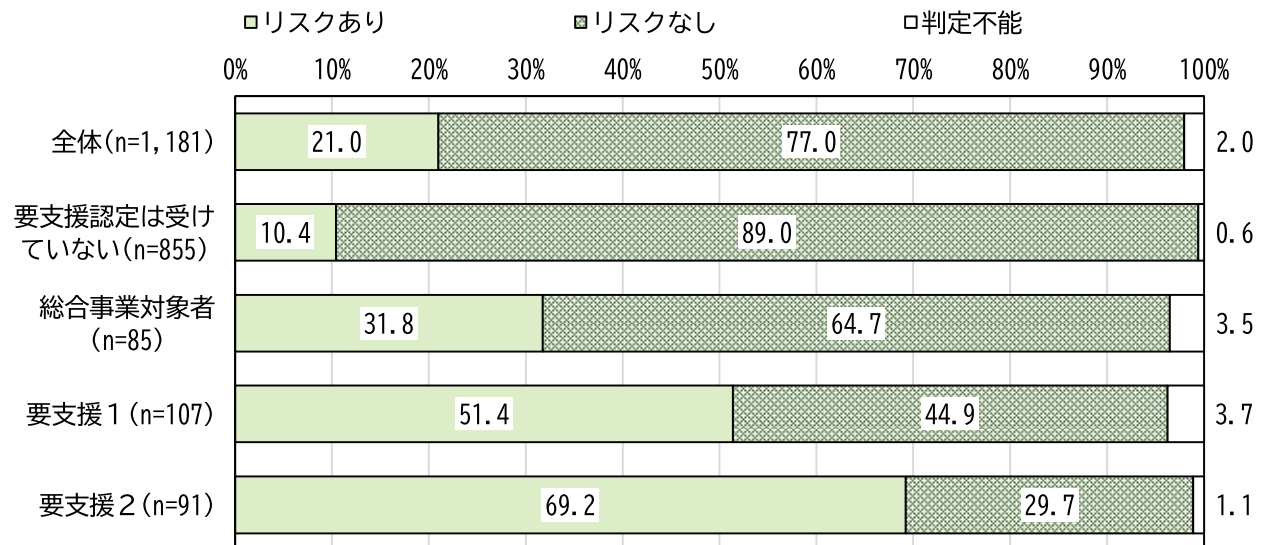
※「全体」には年齢無回答者（20人）を含む。

【男女別運動器の機能低下状況】



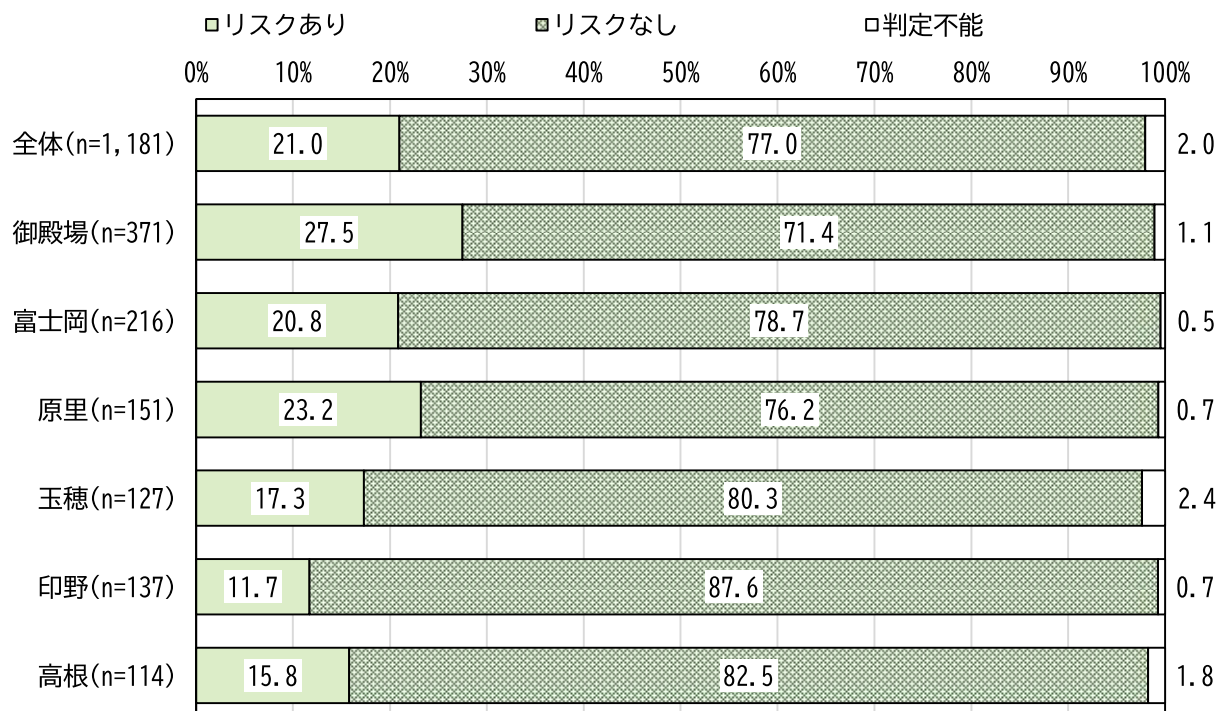
※「全体」には性別無回答者（21人）を含む。

【認定状況別運動器の機能低下状況】



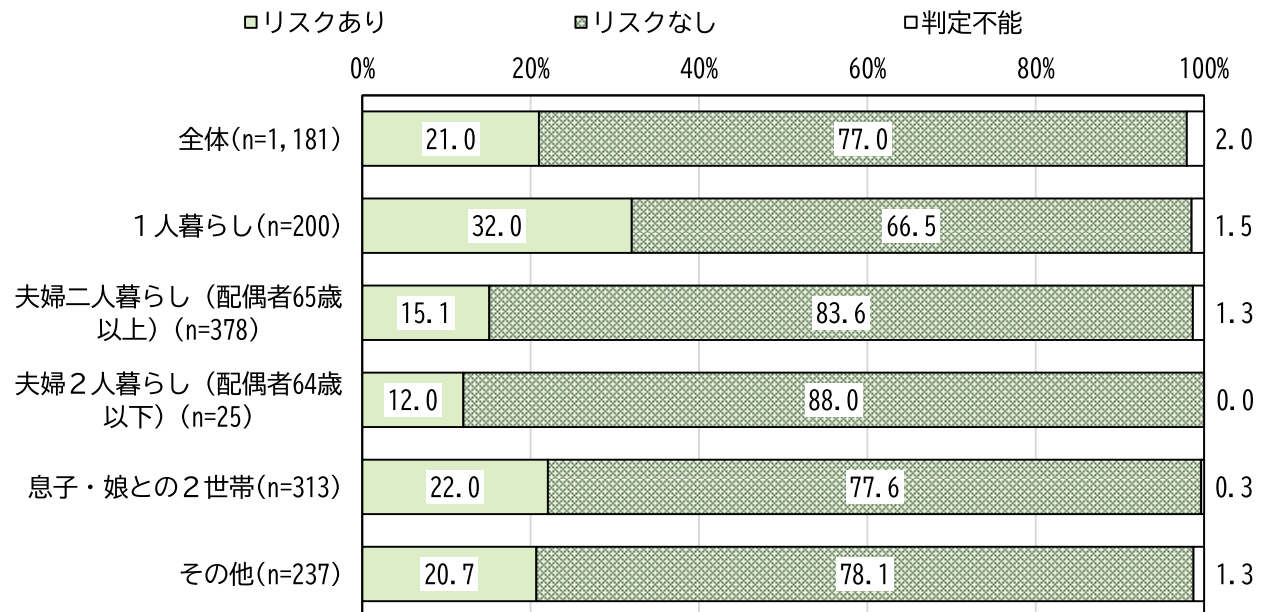
※「全体」には認定状況無回答者（43人）を含む。

【地区別運動器の機能低下状況】



※「全体」には地区無回答者（65人）を含む。

【世帯構成別運動器の機能低下状況】



※「全体」には世帯構成無回答者（28人）を含む。

## 2 転倒リスク

「転倒リスク」の判定に関しては、該当設問1問のうち、該当する選択肢が回答された場合にリスクありと判定されます。

分析に用いた設問	該当する選択肢
過去1年間に転んだ経験がありますか	「何度もある」
	「1度ある」

### 「転倒リスク」の判定結果

転倒リスクは、全体の34.0%が該当者となっている。

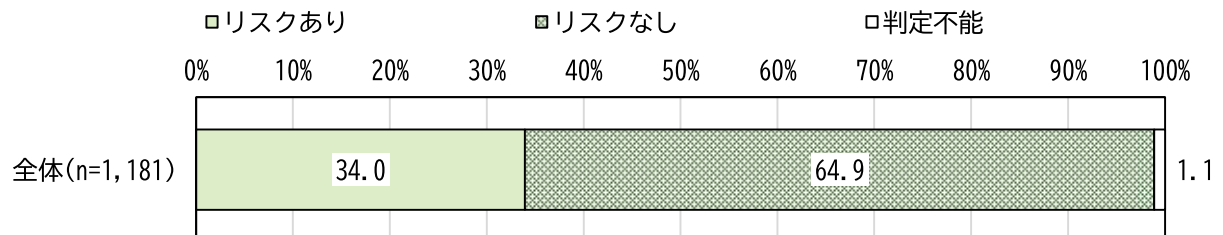
年齢別では、年齢が上がるにつれ該当者が多くなり、90～94歳の5割が該当者となっている。

男女別では、「男性」の31.8%、「女性」の35.4%が該当者となっており、女性に該当者が多くなっている。

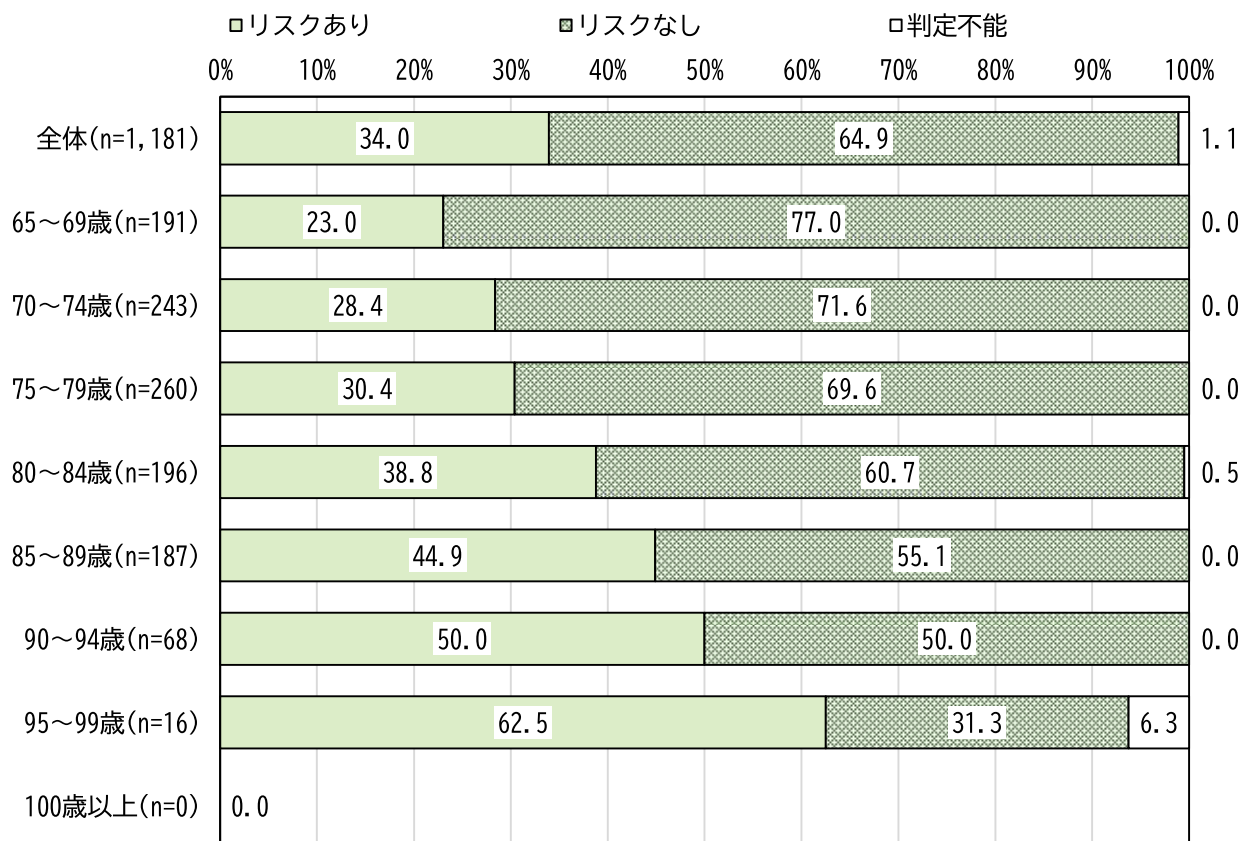
認定状況別では、認定を受けていない方の27.8%が該当者となっている。

地区別では、「原里」が39.1%と最も多く、「御殿場」(37.7%)、「高根」(36.0%)と続いている。

世帯構成別では、「1人暮らし」に該当者が多く、41.0%が該当者となっている。

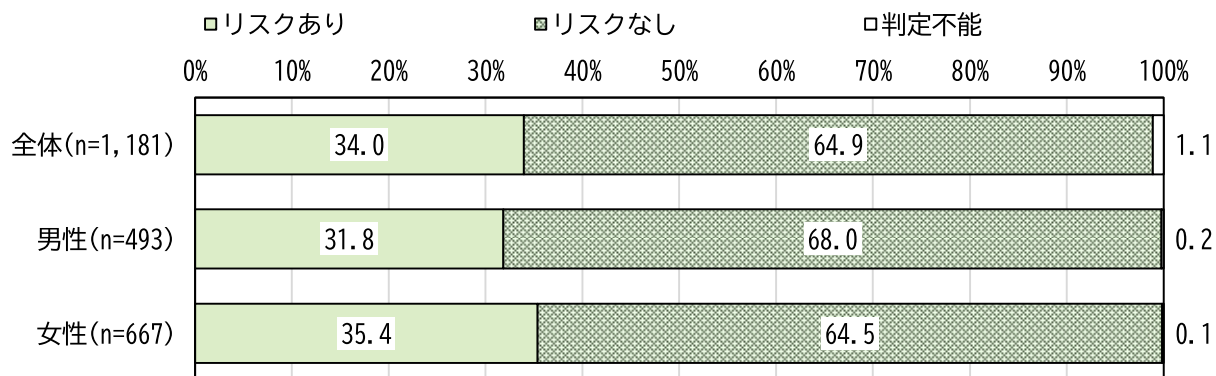


【年齢別転倒リスク状況】



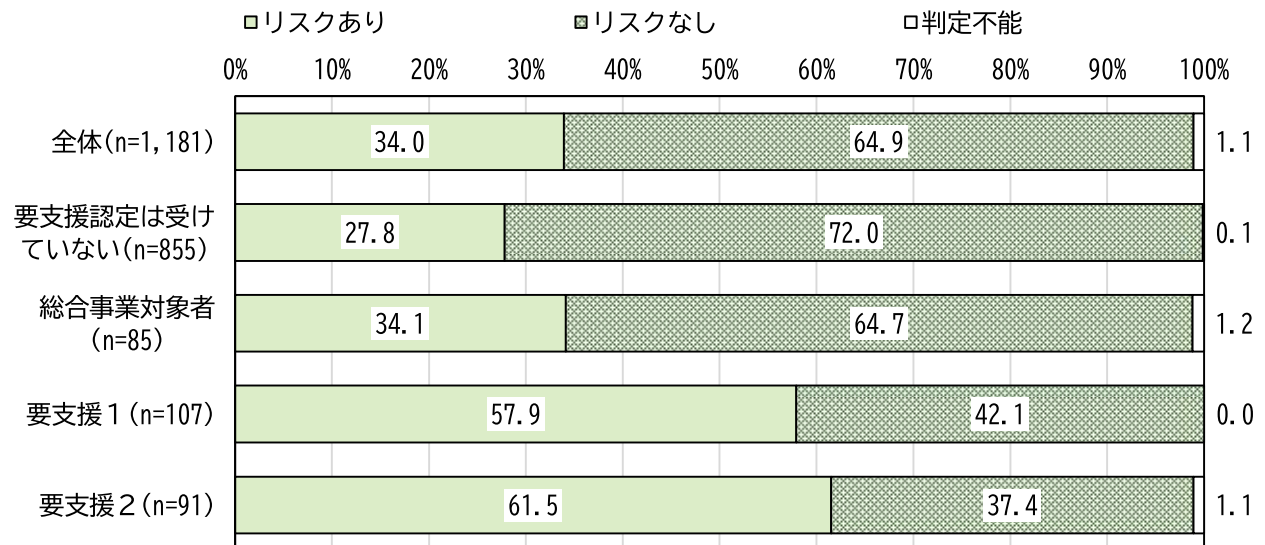
※「全体」には年齢無回答者（20人）を含む。

【男女別転倒リスク状況】



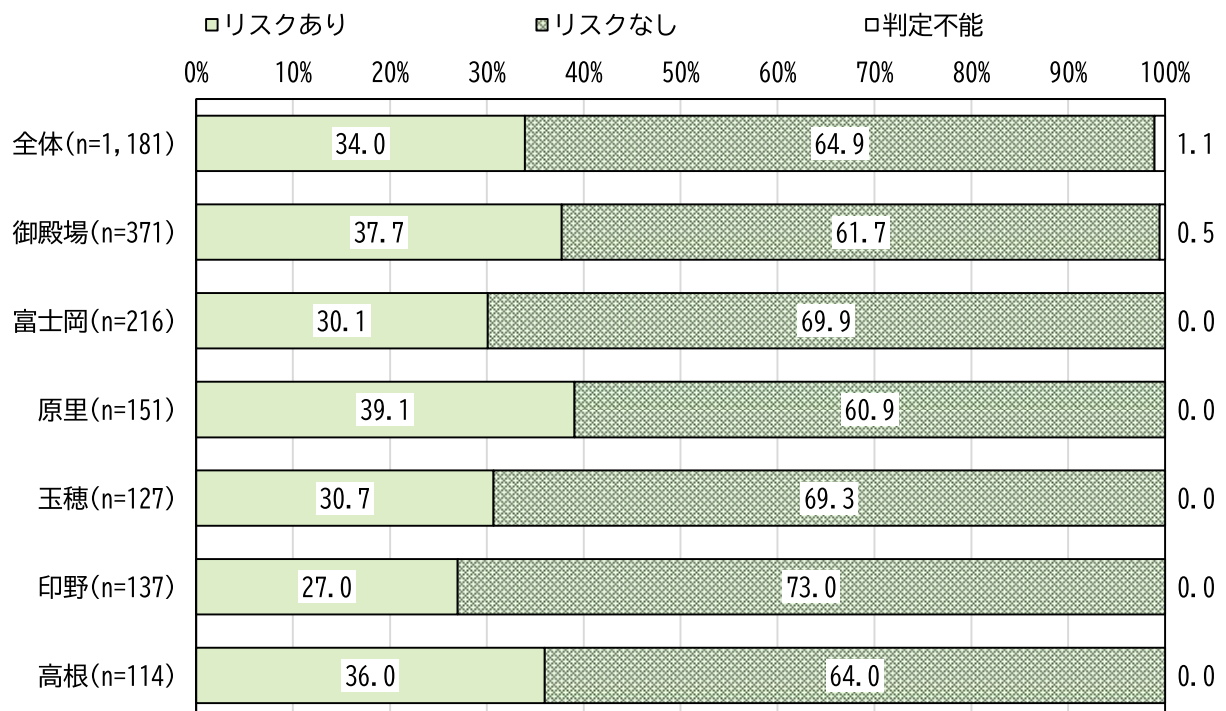
※「全体」には性別無回答者（21人）を含む。

【認定状況別転倒リスク状況】



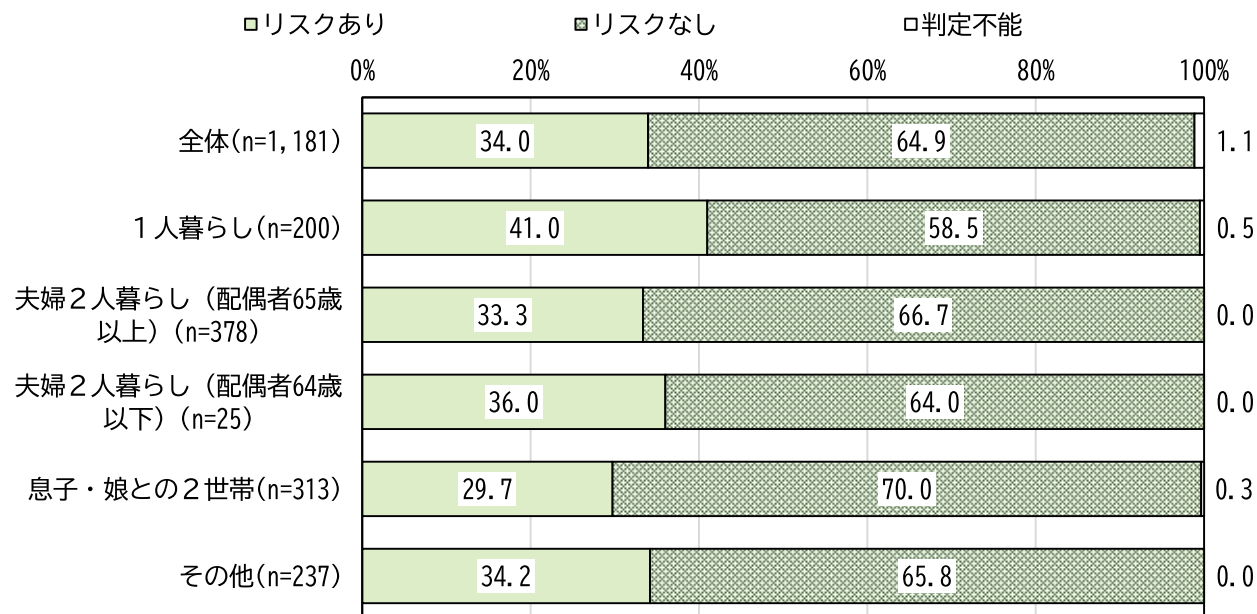
※「全体」には認定状況無回答者（43人）を含む。

【地区別転倒リスク状況】



※「全体」には地区無回答者（65人）を含む。

【世帯構成別転倒リスク状況】



※「全体」には世帯構成無回答者（28人）を含む。

### 3 閉じこもり傾向

「閉じこもり傾向」の判定に関しては、該当設問1問のうち、該当する選択肢が回答された場合にリスクありと判定されます。

分析に用いた設問	該当する選択肢
週に1回以上は外出していますか	「ほとんど外出しない」
	「週1回」

#### 「閉じこもり傾向」の判定結果

閉じこもり傾向は、全体の21.8%が該当者となっている。

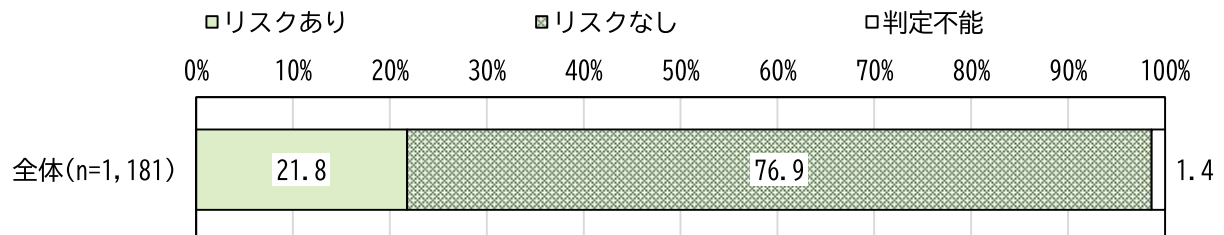
年齢別では、年齢が上がるにつれ該当者が多くなり、85～94歳の4割以上が該当者となっている。

男女別では、「男性」の19.5%、「女性」の23.5%が該当者となっており、女性に該当者が多くなっている。

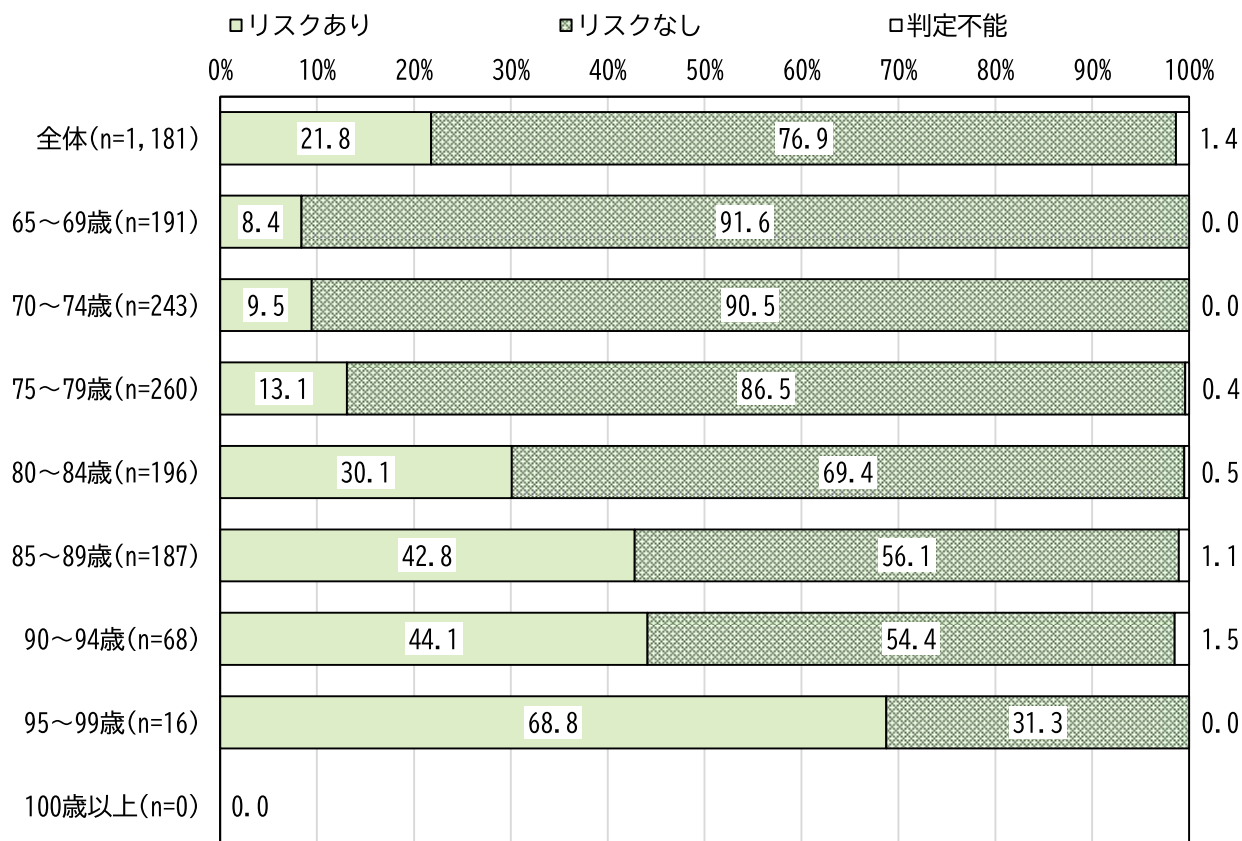
認定状況別では、認定を受けていない方の15.2%が該当者となっている。

地区別では、「御殿場」が27.2%と最も多く、「富士岡」、「玉穂」(23.6%)、「高根」(16.7%)と続いている。

世帯構成別では、「1人暮らし」に該当者が多く、27.5%が該当者となっている。

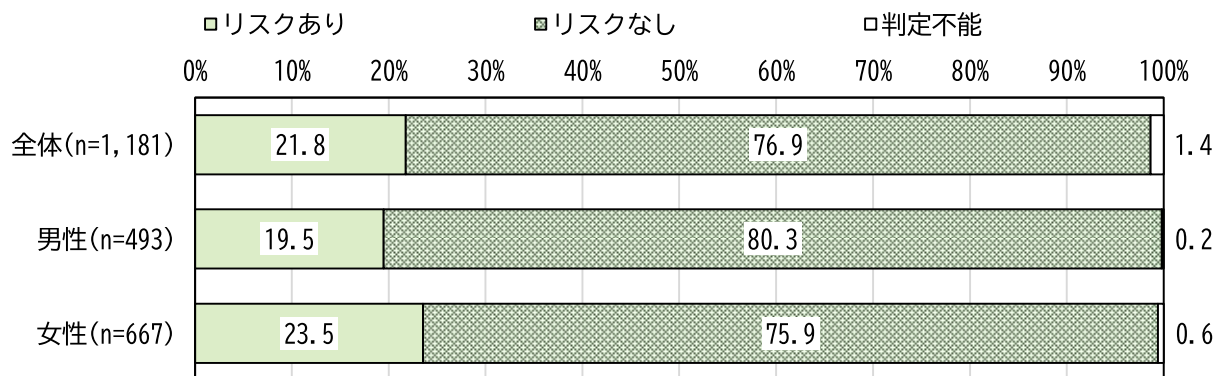


【年齢別閉じこもり傾向】



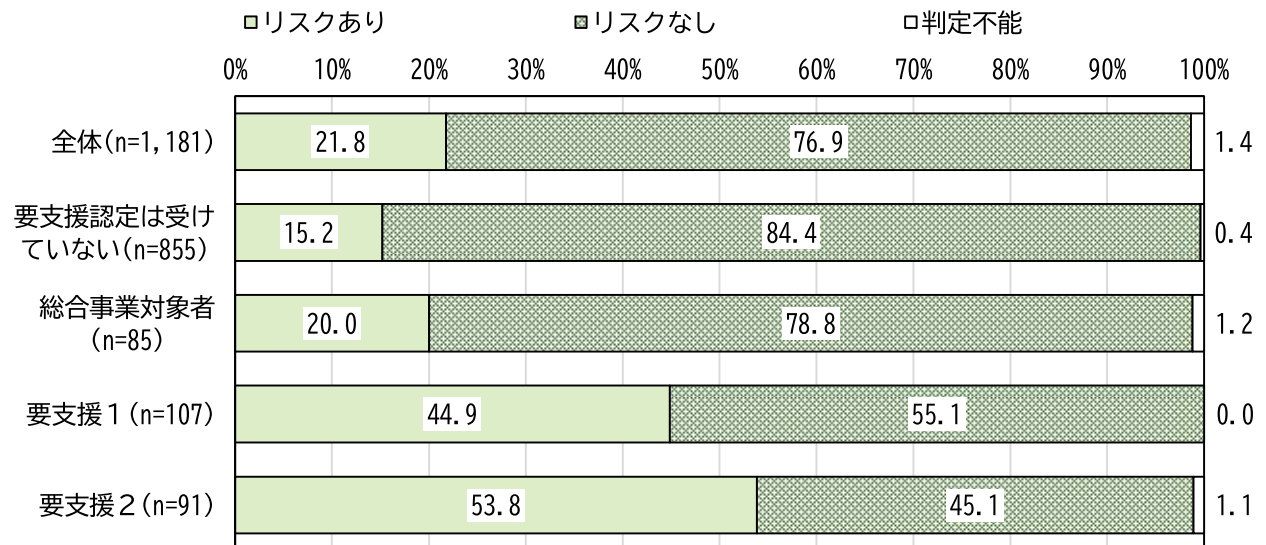
※「全体」には年齢無回答者（20人）を含む。

【男女別閉じこもり傾向】



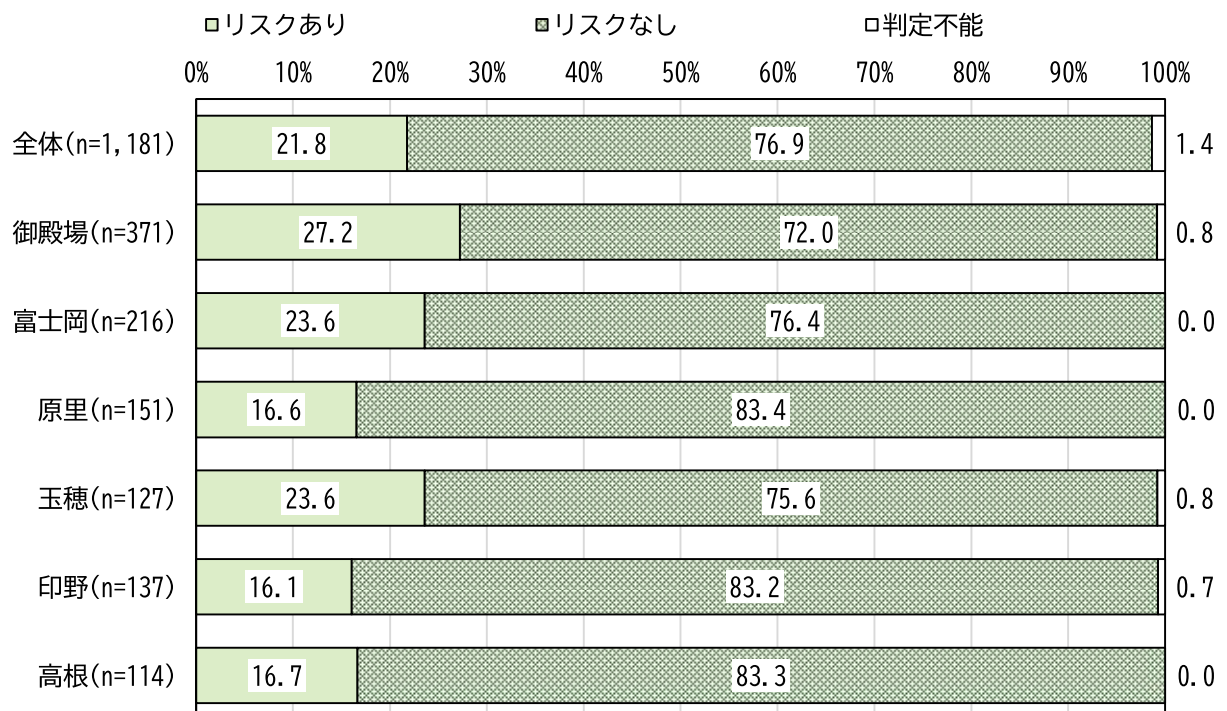
※「全体」には性別無回答者（21人）を含む。

【認定状況別閉じこもり傾向】



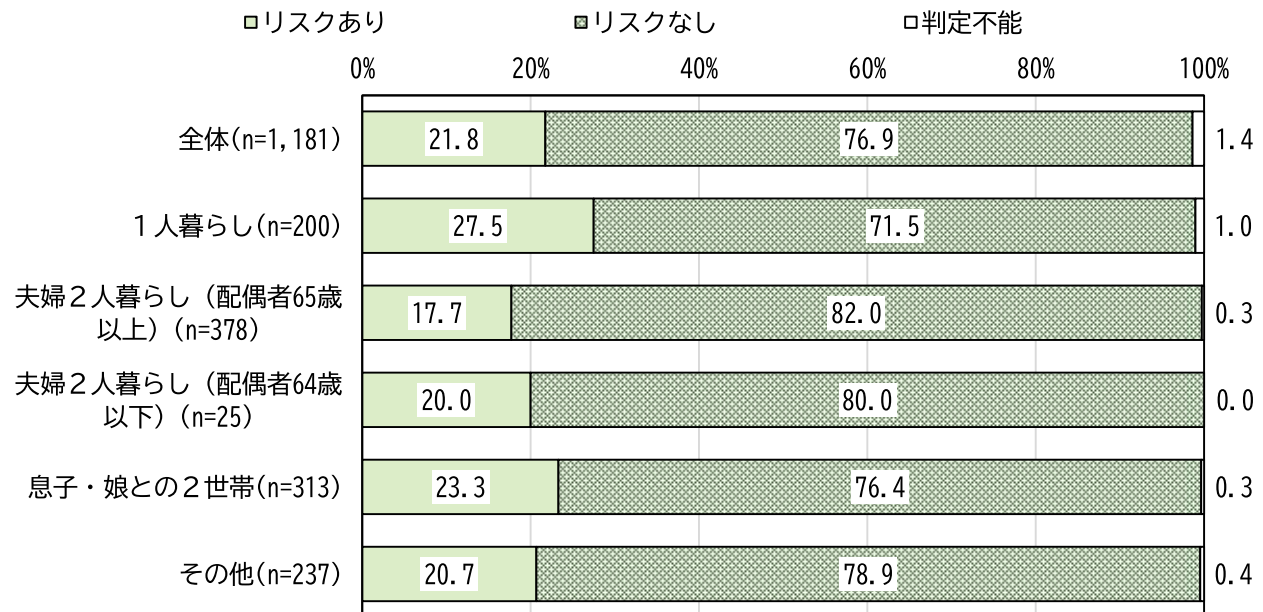
※「全体」には認定状況無回答者（43人）を含む。

【地区別閉じこもり傾向】



※「全体」には地区無回答者（65人）を含む。

【世帯構成別閉じこもり傾向】



※「全体」には世帯構成無回答者（28人）を含む。

## 4 咀嚼機能の低下

「咀嚼機能の低下」の判定に関しては、該当設問1問のうち、該当する選択肢が回答された場合にリスクありと判定されます。

分析に用いた設問	該当する選択肢
半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	「はい」

### 「咀嚼機能の低下」の判定結果

咀嚼機能の低下は、全体の35.6%が該当者となっている。

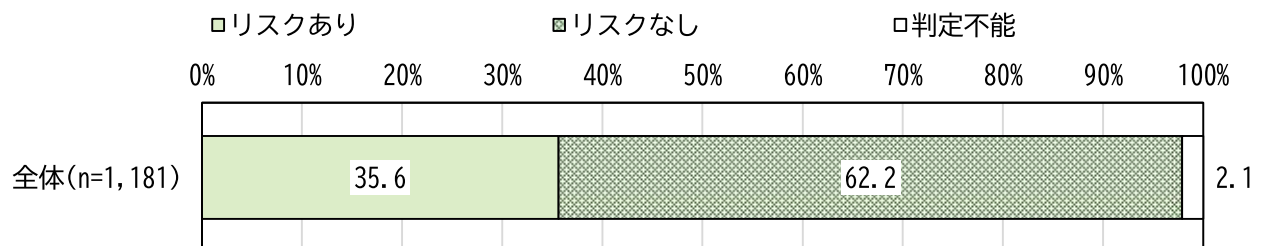
年齢別では、年齢が上がるにつれ該当者が多くなり、85～94歳の約5割が該当者となっている。

男女別では、「男性」の38.5%、「女性」の33.0%が該当者となっており、男性に該当者が多くなっている。

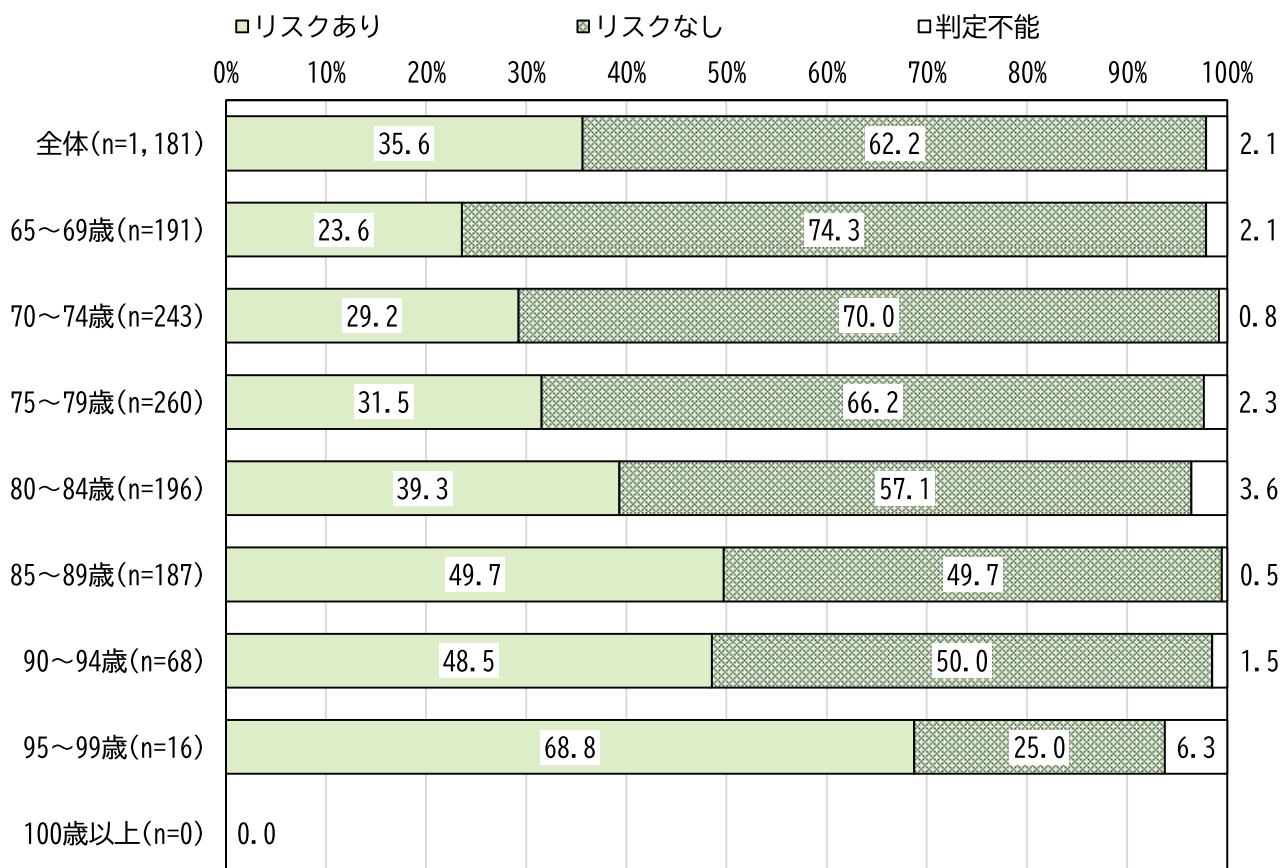
認定状況別では、認定を受けていない方の31.3%が該当者となっている。

地区別では、「富士岡」が39.4%と最も多く、「御殿場」(36.9%)、「玉穂」(34.6%)と続いている。

世帯構成別では、「1人暮らし」に該当者が多く、43.5%が該当者となっている。

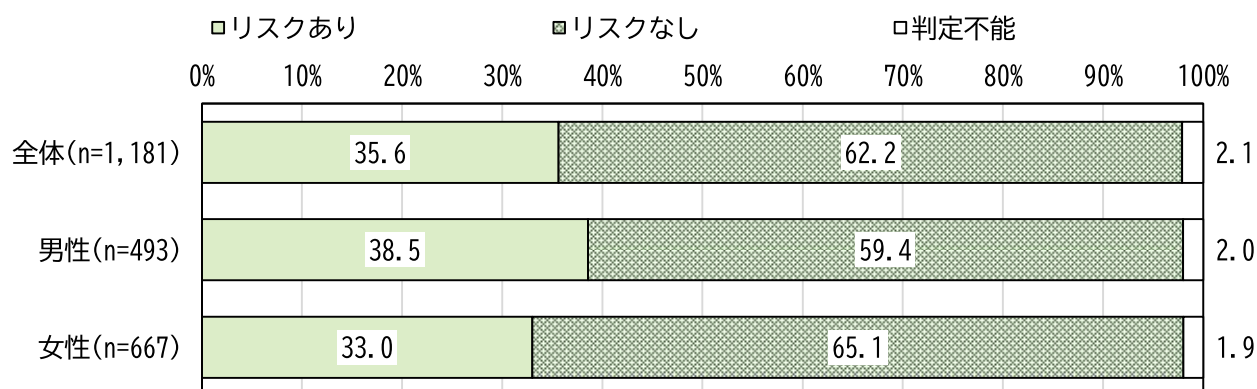


【年齢別咀嚼機能の低下状況】



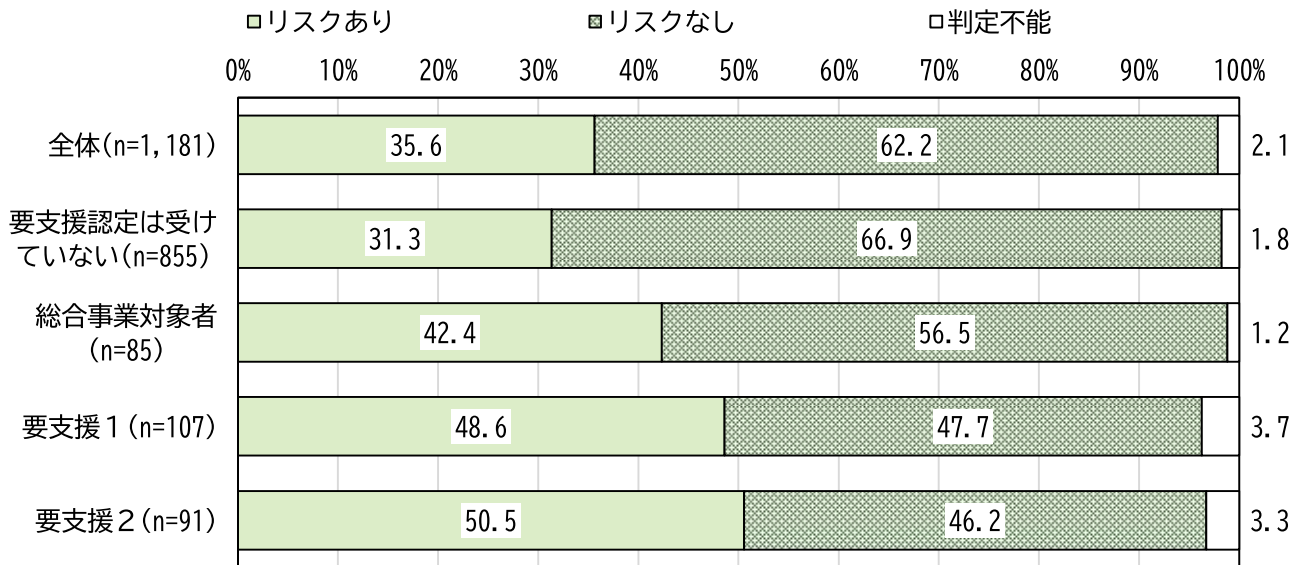
※「全体」には年齢無回答者（20人）を含む。

【男女別咀嚼機能の低下状況】



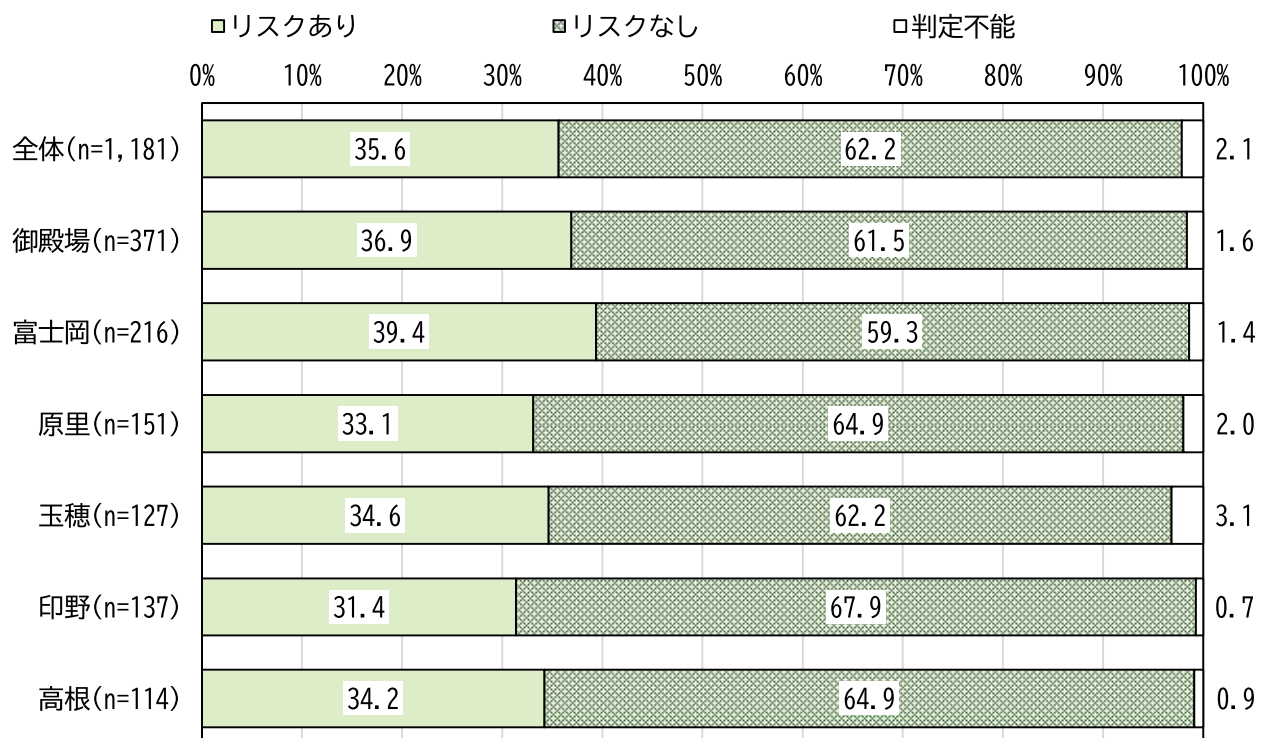
※「全体」には性別無回答者（21人）を含む。

【認定状況別咀嚼機能の低下状況】



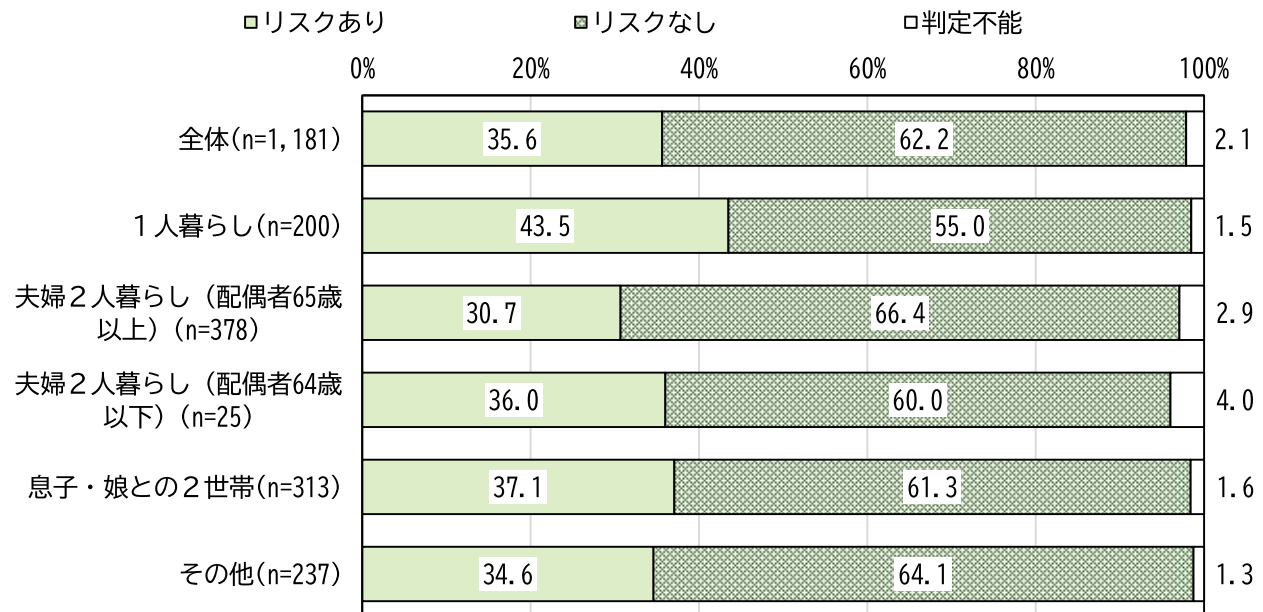
※「全体」には認定状況無回答者（43人）を含む。

【地区別咀嚼機能の低下状況】



※「全体」には地区無回答者（65人）を含む。

【世帯構成別咀嚼機能の低下状況】



※「全体」には世帯構成無回答者（28人）を含む。

## 5 認知機能の低下

「認知機能の低下」の判定に関しては、該当設問1問のうち、該当する選択肢が回答された場合にリスクありと判定されます。

分析に用いた設問	該当する選択肢
物忘れが多いと感じますか	「はい」

### 「認知機能の低下」の判定結果

認知機能の低下は、全体の42.3%が該当者となっている。

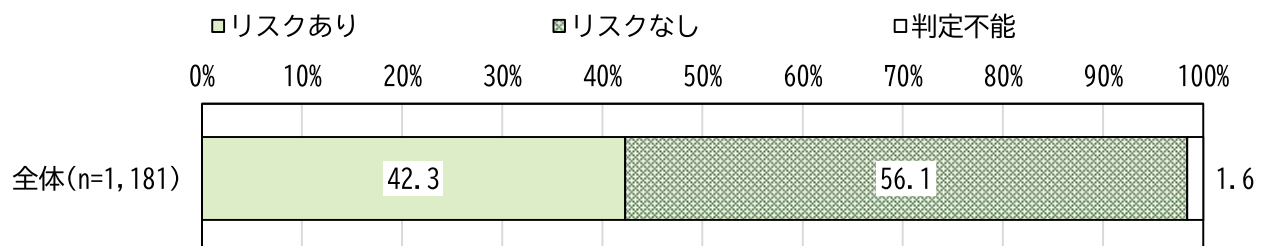
年齢別では、年齢が上がるにつれ該当者が多くなり、85～89歳の5割以上が該当者となっている。

男女別では、「男性」の40.4%、「女性」の43.9%が該当者となっており、女性に該当者が多くなっている。

認定状況別では、認定を受けていない方の38.1%が該当者となっている。

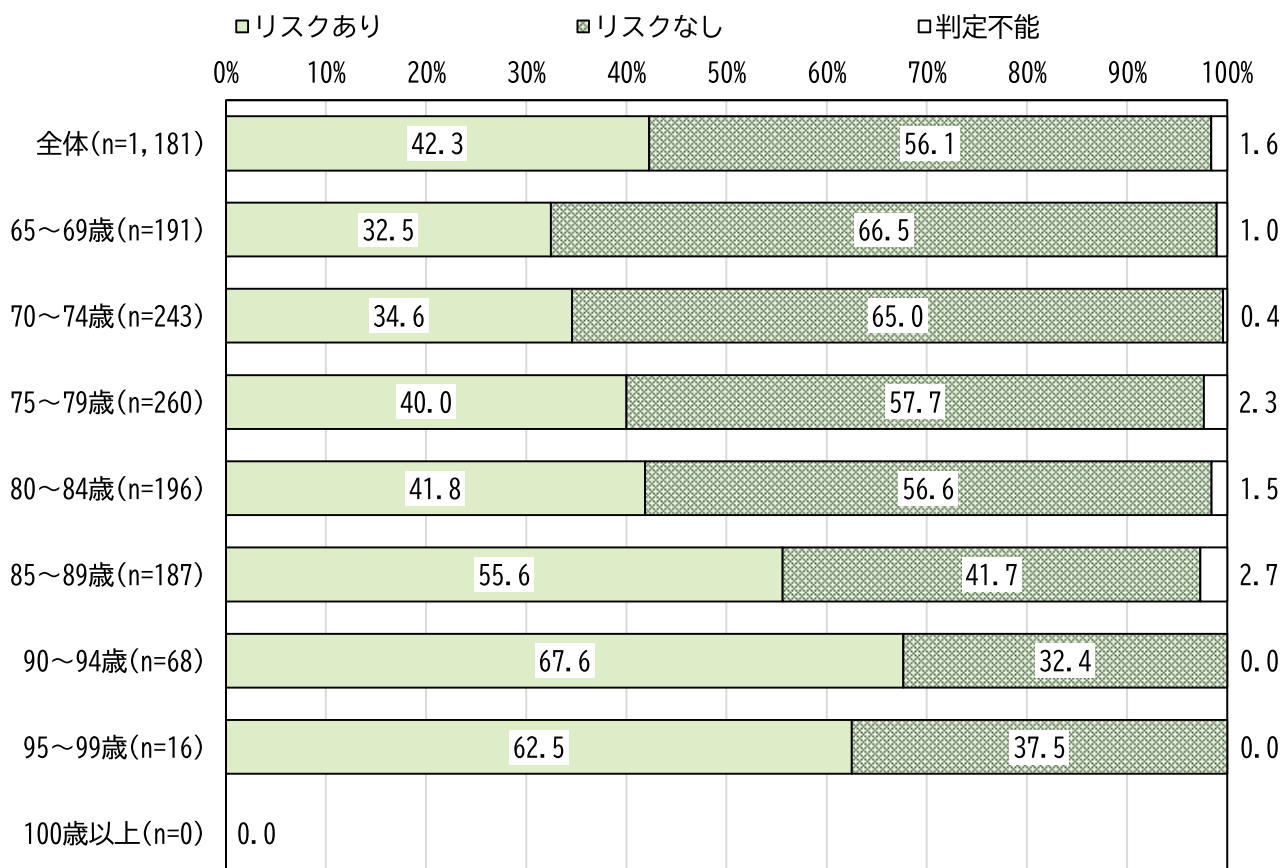
地区別では、「御殿場」が45.6%と最も多く、「原里」(45.0%)、「富士岡」(42.6%)と続いている。

世帯構成別では、「夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)」に該当者が多く、52.0%が該当者となっている。



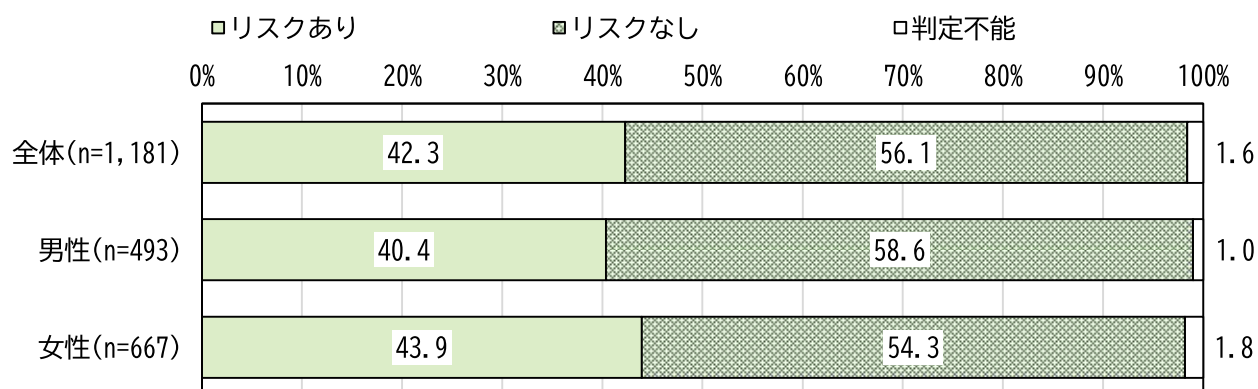
### Ⅲ 項目別リスク分析

#### 【年齢別認知機能の低下状況】



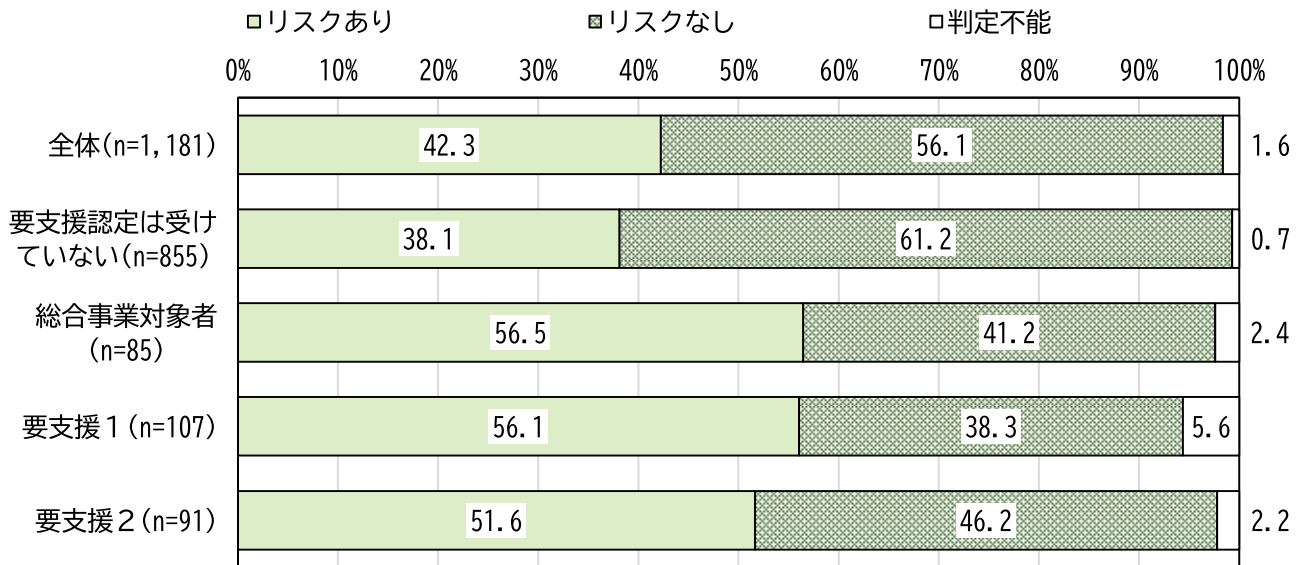
※「全体」には年齢無回答者（20人）を含む。

#### 【男女別認知機能の低下状況】



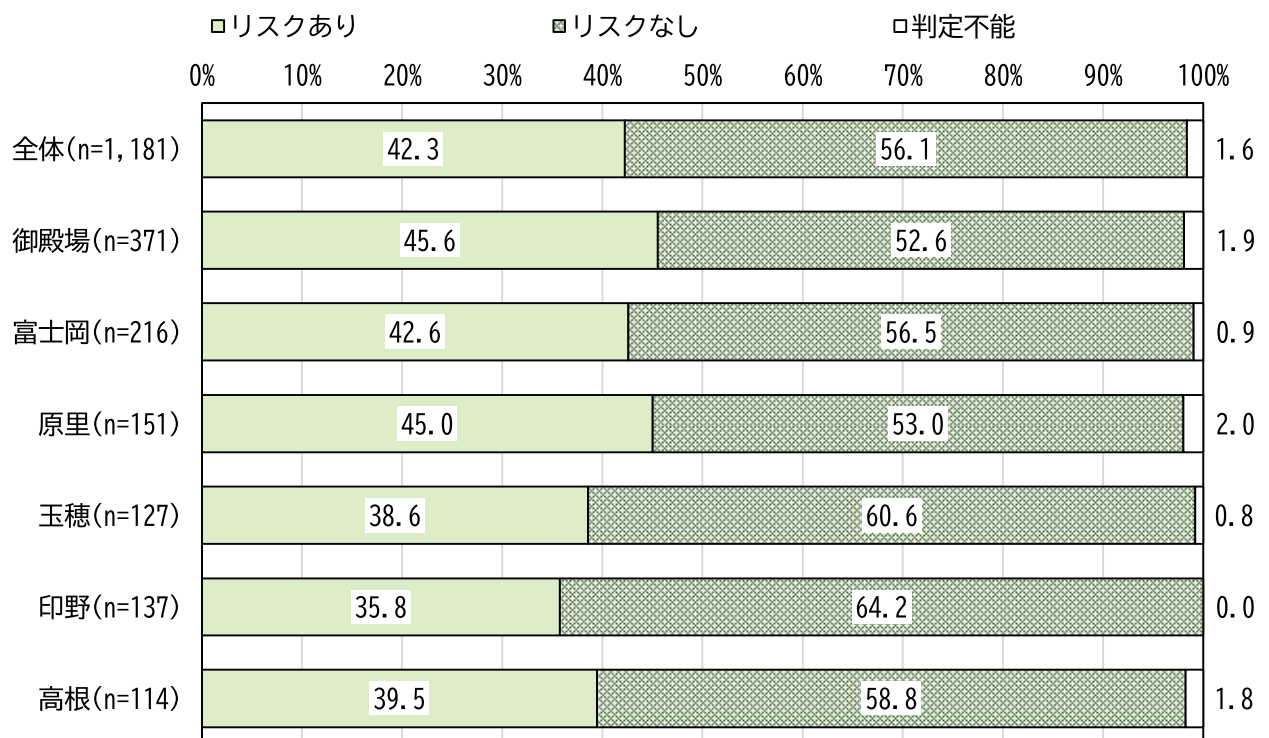
※「全体」には性別無回答者（21人）を含む。

【認定状況別認知機能の低下状況】



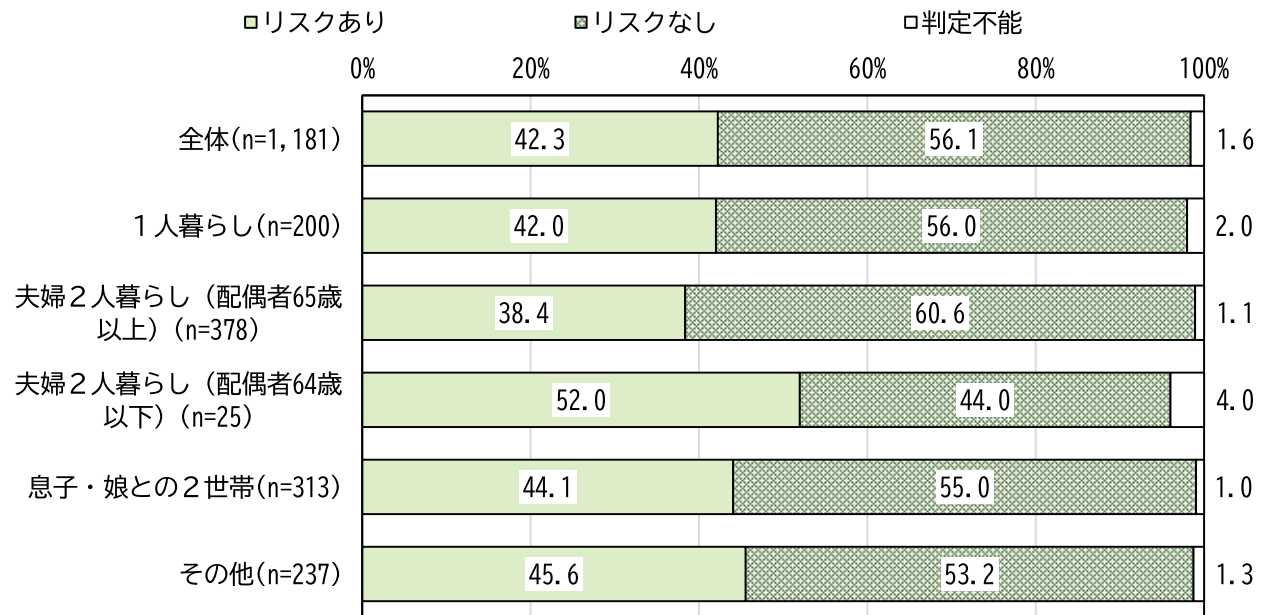
※「全体」には認定状況無回答者（43人）を含む。

【地区別認知機能の低下状況】



※「全体」には地区無回答者（65人）を含む。

【世帯構成別認知機能の低下状況】



※「全体」には世帯構成無回答者（28人）を含む。

## 6 IADLの低下

「IADLの低下」の判定に関しては、該当する設問5問より、以下の選択肢を回答した場合を1点とし、5点（満点）を「高い」、4点を「やや低い」、3点以下を「低い」と評価します。

分析に用いた設問	該当する選択肢
バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）	「できるし、している」
	「できるけどしていない」
自分で食品・日用品の買物をしていますか	「できるし、している」
	「できるけどしていない」
自分で食事の用意をしていますか	「できるし、している」
	「できるけどしていない」
自分で請求書の支払いをしていますか	「できるし、している」
	「できるけどしていない」
自分で預貯金の出し入れをしていますか	「できるし、している」
	「できるけどしていない」

### 「IADLの低下」の判定結果

IADLの低下は、「やや低い」、「低い」を低下者とする、全体の17.7%が該当者となっている。

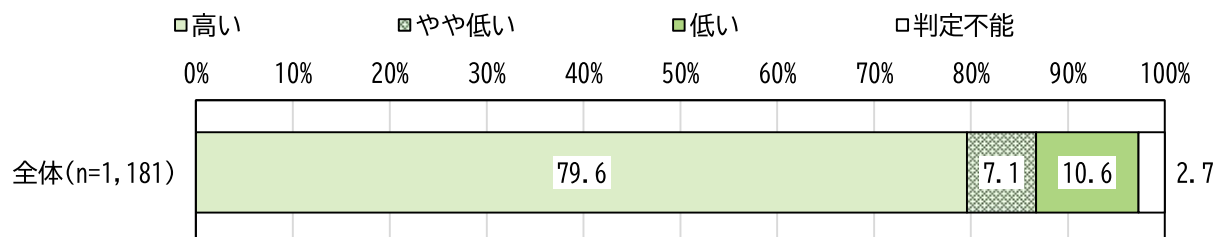
年齢別では、年齢が上がるにつれ該当者が多くなり、90～94歳の4割以上が該当者となっている。

男女別では、「男性」の17.8%、「女性」の17.0%が該当者となっており、男女で大きな差はみられない。

認定状況別では、認定を受けていない方の9.6%が該当者となっている。

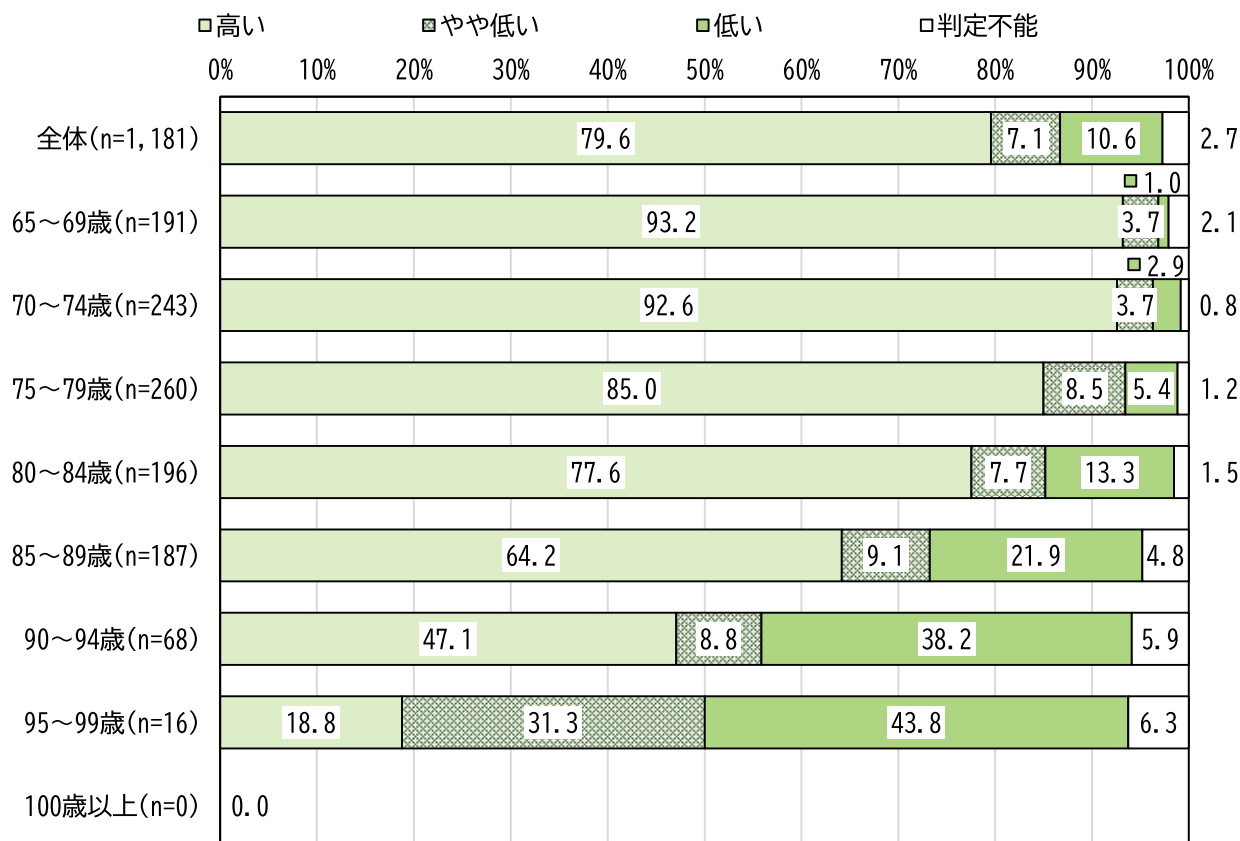
地区別では、「御殿場」が24.0%と最も多く、「富士岡」（18.5%）、「原里」（17.8%）と続いている。

世帯構成別では、「夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）」に該当者が多く、20.0%が該当者となっている。



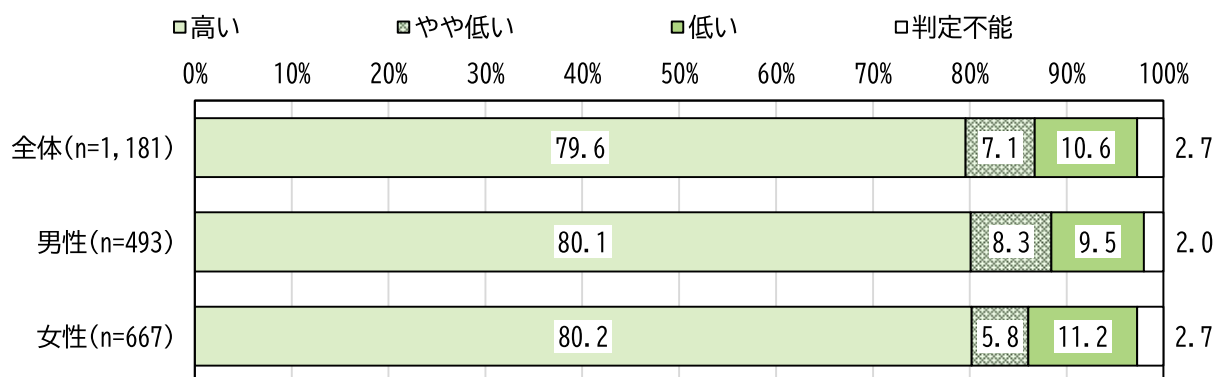
### Ⅲ 項目別リスク分析

#### 【年齢別 IADL の低下状況】



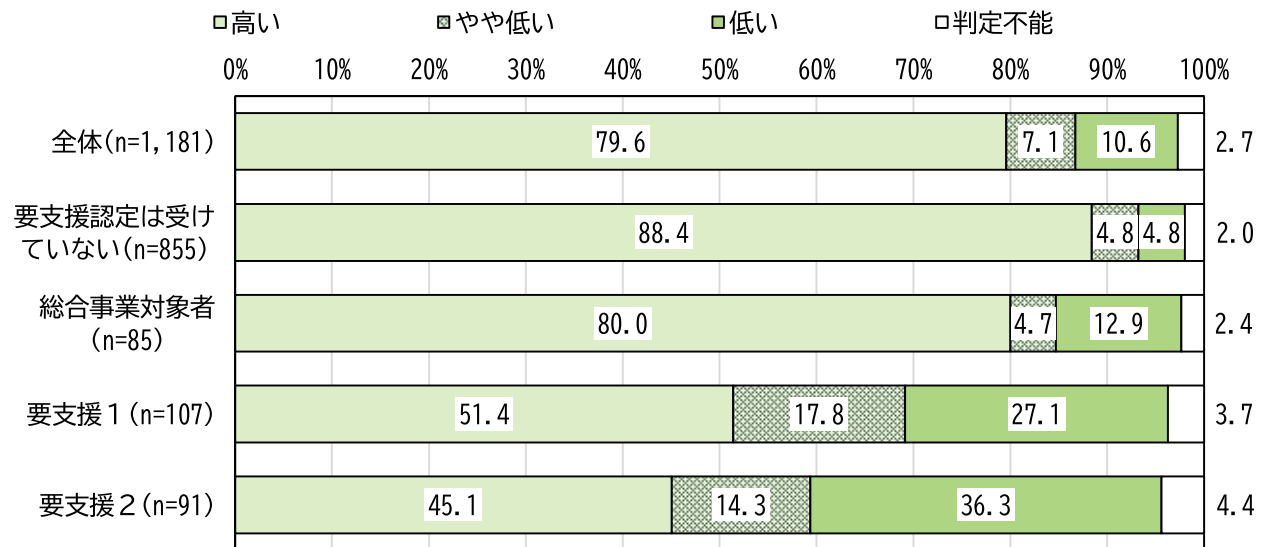
※「全体」には年齢無回答者（20人）を含む。

#### 【男女別 IADL の低下状況】



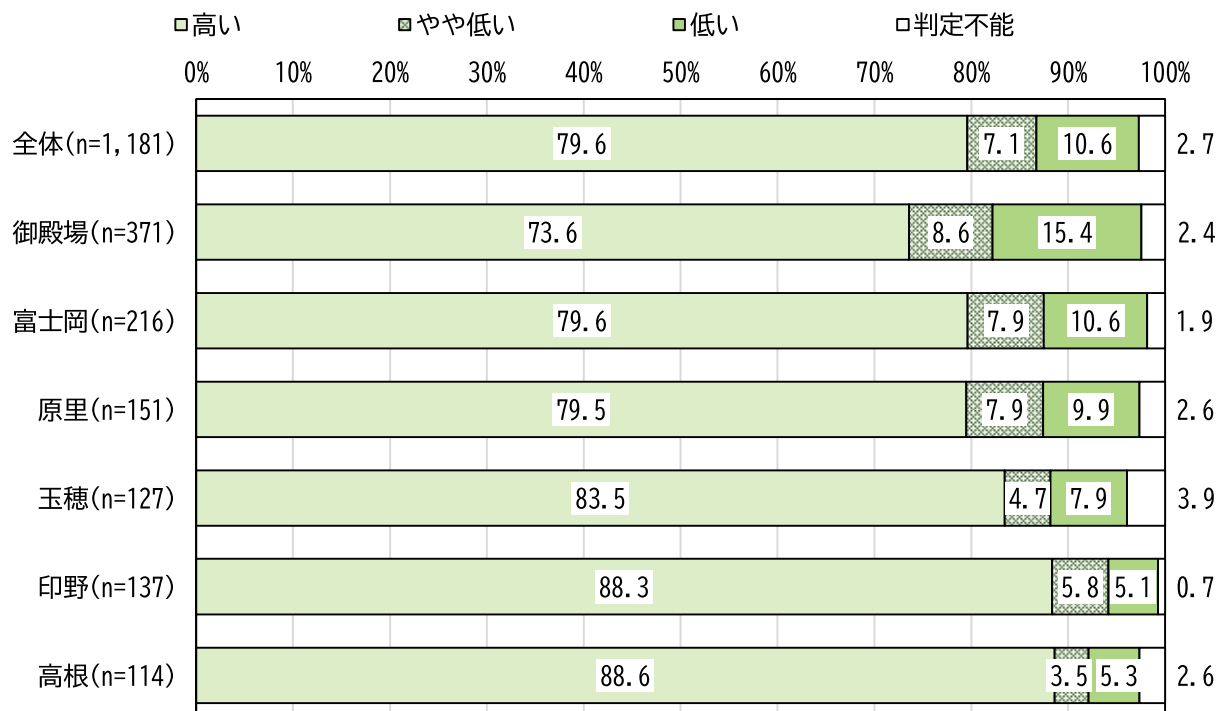
※「全体」には性別無回答者（21人）を含む。

【認定状況別 I A D L の低下状況】



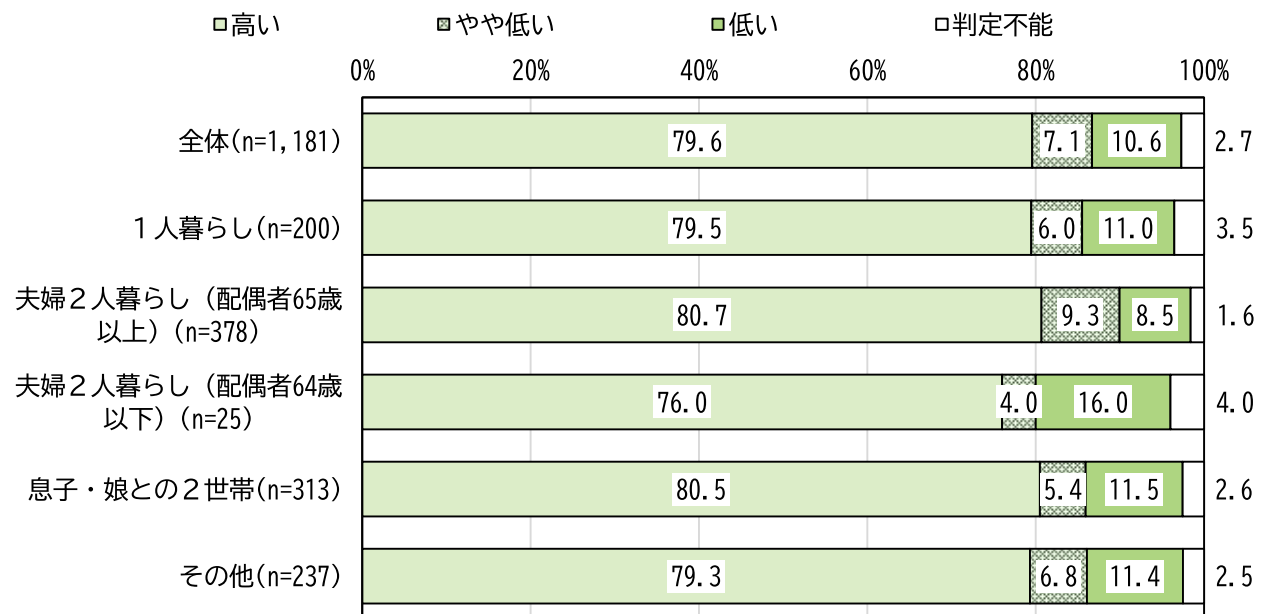
※「全体」には認定状況無回答者（43人）を含む。

【地区別 I A D L の低下状況】



※「全体」には地区無回答者（65人）を含む。

【世帯構成別 IADL の低下状況】



※「全体」には世帯構成無回答者（28人）を含む。

## 7 うつ傾向

「うつ傾向」の判定に関しては、該当設問2問のうち、いずれかで該当する選択肢が回答された場合にリスクありと判定されます。

分析に用いた設問	該当する選択肢
この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	「はい」
この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	「はい」

### 「うつ傾向」の判定結果

うつ傾向は、全体の41.7%が該当者となっている。

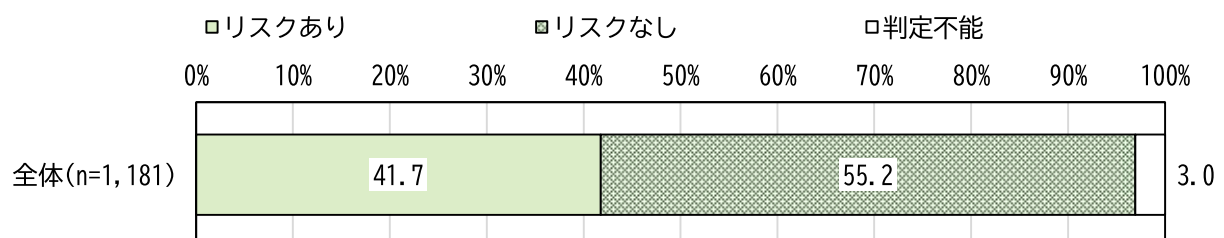
年齢別では、すべての年齢で該当者が多い傾向があり、85～89歳の約5割が該当者となっている。

男女別では、「男性」の38.9%、「女性」の43.8%が該当者となっており、女性に該当者が多くなっている。

認定状況別では、認定を受けていない方の37.0%が該当者となっている。

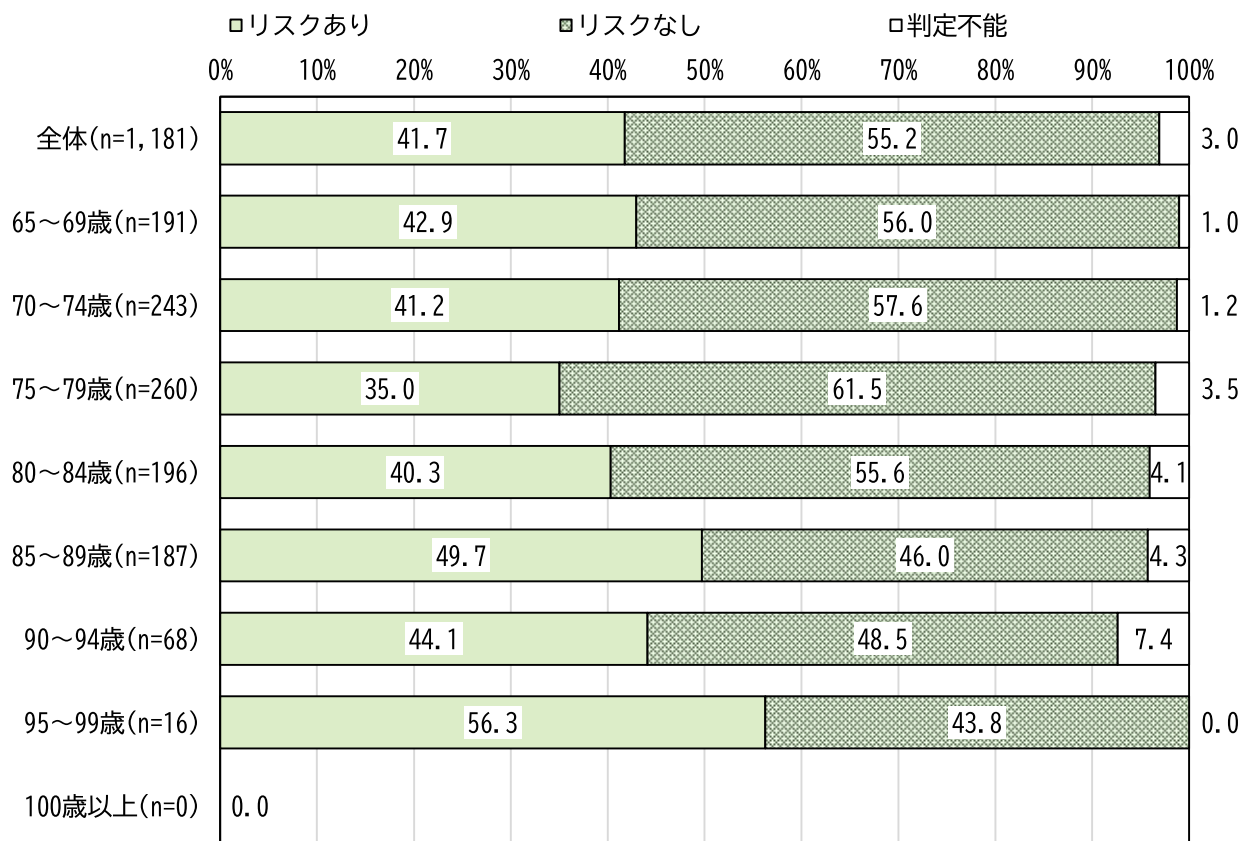
地区別では、「原里」が49.7%と最も多く、「御殿場」(43.4%)、「富士岡」(40.7%)と続いている。

世帯構成別では、「1人暮らし」に該当者が多く、47.0%が該当者となっている。



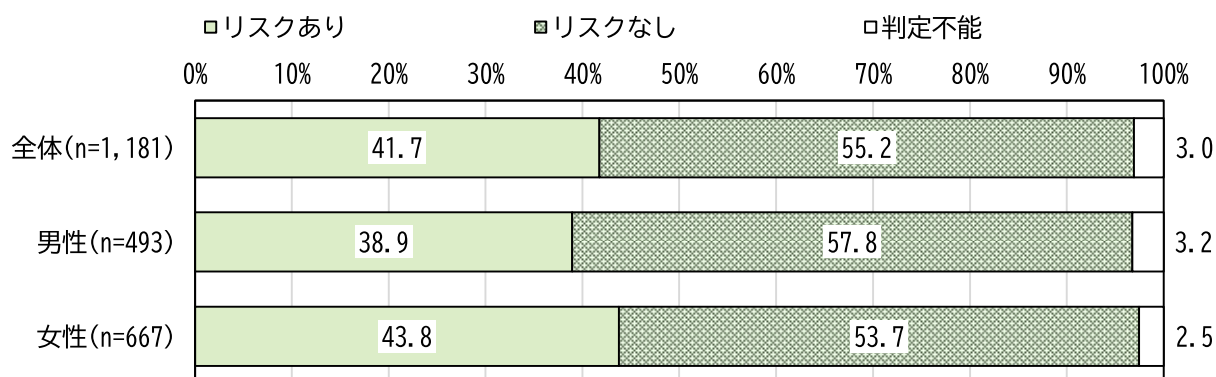
### Ⅲ 項目別リスク分析

#### 【年齢別うつ傾向】



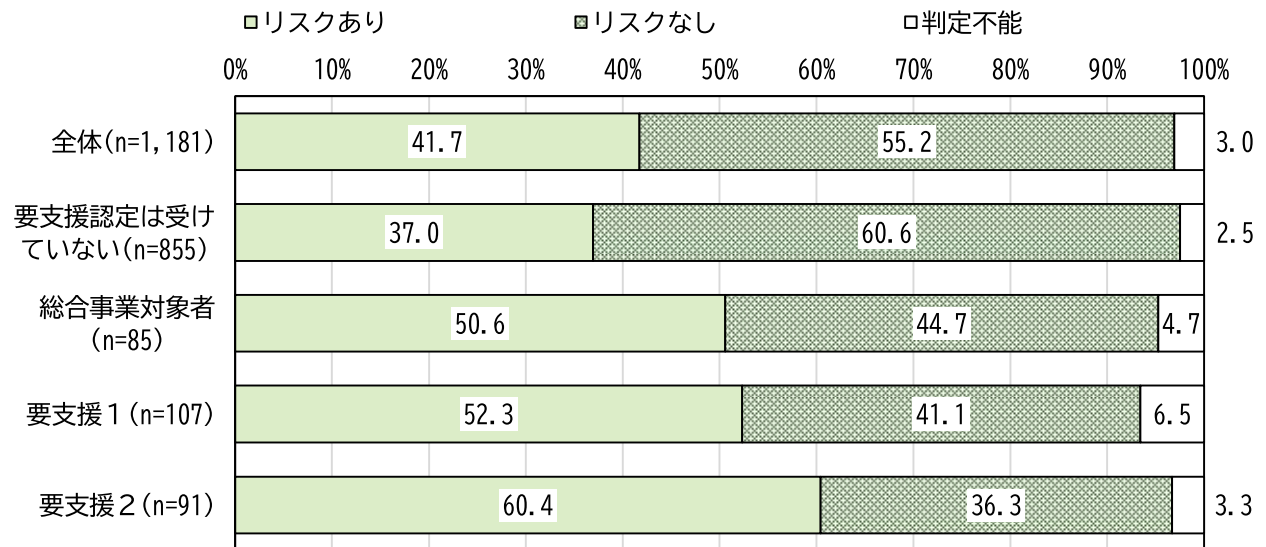
※「全体」には年齢無回答者（20人）を含む。

#### 【男女別うつ傾向】



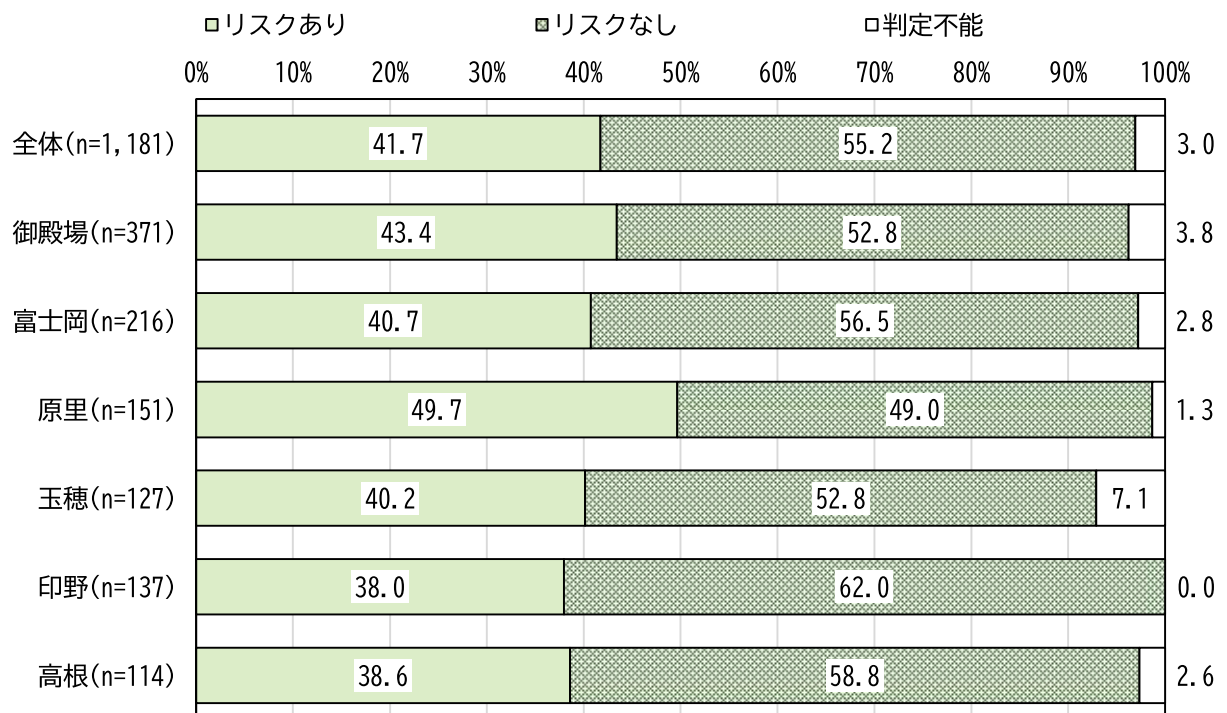
※「全体」には性別無回答者（21人）を含む。

【認定状況別うつ傾向】



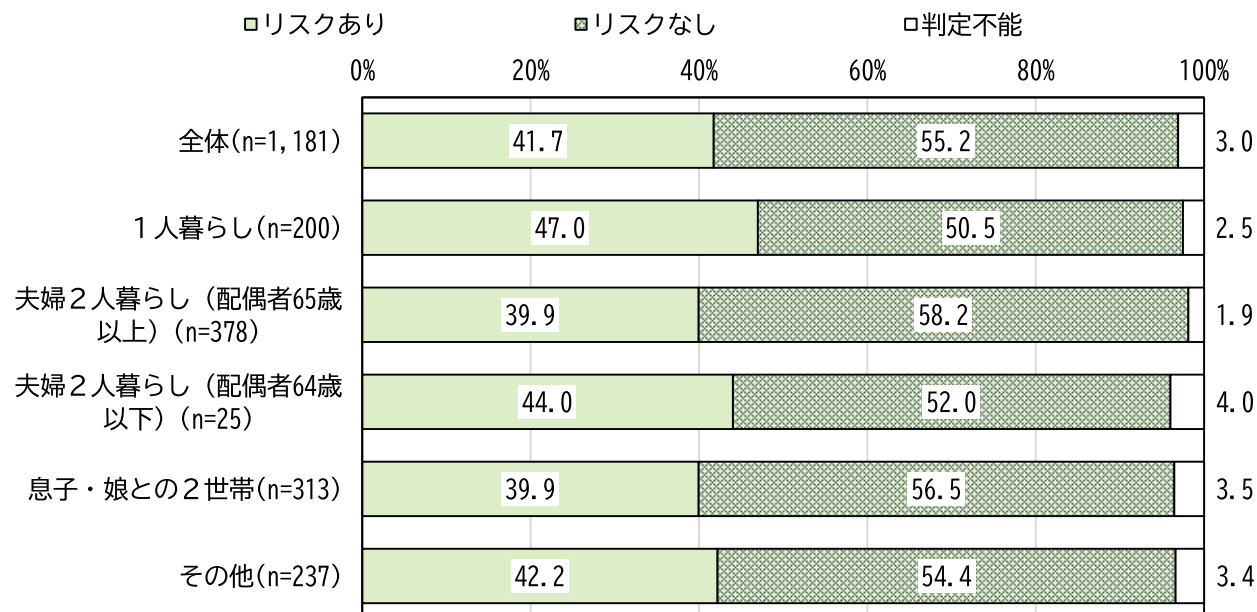
※「全体」には認定状況無回答者（43人）を含む。

【地区別うつ傾向】



※「全体」には地区無回答者（65人）を含む。

【世帯構成別うつ傾向】



※「全体」には世帯構成無回答者（28人）を含む。

## IV 調査結果 在宅要支援・要介護認定者調査



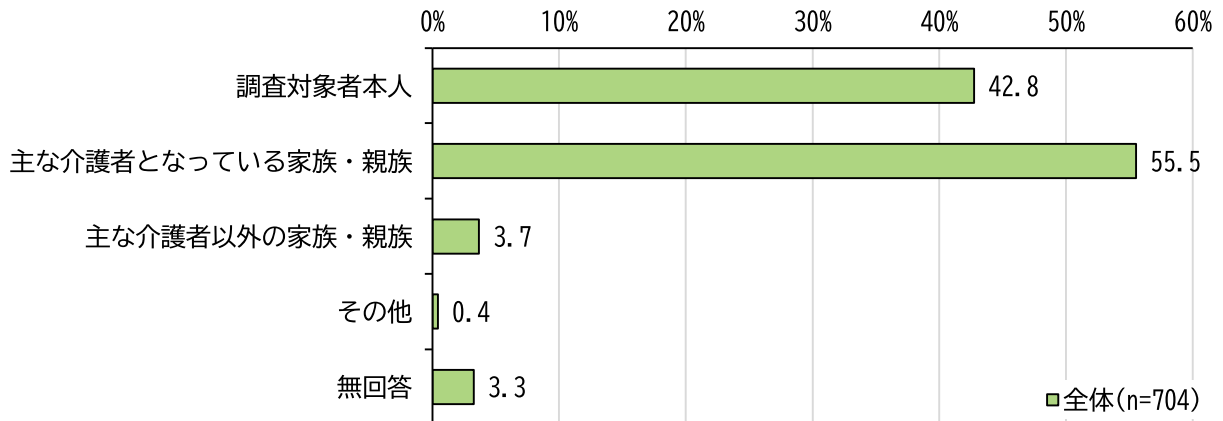
## IV 調査結果 在宅要支援・要介護認定者調査

### A票 調査対象者様ご本人について

#### (1) 調査対象者の基本属性

問1 現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか。(あてはまるものすべてに☑)

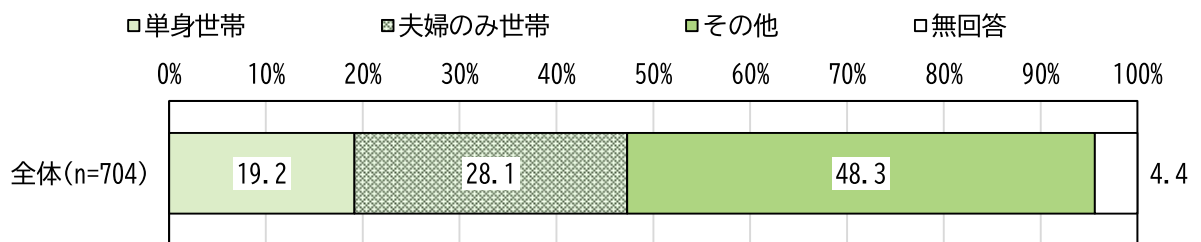
調査票の記入者は、「主な介護者となっている家族・親族」が55.5%、「調査対象者本人」が42.8%、「主な介護者以外の家族・親族」が3.7%となっている。



#### (2) 世帯類型

問2 世帯類型について、ご回答ください。(☑は1つ)

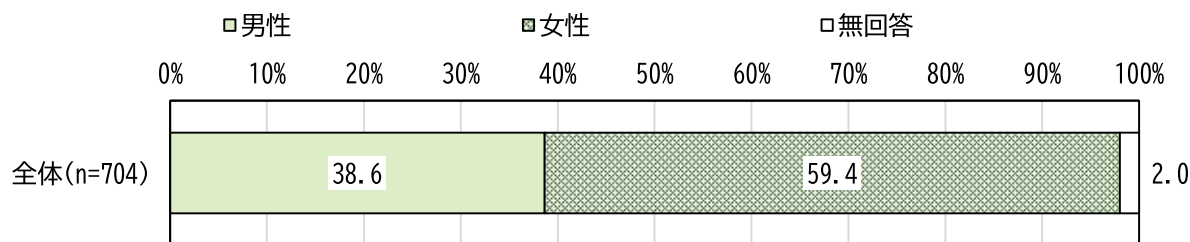
世帯類型は、「単身世帯」が19.2%、「夫婦のみ世帯」が28.1%、「その他」が48.3%となっている。



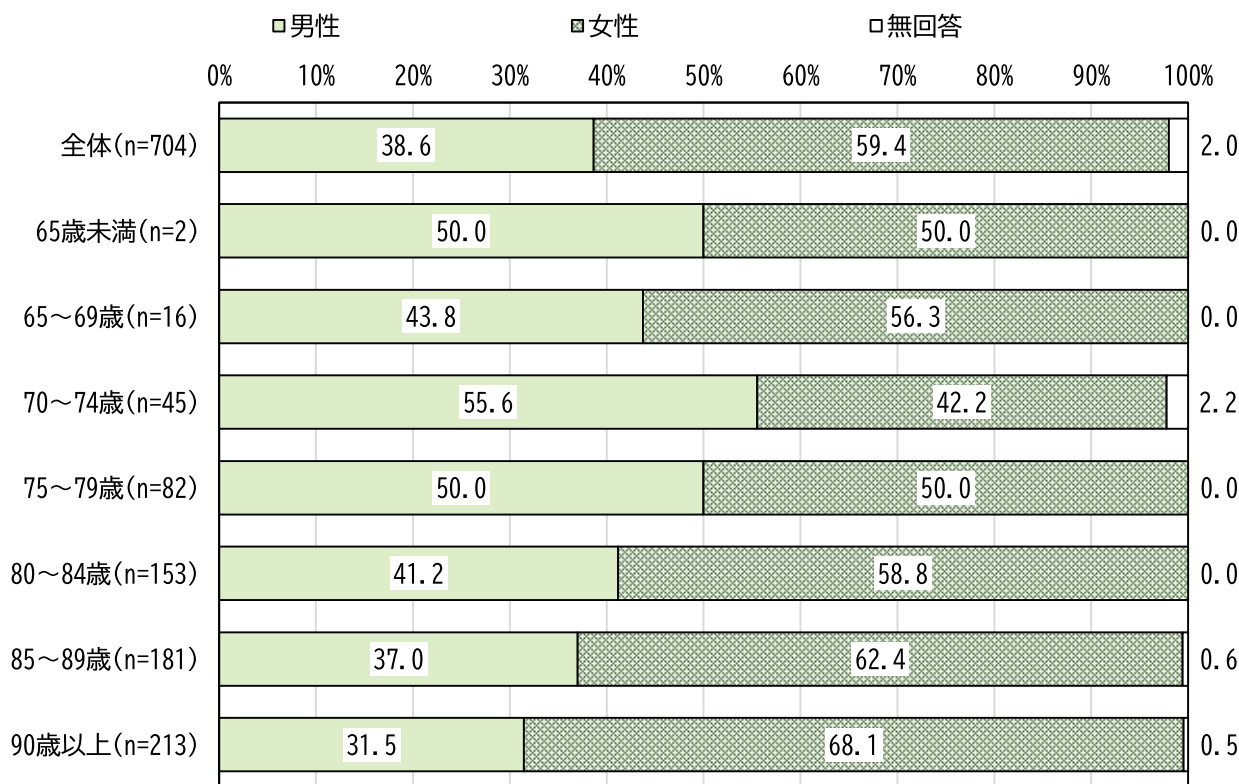
### (3) 性別

問3 ご本人の性別について、ご回答ください。(☑は1つ)

性別は、「男性」が38.6%、「女性」が59.4%となっている。



#### 【年齢別男女比】

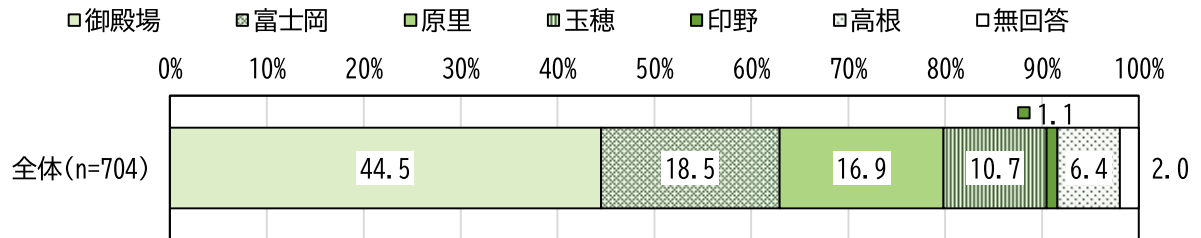


※「全体」には年齢無回答者（12人）を含む。

## (4) お住いの地区

### 問4 お住いの地区について、ご回答ください。(☑は1つ)

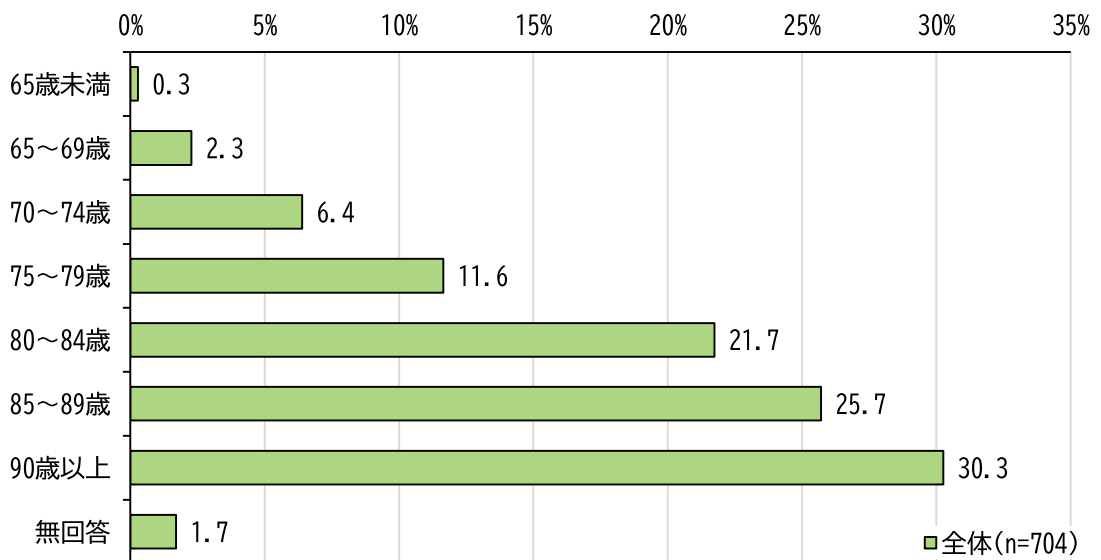
住んでいる地区は、「御殿場」が44.5%と最も多く、次いで、「富士岡」(18.5%)、「原里」(16.9%)、「玉穂」(10.7%)、「高根」(6.4%)、「印野」(1.1%)となっている。



## (5) 年齢

### 問5 ご本人の年齢について、ご回答ください。(☑は1つ)

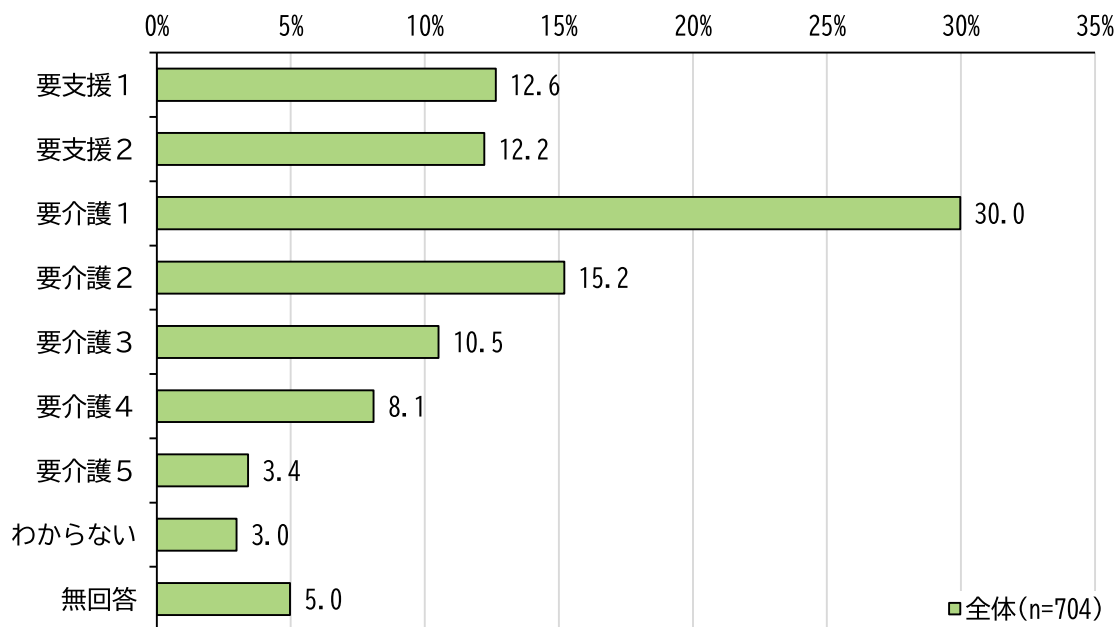
年齢は、「90歳以上」が30.3%と最も多く、次いで、「85～89歳」(25.7%)、「80～84歳」(21.7%)、「75～79歳」(11.6%)、「70～74歳」(6.4%)、「65～69歳」(2.3%)、「65歳未満」(0.3%)となっている。



## (6) 要介護認定の状況（要介護度）

問6 ご本人の要介護度について、ご回答ください。(☑は1つ)

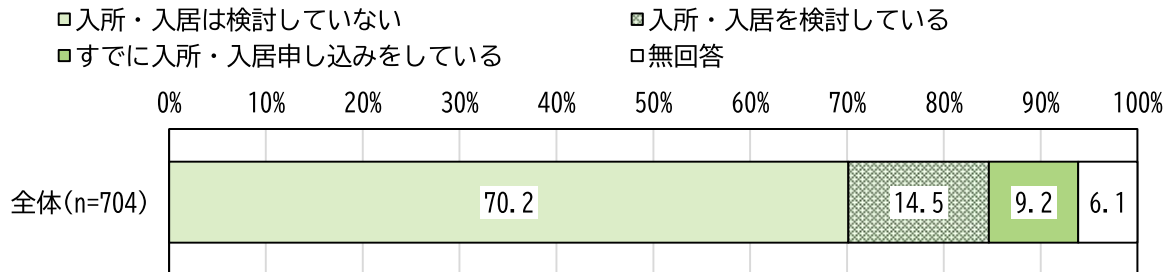
要介護認定の状況は、「要支援1」(12.6%)、「要支援2」(12.2%)、「要介護1」(30.0%)、「要介護2」(15.2%)、「要介護3」(10.5%)、「要介護4」(8.1%)、「要介護5」(3.4%)となっている。



## (7) 施設等への入所・入居の検討状況

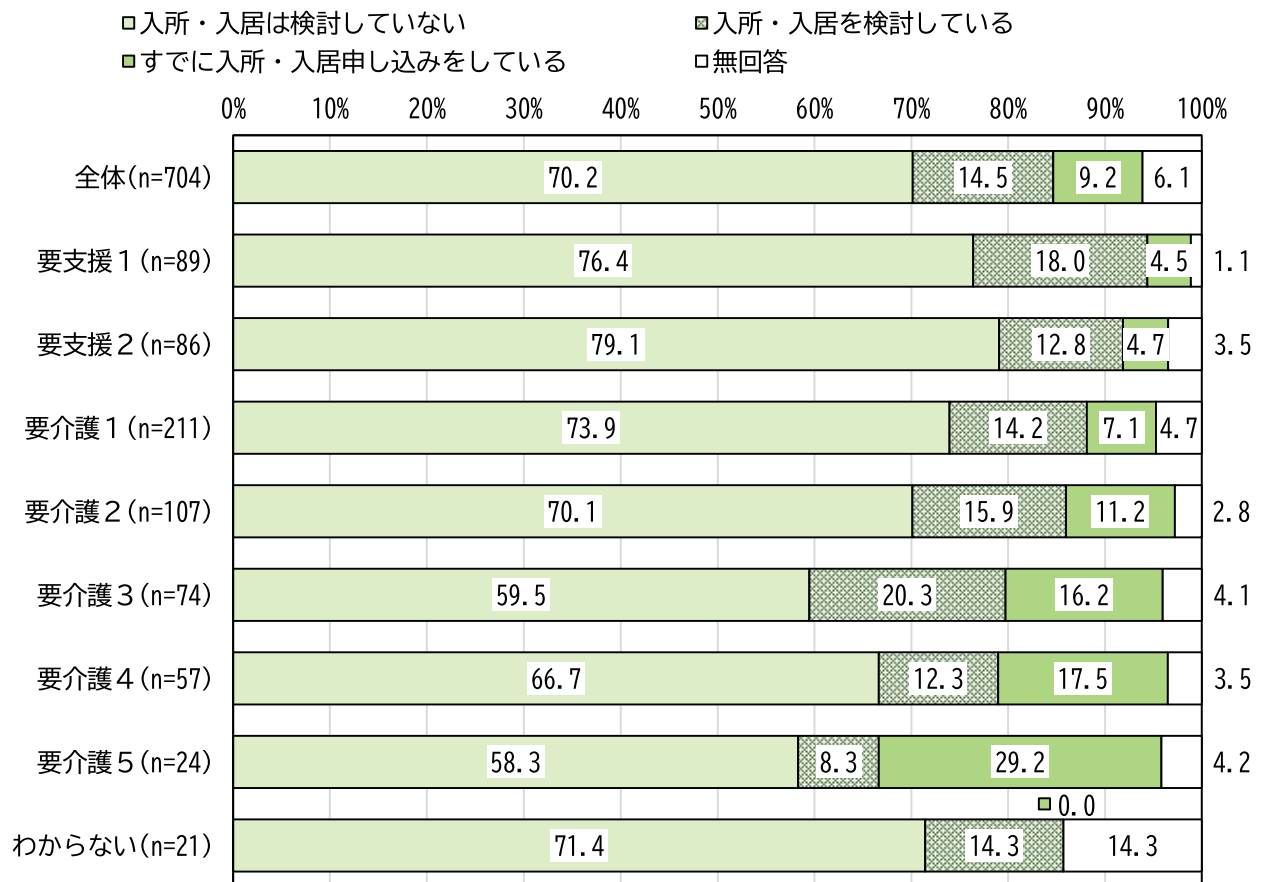
問7 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。(☑は1つ)

施設等への入所・入居の検討状況は、「入所・入居は検討していない」が70.2%と最も多く、次いで、「入所・入居を検討している」(14.5%)、「すでに入所・入居申し込みをしている」(9.2%)となっている。



## 【要介護度別施設等への入所・入居の検討状況】

要介護度別では、要介護度が上がるにつれ、「すでに入所・入居申し込みをしている」が増える傾向にあり、「要介護5」の約3割が「すでに入所・入居申し込みをしている」と回答している。

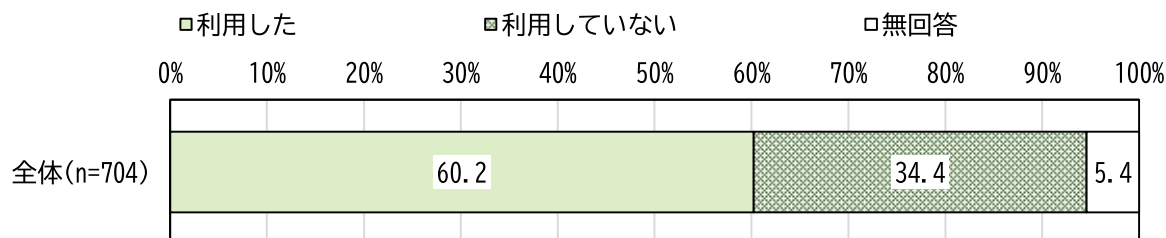


※「全体」には要介護度無回答者（35人）を含む。

### (8) 介護保険サービス利用有無

問8 令和7年10月の1か月の間に、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用しましたか。(☑は1つ)

令和7年10月の1か月の間に、介護保険サービスを利用したかは、「利用した」が60.2%、「利用していない」が34.4%となっている。

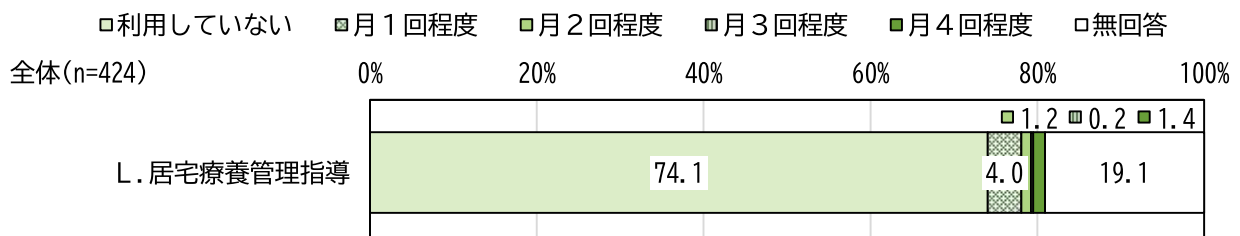
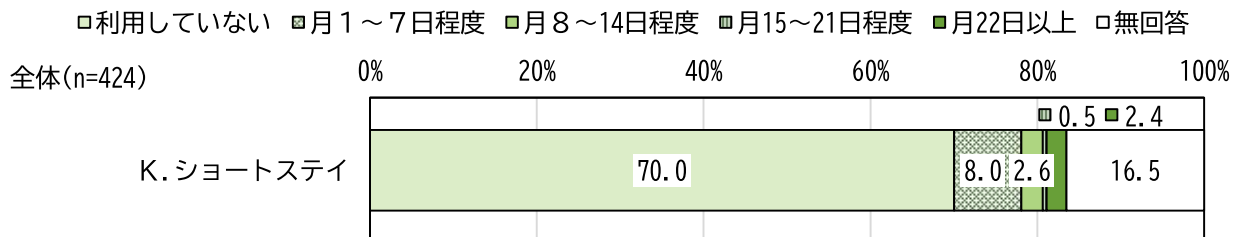
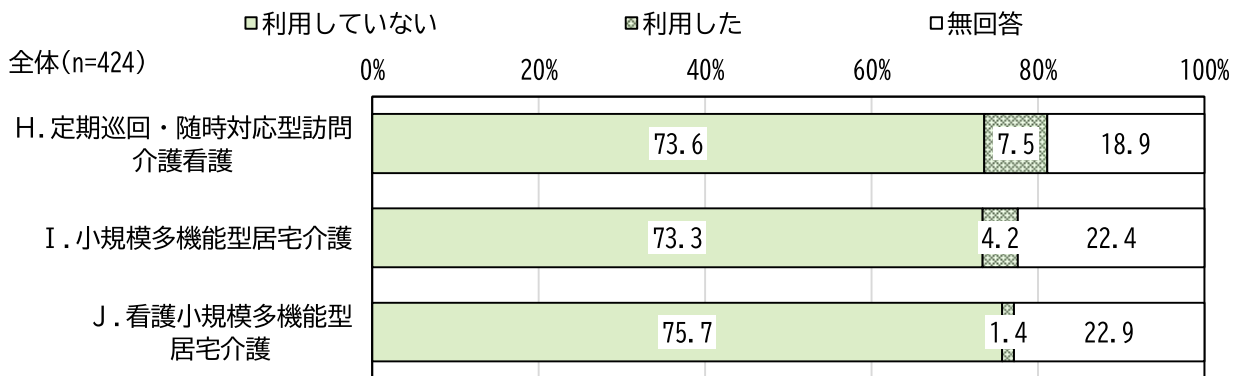
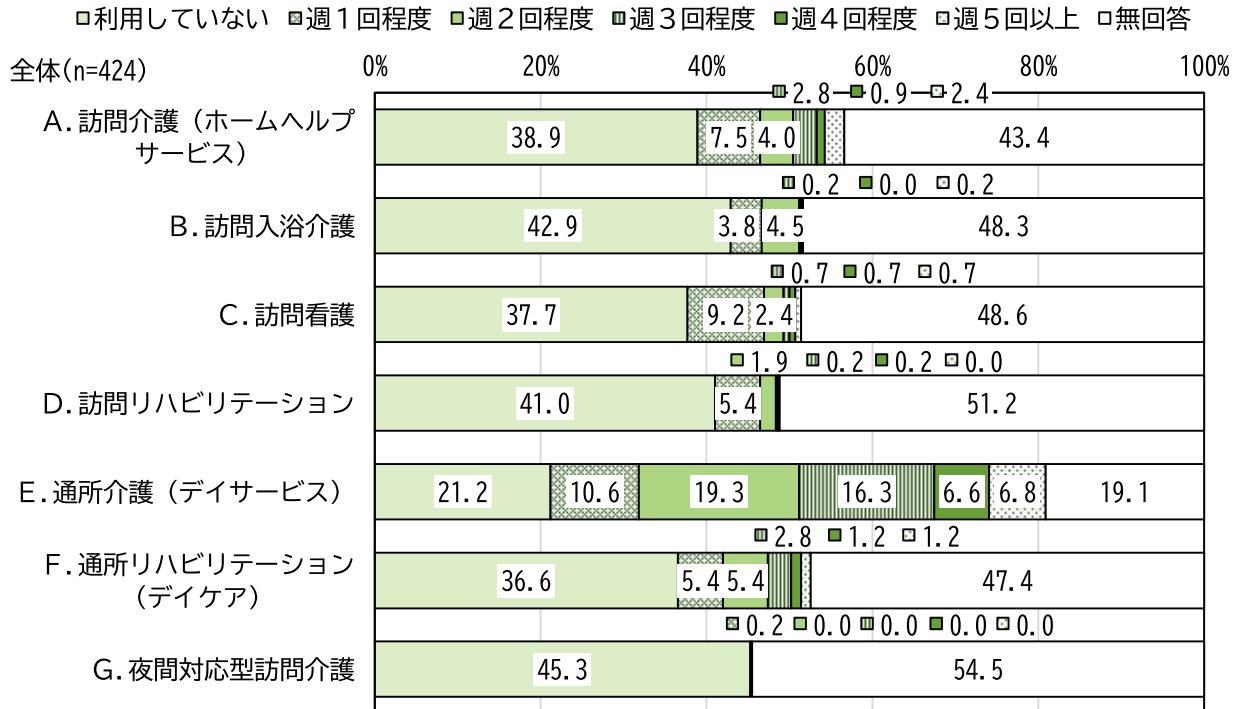


### (9) 介護保険サービス利用状況

【問8で「利用した」と回答した方におうかがいします】

問9 以下の介護保険サービスについて、令和7年10月の1か月間の利用状況をご回答ください。対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「利用していない」を選択してください。(それぞれ☑は1つ)

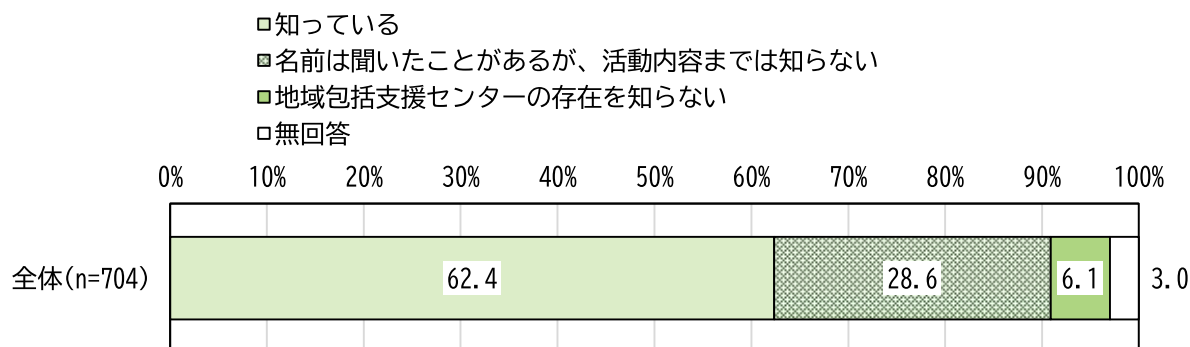
各サービスの利用状況は、以下の通りとなっている。



### (10) 地域包括支援センター

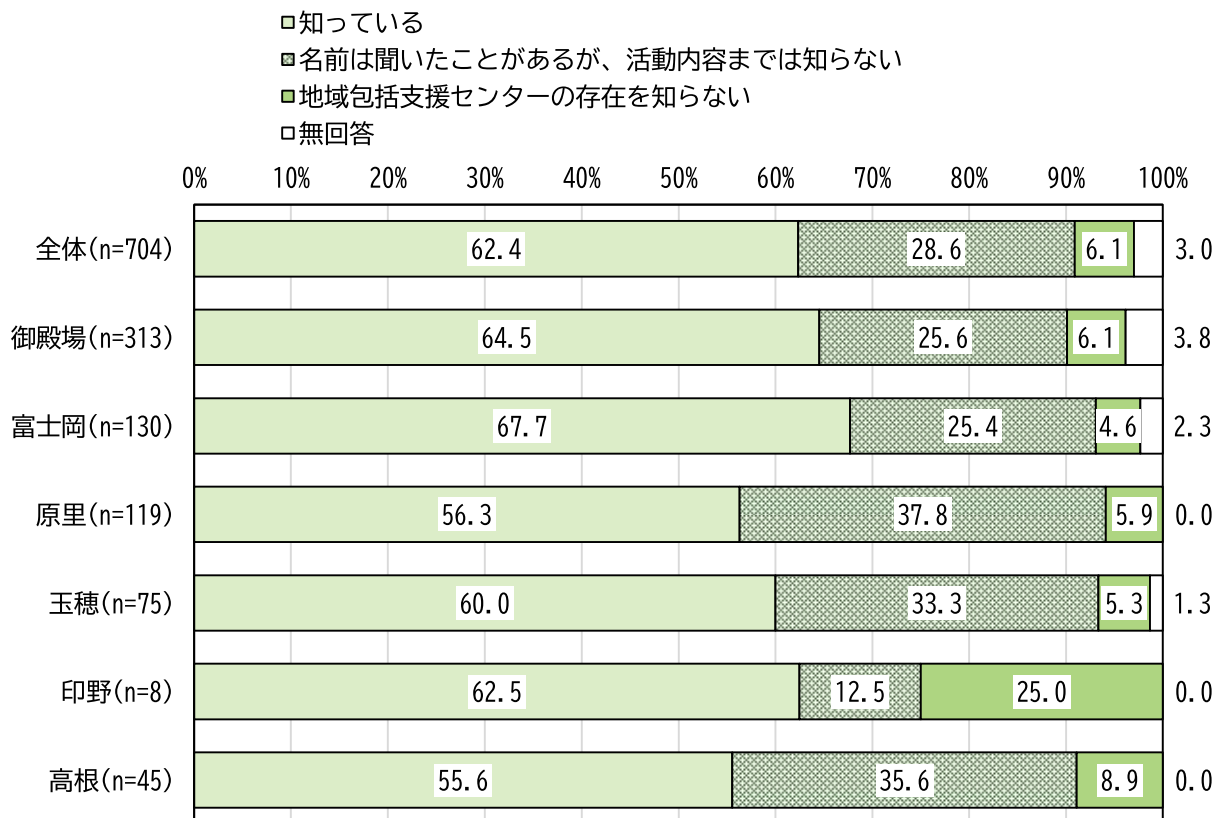
問 10 地域包括支援センターは、高齢者の方々が住みなれた地域で安心して暮らしていけるよう、介護・福祉・健康などさまざまな面から総合的に支援する機関で、御殿場市には5か所あります。地域包括支援センターの活動内容を知っていますか。(☑は1つ)

地域包括支援センターの認知度は、「知っている」(62.4%)、「名前は聞いたことがあるが、活動内容までは知らない」(28.6%)、「地域包括支援センターの存在を知らない」(6.1%)となっている。



#### 【地区別地域包括支援センターの認知度】

地区別では、「知っている」という回答でみると、「富士岡」が67.7%と最も多く、次いで、「御殿場」(64.5%)、「印野」(62.5%)と続いている。また、「地域包括支援センターの存在を知らない」という回答が最も多かったのは、「印野」で25.0%となっている。



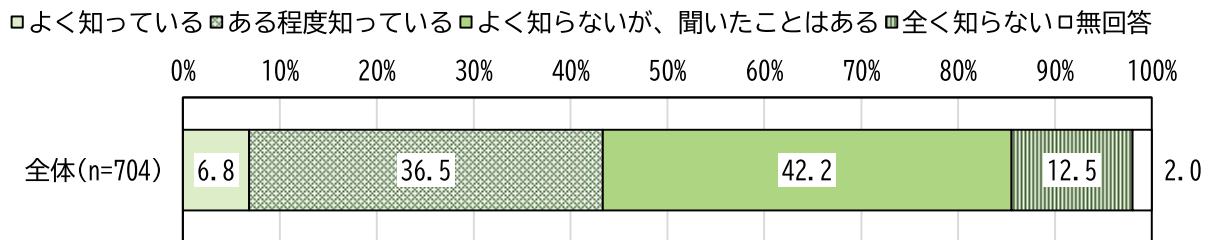
※「全体」には地区無回答者(14人)を含む。

問 11 認知症や知的障害などにより判断能力が不十分な方々が、自分らしく安心して暮らせるように、ご本人の財産を保護・管理したり、契約を代わりに行ったりするなど、法的に様々な支援を行うのが成年後見制度です。成年後見制度について、次の質問にお答えください。

### (11) 成年後見制度の認知度

問 11 (1) 成年後見制度を知っていますか。(☑は1つ)

成年後見制度の認知度は、「よく知っている」(6.8%)、「ある程度知っている」(36.5%)、「よく知らないが、聞いたことはある」(42.2%)、「全く知らない」(12.5%)となっている。

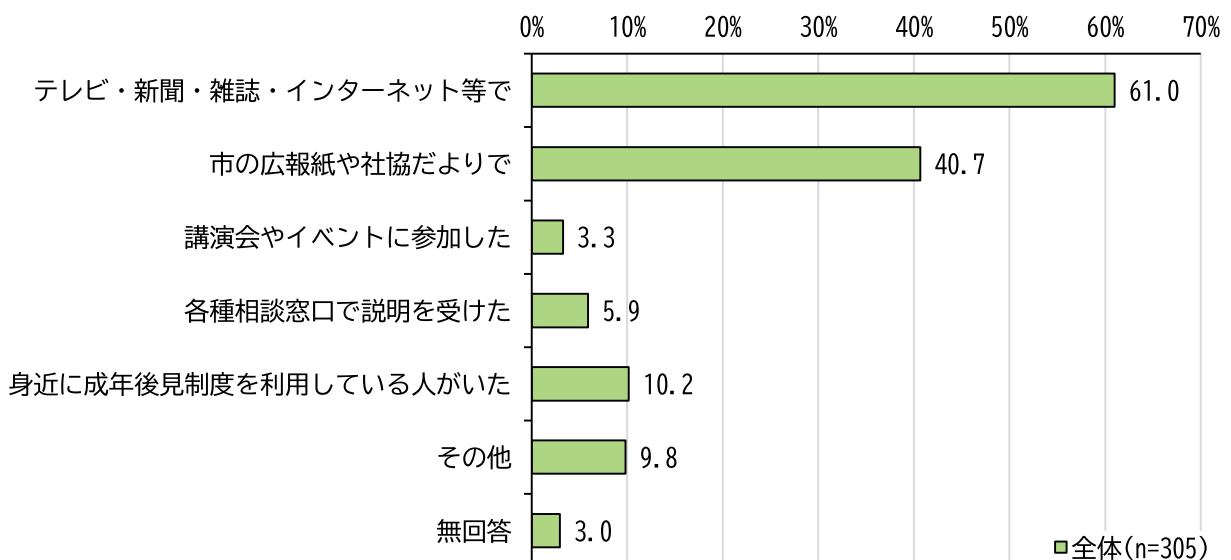


### (12) 成年後見制度を知ったきっかけ

【問 11 (1) で「よく知っている」「ある程度知っている」と回答した方におうかがいします】

問 11 (2) あなたは成年後見制度を何で知りましたか。(あてはまるものすべてに☑)

成年後見制度を知ったきっかけは、61.0%が「テレビ・新聞・雑誌・インターネット等で」と回答している。その他、「市の広報紙や社協だよりで」(40.7%)、「身近に成年後見制度を利用している人がいた」(10.2%)と続いている。

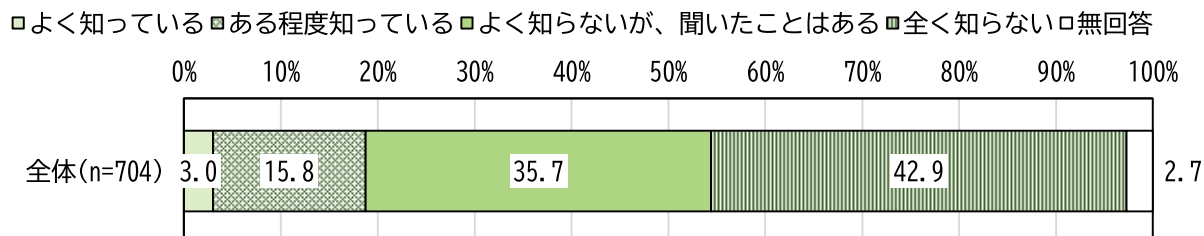


### (13) 市民後見人の認知度

問 11 (3) 市では、成年後見制度の担い手として、市民感覚を生かしたきめ細かな後見活動を行う「市民後見人」の養成に取り組んでいます。市民後見人について知っていますか。(☑は1つ)

市民後見人の認知度は、「よく知っている」(3.0%)、「ある程度知っている」(15.8%)、「よく知らないが、聞いたことはある」(35.7%)となっている。

また、42.9%は「全く知らない」と回答している。

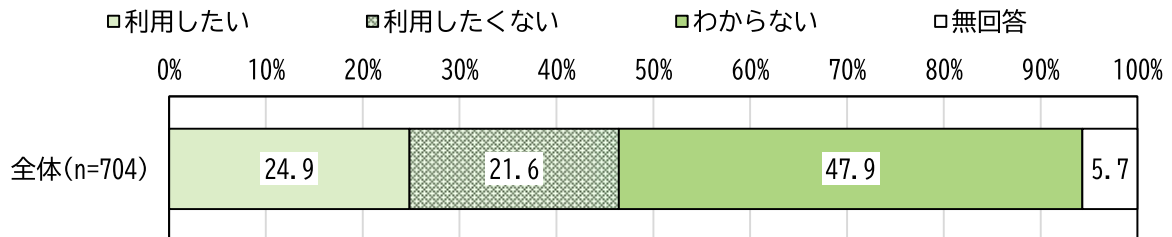


## (14) 成年後見制度の利用意向

問 11 (4) あなたが認知症などで判断が十分にできなくなった時、「成年後見制度」を利用したいと  
 思いますか。(☑は1つ)

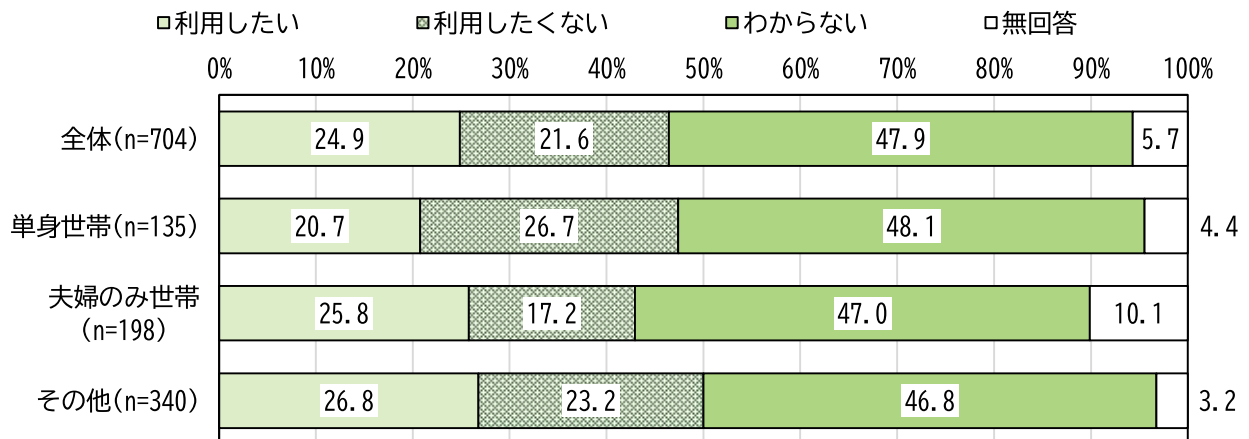
成年後見制度の利用意向は、「利用したい」(24.9%)、「利用したくない」(21.6%)となっ  
 ている。

また、47.9%は「わからない」と回答している。



## 【世帯構成別成年後見制度の利用意向】

世帯構成別では、全体的に「わからない」という回答が多いものの、「単身世帯」、「夫婦のみ世帯」とともに2割以上が「利用したい」と回答している。



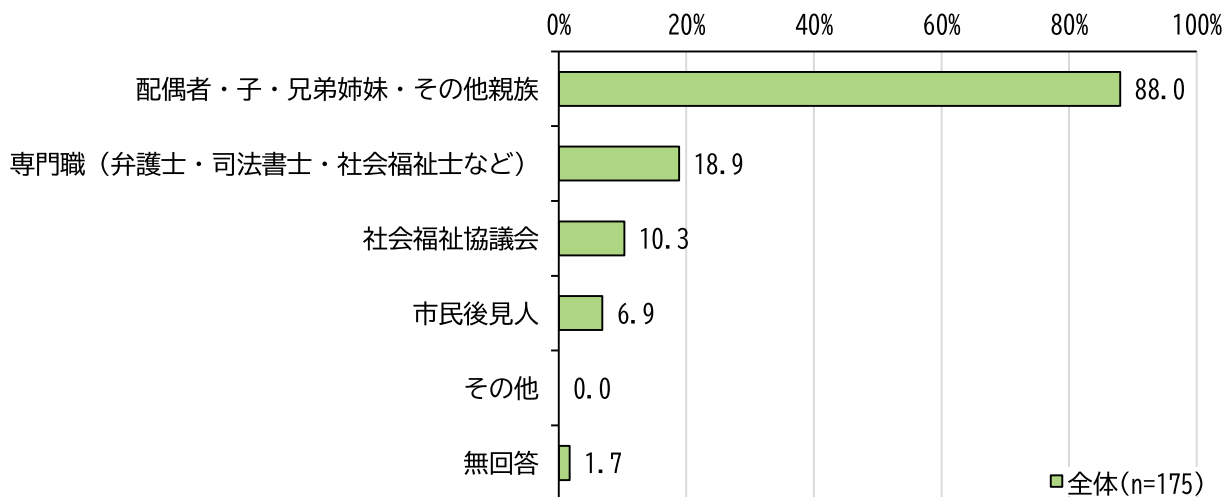
※「全体」には世帯構成無回答者(31人)を含む。

### (15) 成年後見人になってもらいたい方

【問 11 (4) で「利用したい」と回答した方におうかがいします】

問 11 (5) 成年後見人は誰になってもらいたいですか。(あてはまるものすべてに☑)

成年後見人は誰になってもらいたいかは、88.0%が「配偶者・子・兄弟姉妹・その他親族」と回答している。その他、「専門職（弁護士・司法書士・社会福祉士など）」（18.9%）、「社会福祉協議会」（10.3%）と続いている。

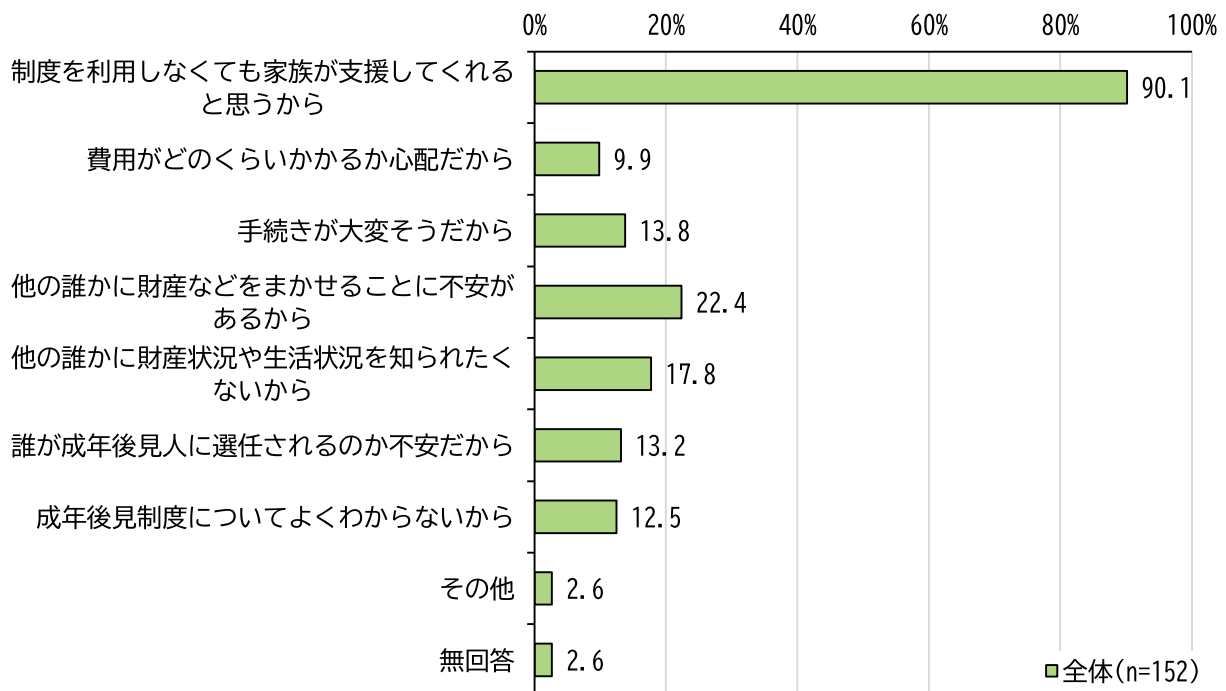


## (16) 成年後見制度を利用したくない理由

【問 11 (4) で「利用したくない」と回答した方におうかがいします】

問 11 (6) 成年後見制度を利用したくない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに☑)

成年後見制度を利用したくない理由は、90.1%が「制度を利用しなくても家族が支援してくれると思うから」と回答している。その他、「他の誰かに財産などをまかせることに不安があるから」(22.4%)、「他の誰かに財産状況や生活状況を知られたくないから」(17.8%)と続いている。

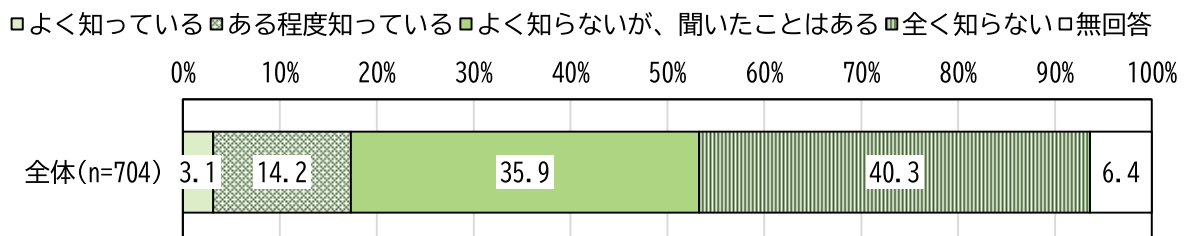


## (17) 任意後見制度の認知度

問 11 (7) 任意後見制度を知っていますか。(☑は1つ)

任意後見制度の認知度は、「よく知っている」(3.1%)、「ある程度知っている」(14.2%)、「よく知らないが、聞いたことはある」(35.9%)となっている。

また、40.3%は「全く知らない」と回答している。

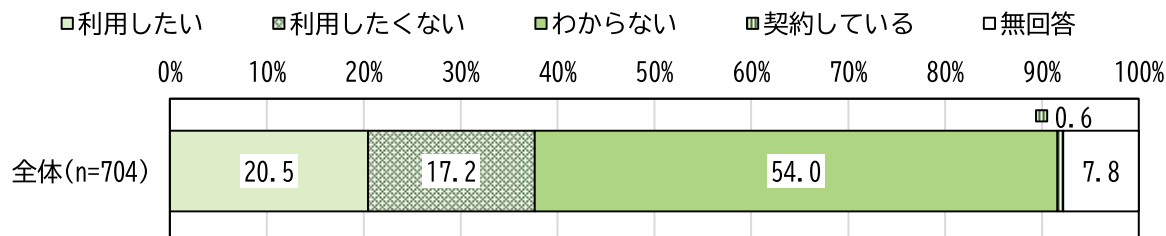


### (18) 任意後見制度の利用意向

問 11 (8) あなたが認知症などで判断が十分にできなくなった時に備えて、「任意後見制度」を利用したいと思いますか。(☑は1つ)

任意後見制度の利用意向は、「利用したい」(20.5%)、「利用したくない」(17.2%)となっている。

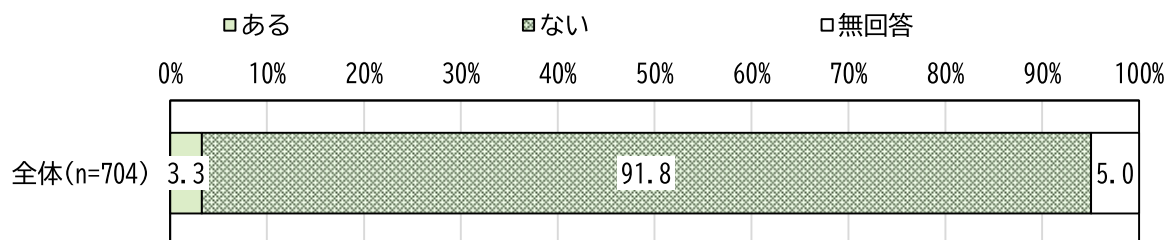
また、54.0%は「わからない」と回答しており、0.6%は「契約している」と回答している。



### (19) 身元保証で困ったこと

問 11 (9) 病院の入院や施設入所などの際に身元保証で困ったことはありますか。(☑は1つ)

病院の入院や施設入所などの際に身元保証で困ったことの有無は、「ある」(3.3%)、「ない」(91.8%)となっている。

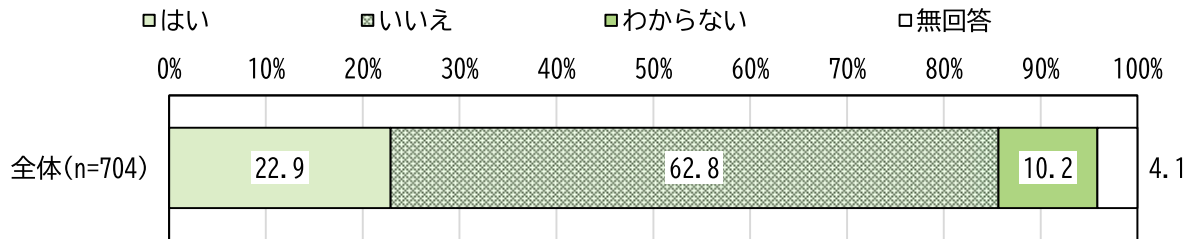


問12 認知症について、次の質問にお答えください。

(20) 認知症診断の有無

問12(1) あなたは、認知症と診断されていますか。(☑は1つ)

認知症と診断されているかは、「はい」(22.9%)、「いいえ」(62.8%)となっている。  
また、10.2%は「わからない」と回答している。

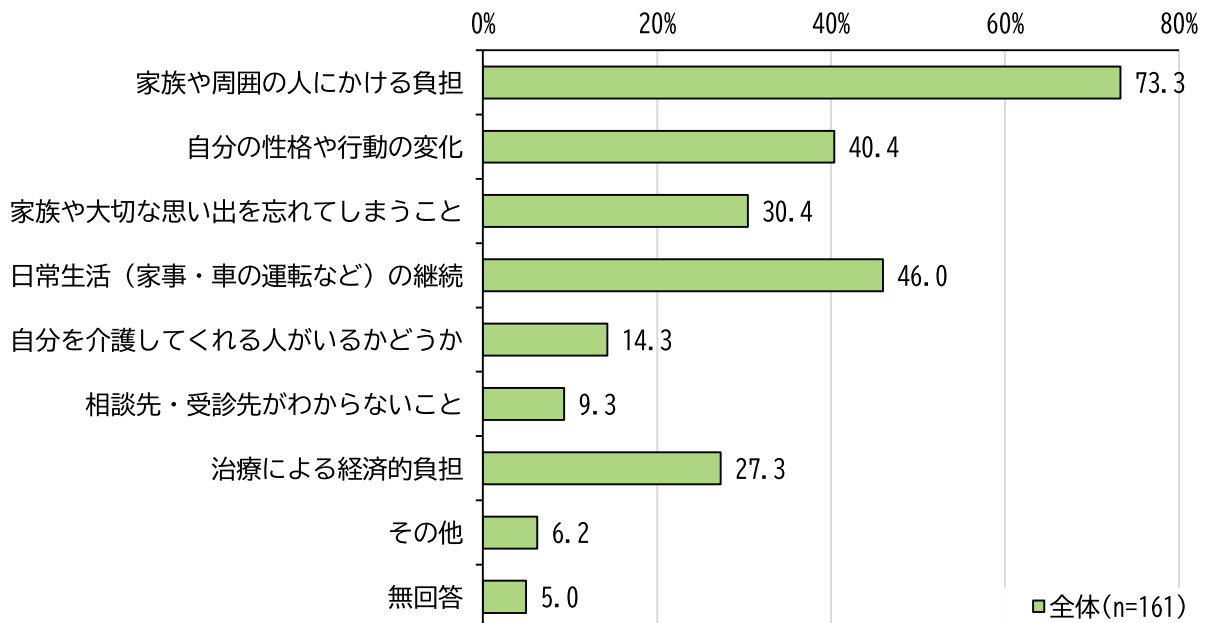


(21) 認知症になって不安に感じたこと

【問12(1)で「はい」と回答した方におうかがいします】

問12(2) 認知症になってどのようなことに不安を感じましたか。(あてはまるものすべてに☑)

認知症になって不安を感じたことは、「家族や周囲の人にかかる負担」が73.3%と最も多く、  
次いで、「日常生活(家事・車の運転など)の継続」(46.0%)、「自分の性格や行動の変化」(40.4%)  
と続いている。

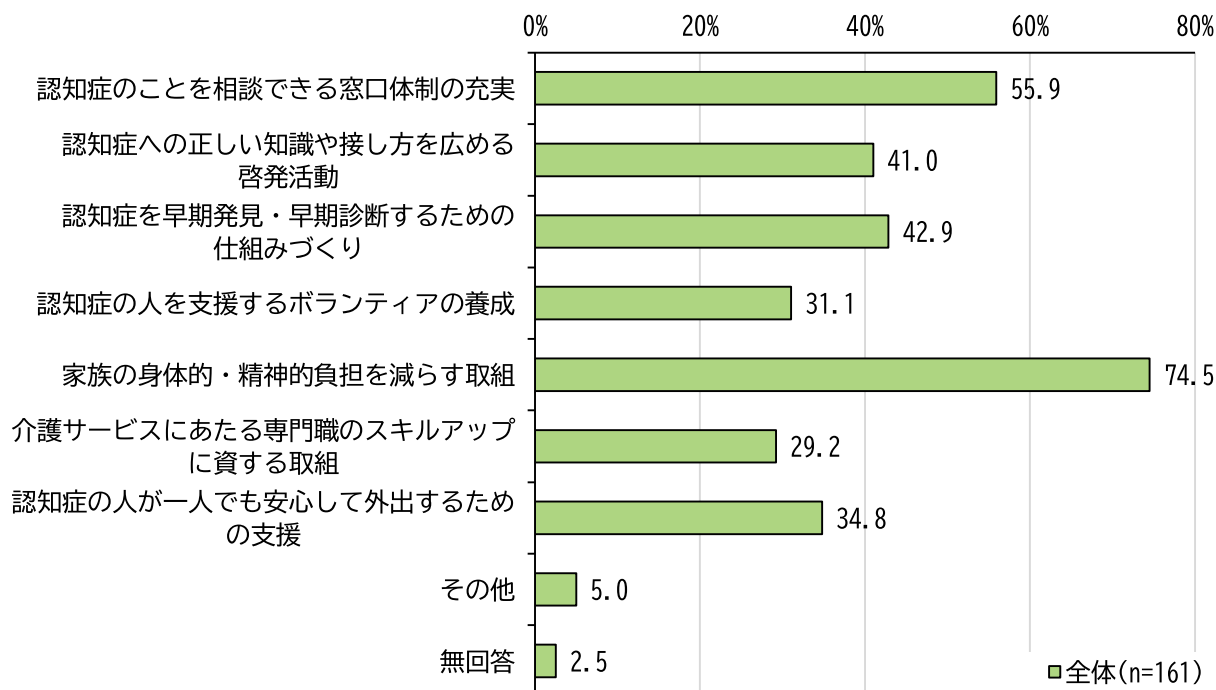


## (22) 認知症になったときに地域で安心して暮らすための施策

【問 12 (1) で「はい」と回答した方におうかがいします】

問 12 (3) 認知症になったときに地域で安心して暮らすために、どのような施策があれば安心ですか。(あてはまるものすべてに☑)

認知症になったときに地域で安心して暮らすために希望する施策は、「家族の身体的・精神的負担を減らす取組」が 74.5%と最も多く、次いで、「認知症のことを相談できる窓口体制の充実」(55.9%)、「認知症を早期発見・早期診断するための仕組みづくり」(42.9%)と続いている。

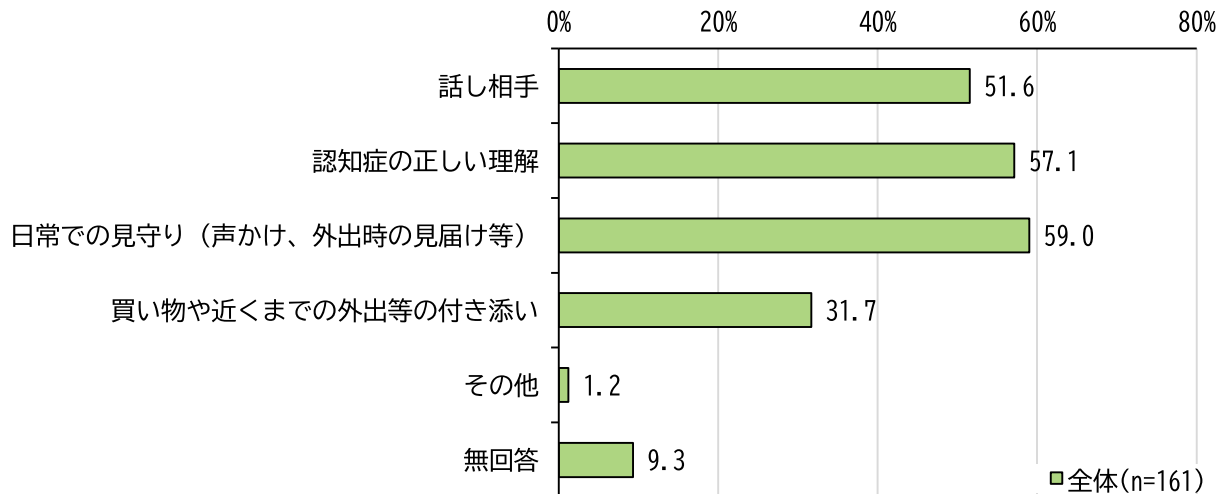


### (23) 認知症になったときに地域で安心して暮らすための協力

【問 12 (1) で「はい」と回答した方におうかがいします】

問 12 (4) 認知症になったときに地域で安心して暮らすためには、地域住民のどのような協力があると助かると思いますか。(あてはまるものすべてに☑)

認知症になったときに地域で安心して暮らすためにあると助かると思う協力は、「日常での見守り（声かけ、外出時の見届け等）」が 59.0%と最も多く、次いで、「認知症の正しい理解」（57.1%）、「話し相手」（51.6%）と続いている。

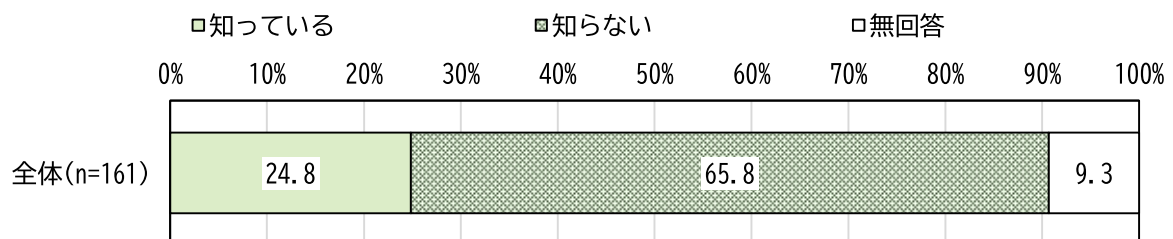


### (24) 認知症カフェの認知度

【問 12 (1) で「はい」と回答した方におうかがいします】

問 12 (5) 認知症の人と家族、地域住民、専門職等の誰もが参加できる交流の場「認知症カフェ」が市内にあることを知っていますか。(☑は1つ)

認知症カフェの認知度は、「知っている」（24.8%）、「知らない」（65.8%）となっている。

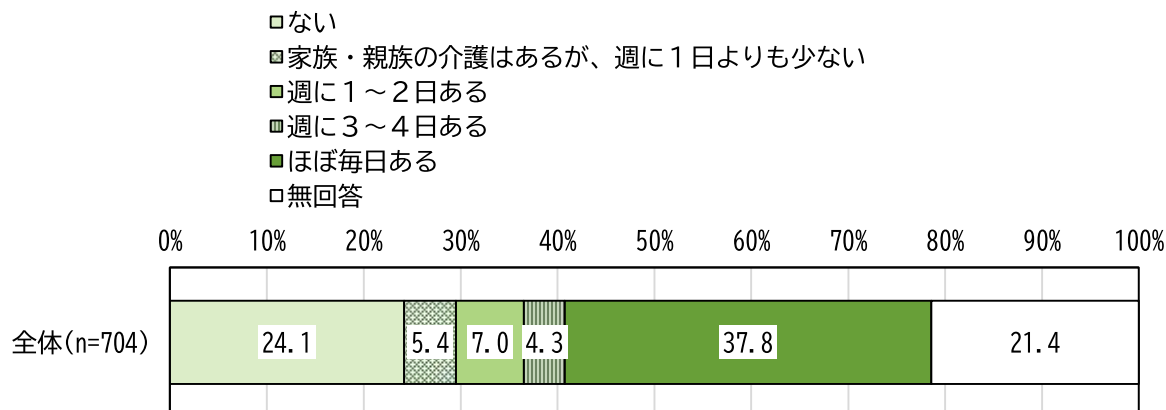


(25) ご家族やご親族の方からの介護の有無

問 13 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。(同居していない子どもや親族等からの介護を含む) (☑は1つ)

ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいあるかは、「ほぼ毎日ある」が 37.8%となっている。その他、「週に1～2日ある」(7.0%)、「家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない」(5.4%)、「週に3～4日ある」(4.3%)となっており、約5割が家族や親族からの介護を受けている。

また、24.1%が「ない」と回答している。



- 問 13 (A票) で「家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない」「週に1～2日ある」「週に3～4日ある」「ほぼ毎日ある」を選択された場合は、「主な介護者」の方にB票へのご回答・ご記入をお願いします。

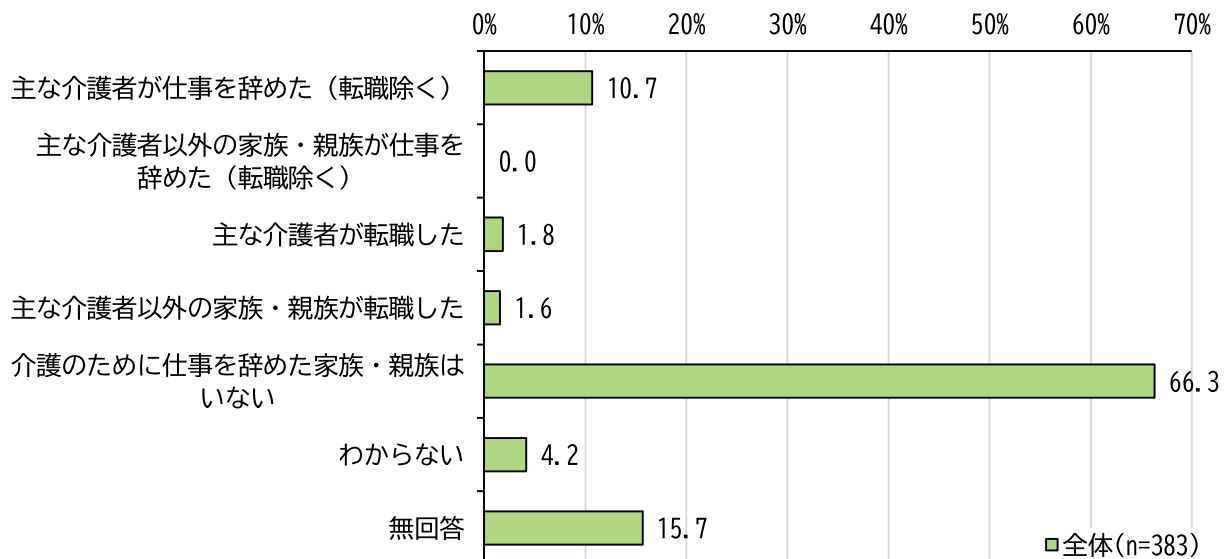
## B票 主な介護者の方について

### (1) 介護を主な理由とする退職者の有無

問1 ご家族やご親族の中で、ご本人様（認定調査対象者様）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）。  
（あてはまるものすべてに☑）

家族や親族の中で、介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方がいるかは、66.3%が「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」と回答している。

その他、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」(10.7%)、「主な介護者が転職した」(1.8%)、「主な介護者以外の家族・親族が転職した」(1.6%)となっており、介護を理由として離職や転職した家族や親族が14.1%いる。

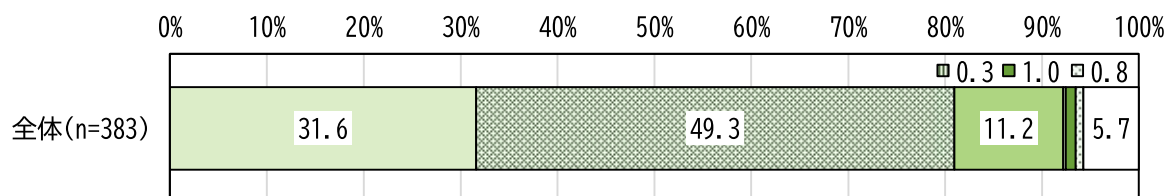


## (2) 主な介護者

### 問2 主に介護をしている方（主な介護者）はどなたですか。（☑は1つ）

主な介護者は、「子（息子又は娘）」が 49.3%と最も多く、次いで、「配偶者（夫又は妻）」（31.6%）、「子の配偶者（夫又は妻）」（11.2%）と続いている。

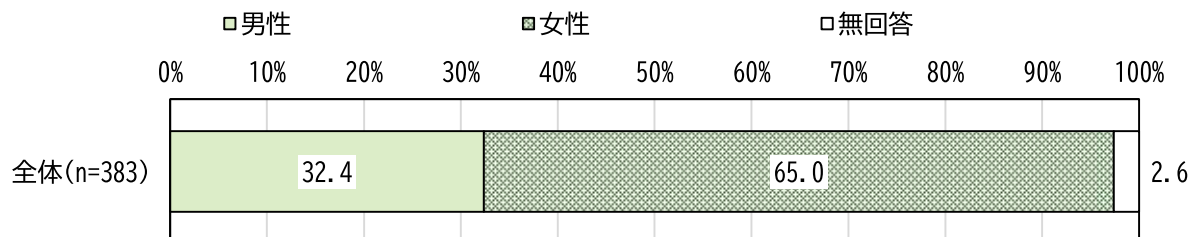
- 配偶者（夫又は妻）
- 子の配偶者（夫又は妻）
- 兄弟・姉妹（夫又は妻の兄弟姉妹含む）
- 無回答
- 子（息子又は娘）
- 孫
- その他



## (3) 主な介護者の性別

### 問3 主な介護者の方の性別について教えてください。（☑は1つ）

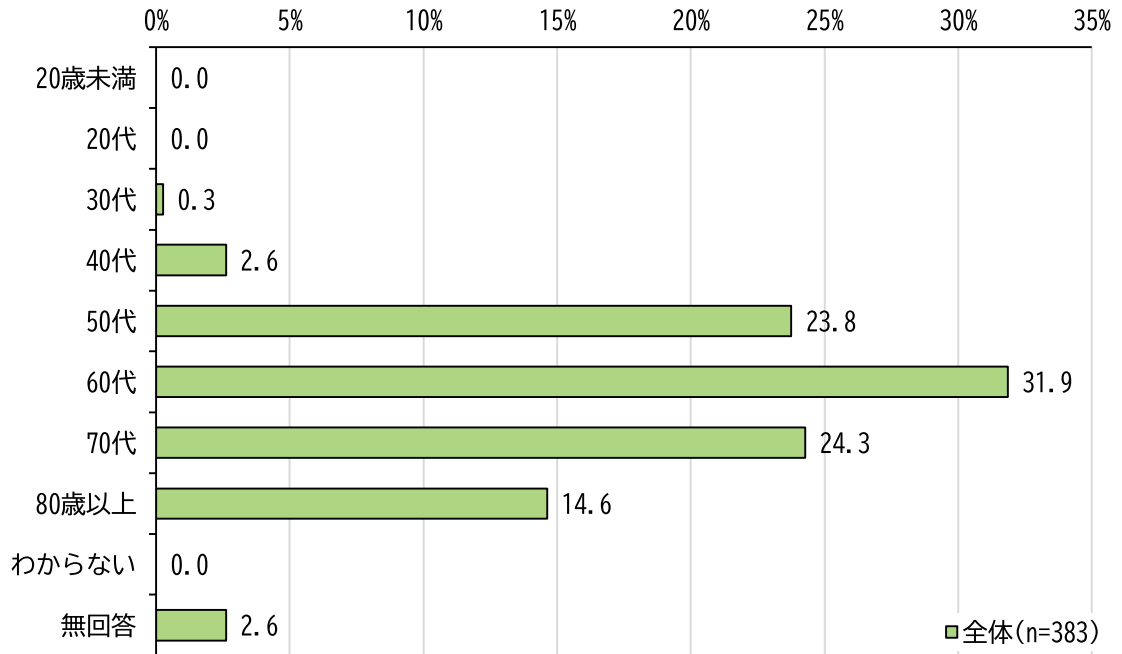
主な介護者の性別は、「男性」が 32.4%、「女性」が 65.0%となっている。



#### (4) 主な介護者の年齢

問4 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。(☑は1つ)

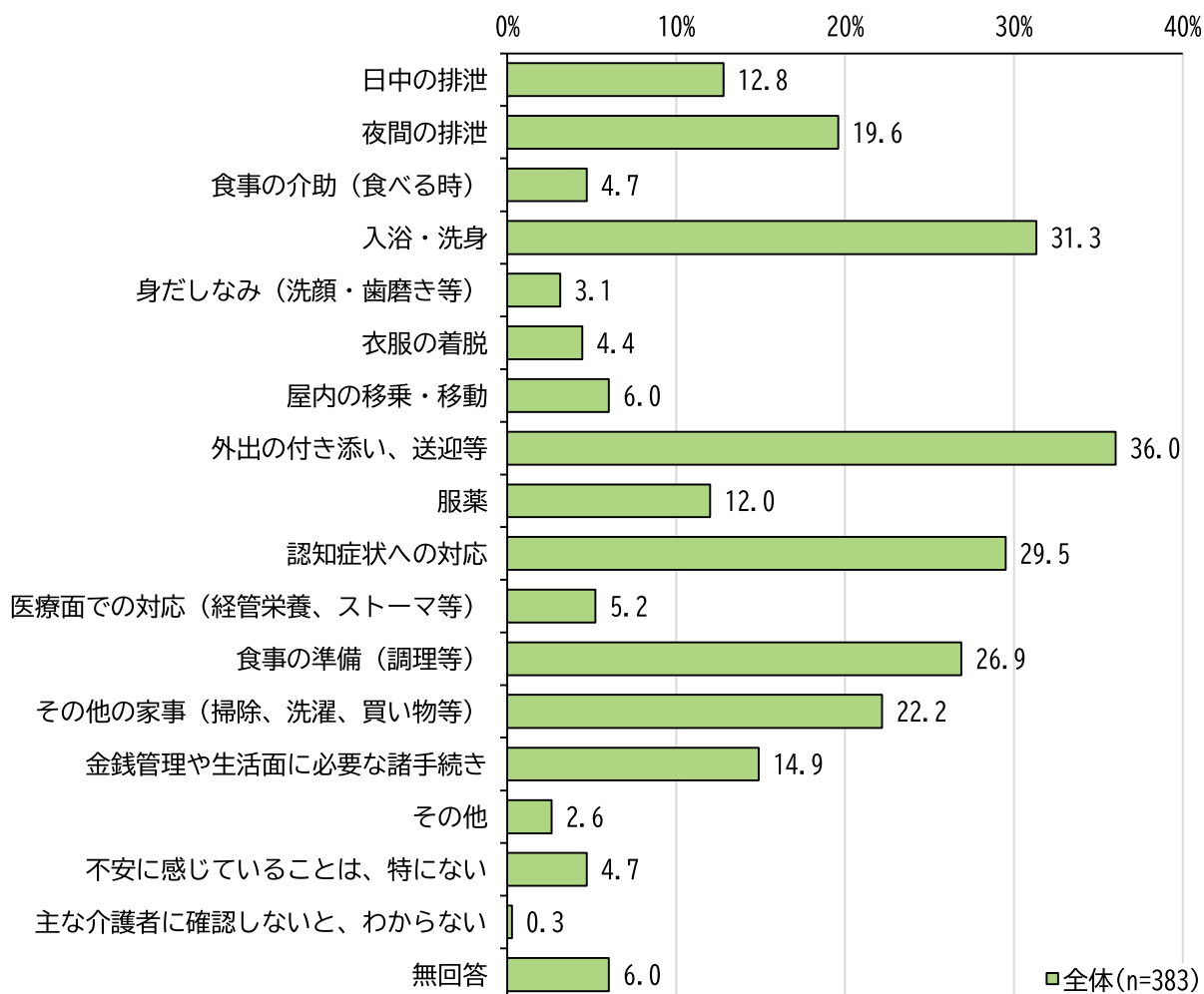
主な介護者の年齢は、「60代」が31.9%と最も多く、次いで、「70代」(24.3%)、「50代」(23.8%)と続いている。



## (5) 主な介護者の方が不安に感じる介護等

問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください。(現状で行っているか否かは問いません) (☑は3つまで)

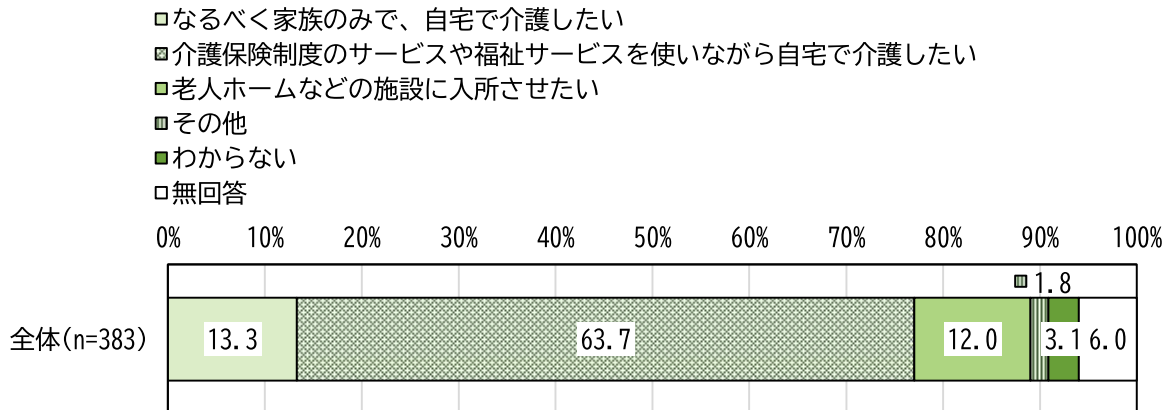
主な介護者が不安に感じる介護等の内容は、「外出の付き添い、送迎等」が36.0%と最も多く、次いで、「入浴・洗身」(31.3%)、「認知症状への対応」(29.5%)、「食事の準備(調理等)」(26.9%)と続いている。



## (6) 今後の介護

### 問6 主な介護者の方は今後どのように介護したいと思いますか。(☑は1つ)

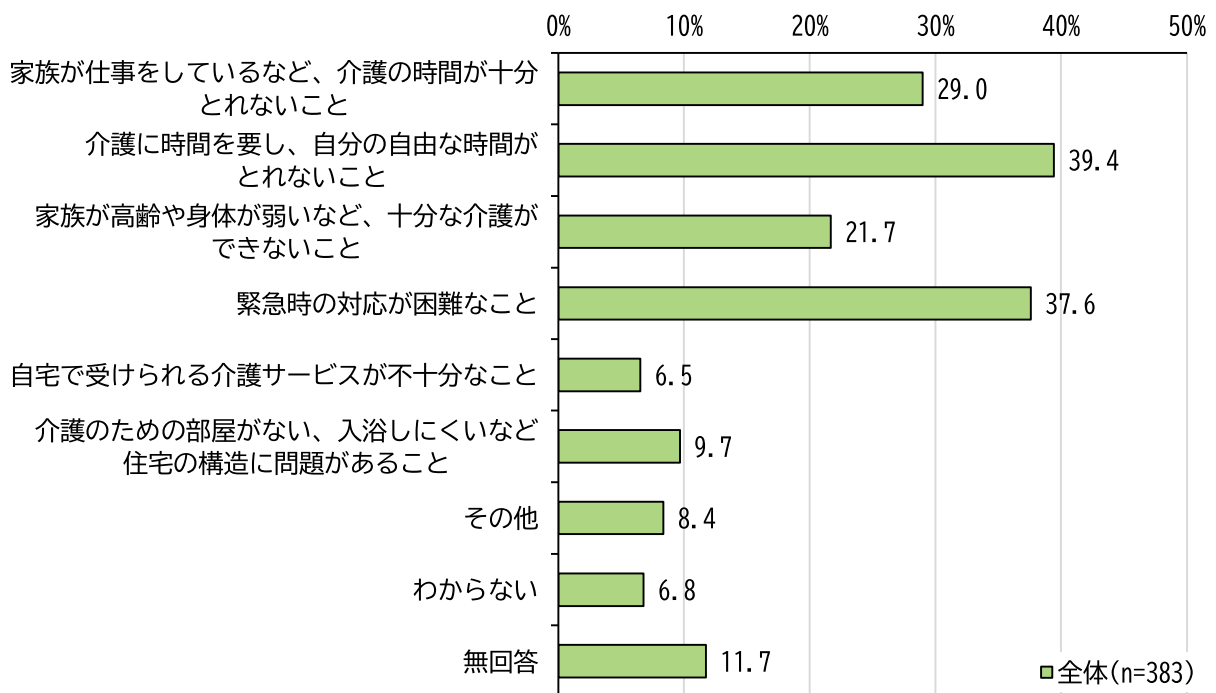
今後どのように介護したいかは、「介護保険制度のサービス（デイサービスや短期の宿泊サービスなど）や福祉サービス（生活支援や緊急通報サービスなど）を使いながら自宅で介護したい」が63.7%と最も多く、次いで、「なるべく家族のみで、自宅で介護したい」（13.3%）、「老人ホームなどの施設に入所させたい」（12.0%）と続いている。



## (7) 自宅介護の問題点

### 問7 自宅での介護で問題だと思うのはどのようなことですか。(☑は3つまで)

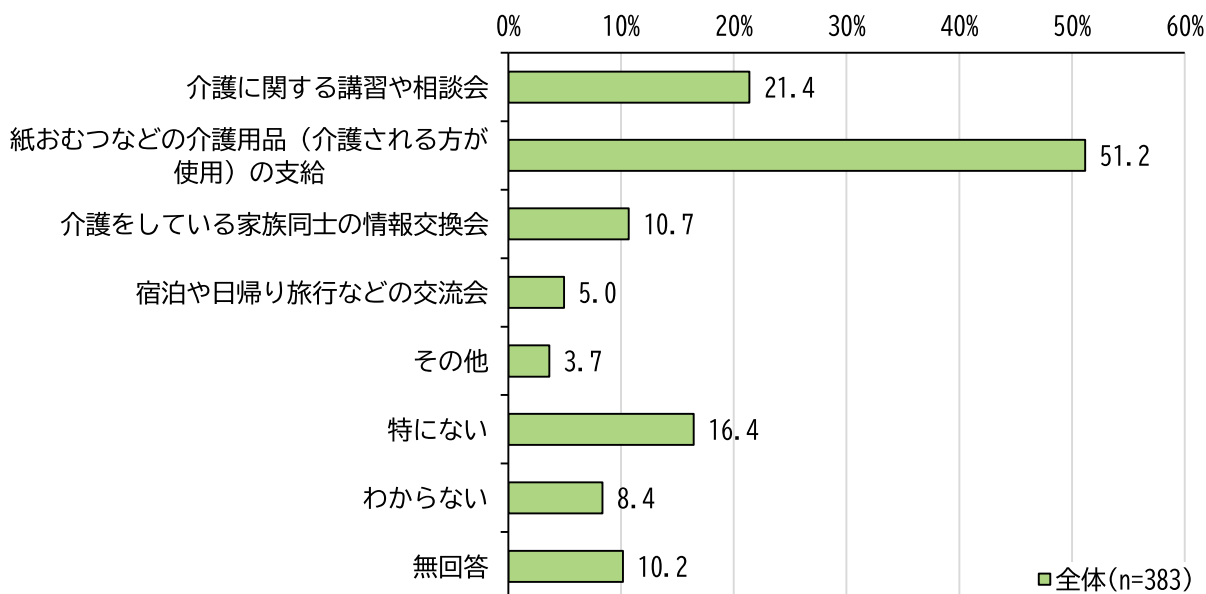
自宅での介護で問題だと思うことは、「介護に時間を要し、自分の自由な時間がとれないこと」が39.4%と最も多く、次いで、「緊急時の対応が困難なこと」（37.6%）、「家族が仕事をしているなど、介護の時間が十分とれないこと」（29.0%）と続いている。



### (8) 利用したい介護者向けサービス

**問8 高齢者を介護している方を対象としたサービスで利用したいと思うもの（利用しているものも含む）を教えてください。（☑は3つまで）**

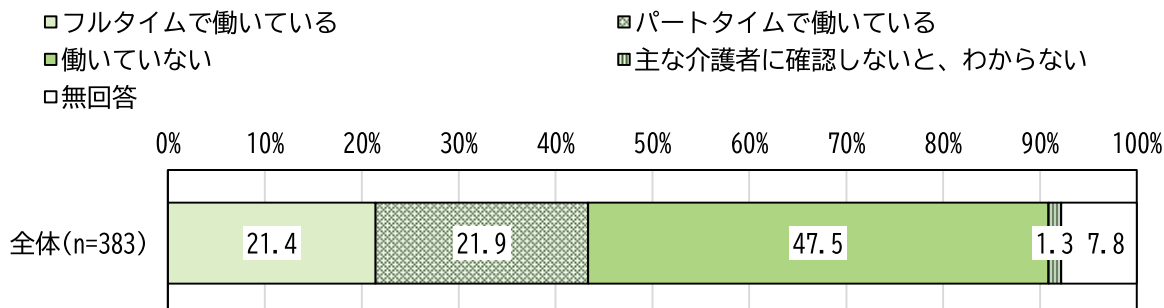
高齢者を介護している方を対象としたサービスで利用したいと思うものは、「紙おむつなどの介護用品（介護される方が使用）の支給」が51.2%と最も多く、次いで、「介護に関する講習や相談会」（21.4%）、「介護をしている家族同士の情報交換会」（10.7%）と続いている。  
また、16.4%は「特にない」と回答している。



### (9) 主な介護者の方の勤務形態

**問9 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。（☑は1つ）**

主な介護者の現在の勤務形態は、「フルタイムで働いている」が21.4%、「パートタイムで働いている」が21.9%となっている。  
また、47.5%が「働いていない」と回答している。



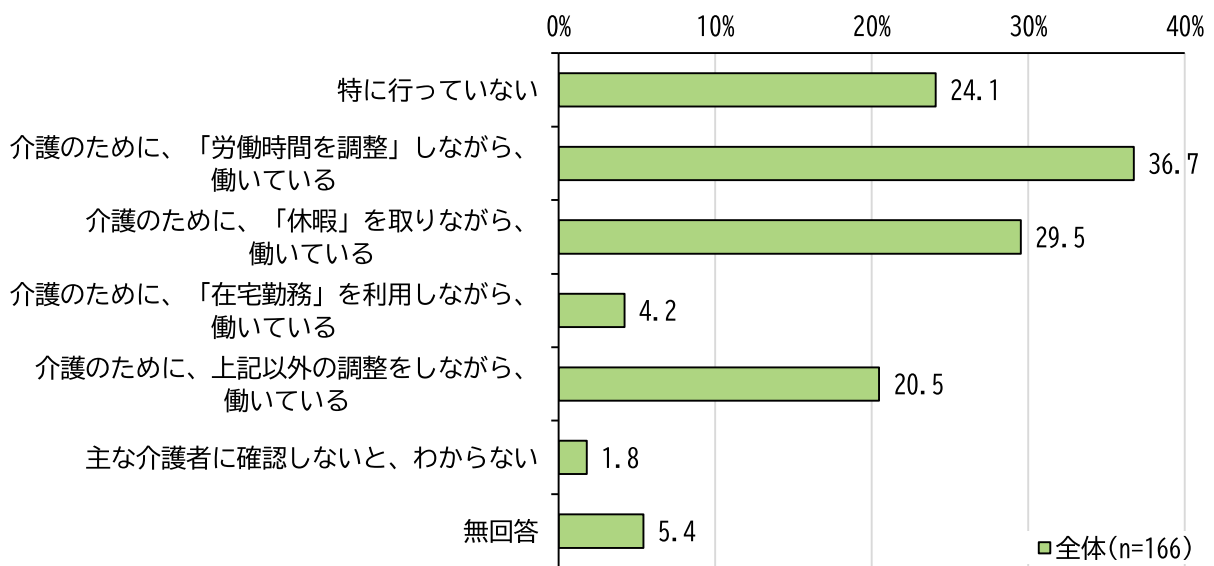
## (10) 介護にあたっての働き方調整

【問9で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方におうかがいします】

問10 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。  
(あてはまるものすべてに☑)

介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしたかは、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短期間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が36.7%と最も多く、次いで、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」（29.5%）、「介護のために、上記以外の調整をしながら、働いている」（20.5%）、「介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている」（4.2%）となっている。

また、24.1%が「特に行っていない」と回答している。



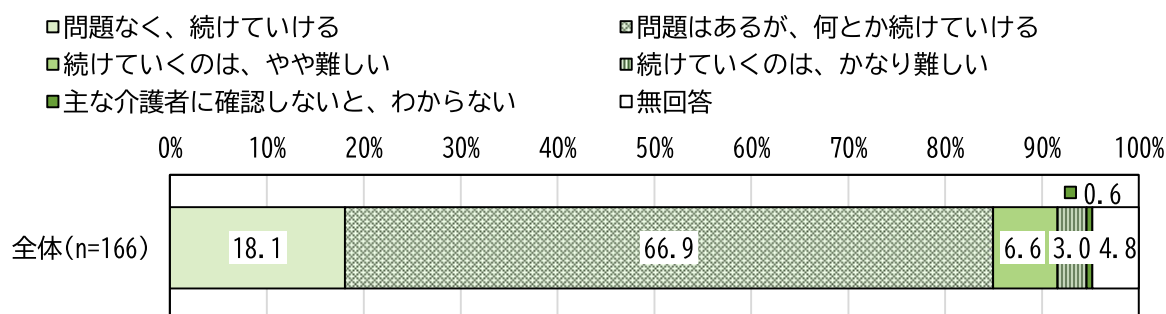
### (11) 働きながらの介護継続可不可

【問9で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方におうかがいします】

問11 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(☑は1つ)

今後も働きながら介護を続けていけそうかは、「問題なく、続けていける」(18.1%)、「問題はあるが、何とか続けていける」(66.9%)を合わせると85.0%が続けていけると回答している。

また、「続けていくのは、かなり難しい」(3.0%)、「続けていくのは、やや難しい」(6.6%)を合わせると9.6%は続けていくのは難しいと回答している。

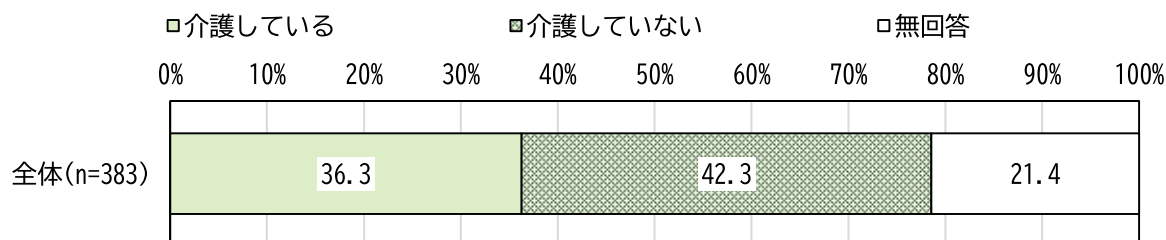


問12 認知症の方の介護について、次の質問にお答えください。

### (12) 認知症の方の介護

問12(1) 主な介護者の方は、認知症の方を介護していますか。(☑は1つ)

認知症の方を介護しているかは、「介護している」(36.3%)、「介護していない」(42.3%)となっている。

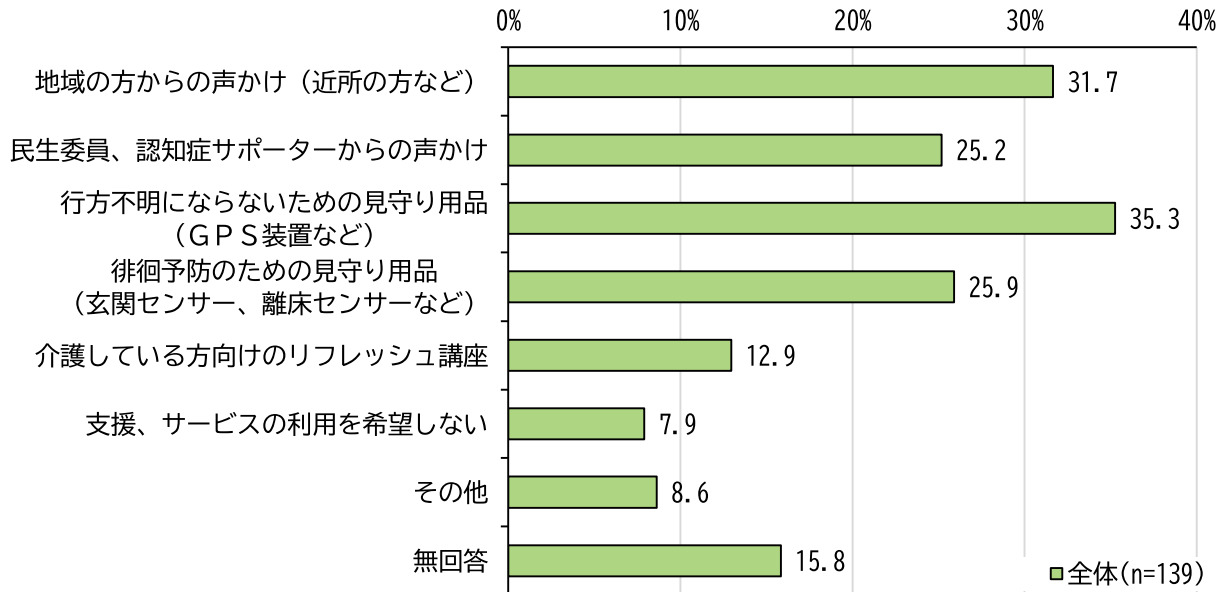


### (13) 認知症の方の介護で希望する支援・サービス

【問 12 (1) で「介護している」と回答した方におうかがいします】

問 12 (2) 介護保険サービス以外でどのような支援、サービスを希望されますか。  
(あてはまるものすべてに☑)

介護保険サービス以外で希望する支援、サービスは、「行方不明にならないための見守り用品 (GPS装置など)」が 35.3%と最も多く、次いで、「地域の方からの声かけ (近所の方など)」(31.7%)、「徘徊予防のための見守り用品 (玄関センサー、離床センサーなど)」(25.9%)と続いている。

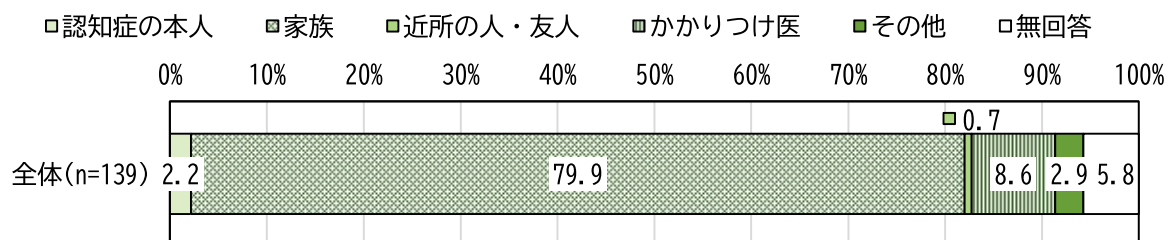


### (14) 認知症の方の変化に最初に気付いた人

【問 12 (1) で「介護している」と回答した方におうかがいします】

問 12 (3) 認知症のご本人の変化に最初に気が付いたのは誰ですか。(☑は1つ)

認知症本人の変化に最初に気が付いたのは、「家族」が 79.9%と最も多く、次いで、「かかりつけ医」(8.6%)、「認知症の本人」(2.2%)と続いている。

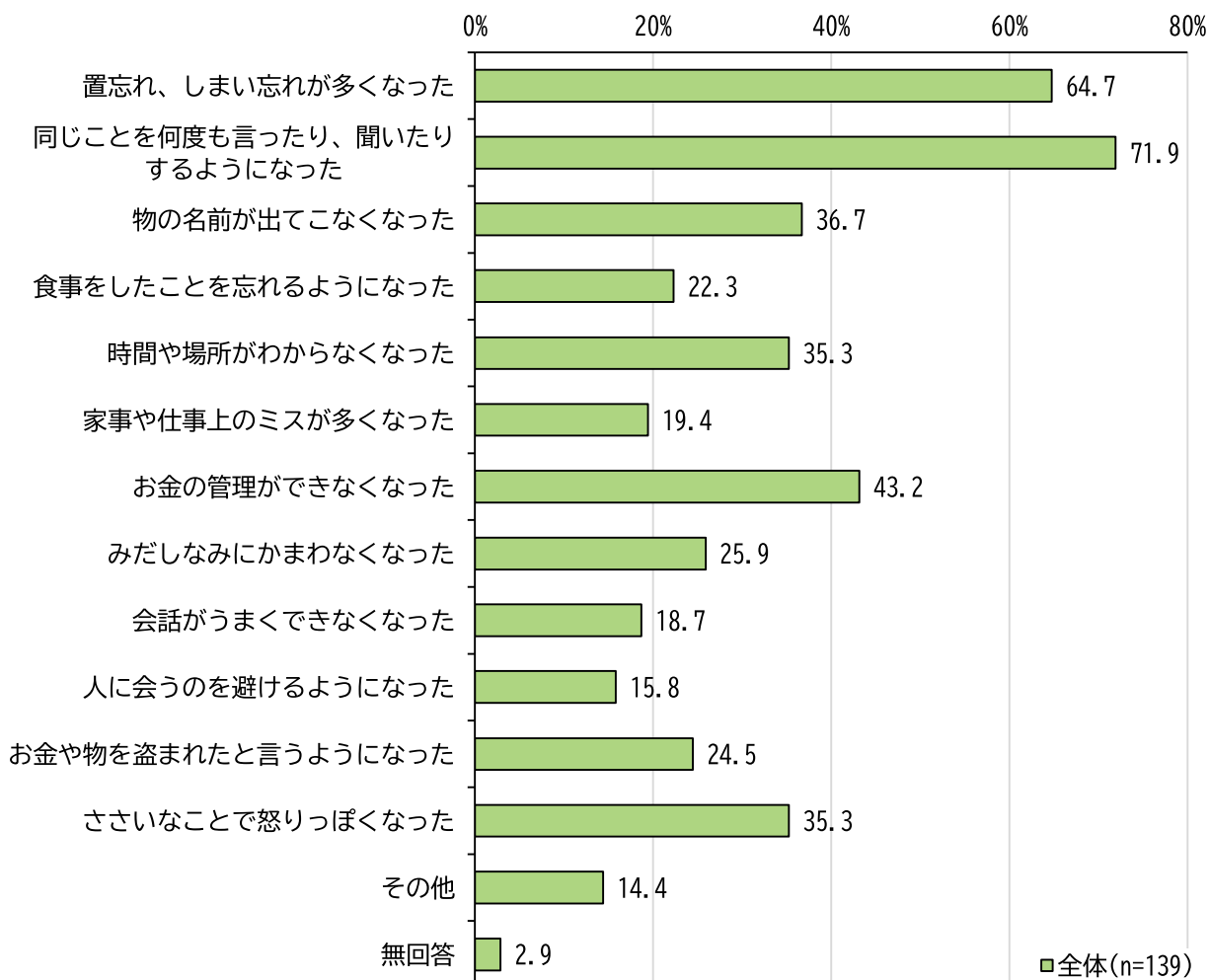


## (15) 認知症に気付いたきっかけ

【問12(1)で「介護している」と回答した方におうかがいします】

問12(4) 気付くきっかけとなった変化はどのようなことですか。(あてはまるものすべてに☑)

認知症に気付くきっかけとなった変化は、「同じことを何度も言ったり、聞いたりするようになった」が71.9%と最も多く、次いで、「置忘れ、しまい忘れが多くなった」(64.7%)、「お金の管理ができなくなった」(43.2%)と続いている。

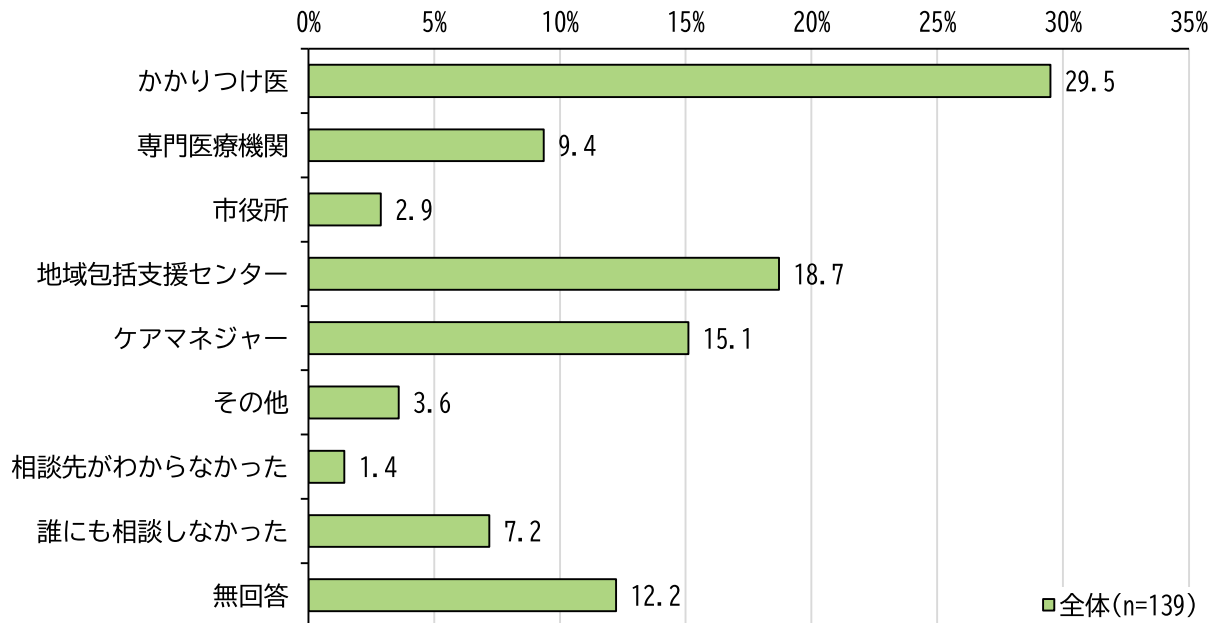


## (16) 認知症の疑いを感じた時の相談先

【問12(1)で「介護している」と回答した方におうかがいします】

問12(5) 認知症の疑いを感じたとき、家族・親戚・知人以外で最初にどこに(だれに)相談(受診)しましたか。(☑は1つ)

認知症の疑いを感じたとき、家族・親戚・知人以外の最初の相談先は、「かかりつけ医」が29.5%と最も多く、次いで、「地域包括支援センター」(18.7%)、「ケアマネジャー」(15.1%)と続いている。

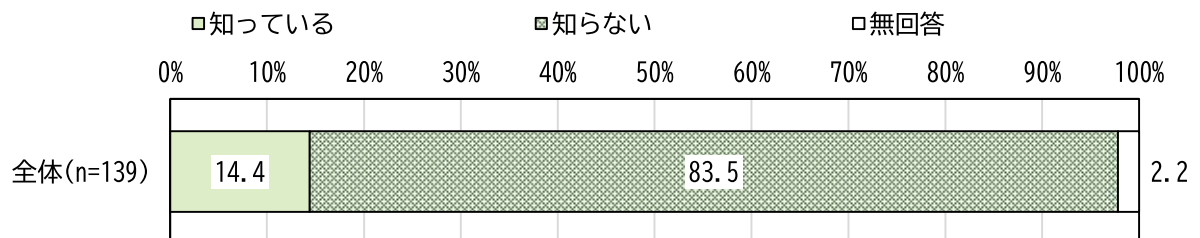


## (17) 認知症家族の会

【問12(1)で「介護している」と回答した方におうかがいします】

問12(6) 認知症の人を介護している家族が、介護者同士の交流や情報交換をする場「認知症家族の会」が市内にあることを知っていますか。(☑は1つ)

認知症家族の会の認知度は、「知っている」(14.4%)、「知らない」(83.5%)となっている。



**御殿場市 高齢者実態調査  
調査結果報告書**

令和8年3月

---

発行：御殿場市

企画・編集：長寿福祉課